# Guitar Pro 7.5

# ユーザーガイド





# 概要

	1
基本	3
Guitar Proとは	4
インストール	5
アップデート	14
困った時は	17
新機能	19
機能	22
楽譜	24
譜面データはどこにありますか?	27
Guitar Proでのナビゲート	29
メイン画面	30
スコア内を移動する	37
スコア表示	41
<b>楽譜を書く</b>	45
スコアの構造	46
スコア	46
トラック	53
小節	57
セクション	60
声部	61
ノート	64
チューニング	56
スコア編集	68
コピー、カット/ペースト	68
スコア要素をクリック	70
オートメーション	71
アシスタント	74
トフムとハーカッション	76
記巧	/9
	/9 01
日 11J エフェクト	04 Q7
オートメーション	101

表記とデザイン	102
Extras	104
歌詞	104
スタイルシート	106
Guitar Proのオーディオ	
スコアの再生	110
Soundboard	114
トラックごとのサウンド	116
スコアのサウンド	122
MIDI	123
ライン入力	125
ファイルのインポート/エクスポート	
インポート	130
ASCII	130
MIDI	131
MusicXML, PowerTab, TablEditのインポート	136
エクスポート	137
Audio	137
ASCII	138
MIDI	138
MusicXML	139
	139
PNG	139
	140
	140
<b>ユードダイマグニ</b> ノ	149
	142
<ul> <li>※</li> <li>%</li> <li>%</li></ul>	149
チューナー	154
ファイル保護	155
Fretlight	156
ブラウザ	159
mySongBook	
mySongBookとは何ですか?	164
mySongBookからファイルを開く	165
設定	
全般	168
インターフェース	170
スコアエラー	172
ユーザー情報	173
オーディオ	174
付録	179
シグネチャーサウンド	100
レンホノマ シウンド エフェクト	180
ショートカット	194
-	

ii Summary

# Chapter 1 はじめに

# Welcome!

Guitar Pro 7.5を購入いただき誠にありがとうございます。GuitarProファミリーへようこそ。

Guitar Proが最高のバージョンで戻ってきました。より速く、より強く、近代化されたGuitar Pro 7.5は、多くの新機能を提供します。

長年のGuitar Proユーザーであろうと新規ユーザーであろうと、このソフトウェア を最大限に活用するために本ユーザーガイドで必要な情報をすべて見つけるでしょう。

# Chapter 2 Basics

本章では、Guitar Proが提供するものの概要を説明します。Guitar Proを見いだし理解するために不可欠なすべての基本概念を網羅しています。



## Guitar Proとは?

Guitar Proは、初心者から上級者まで、すべてのギ タリストのための完全なワークショップです。ギタリ ストは、改良、音楽の作成、仮想バッキングバンド の使用を希望しています。Guitar Proは、3~10弦 (ギター、ベース、バンジョー、マンドリン、ウクレレ など)のすべてのフレット楽器、およびバンドまたは オーケストラに含まれるすべての楽器をサポートし ています。



#### Guitar Proが提供するもの

- 弦楽器用の完全でありながら使いやすいマルチトラック、タブ譜中心のスコアエ ディター。通常の記号とそれらの楽器の特性をすべて含み、表示は最適化およ びカスタマイズ可能です。
- アンプやエフェクトのサンプルやモデリングされたサウンドから、あらゆる種類の ギターやその他の100種類の楽器(ベース、弦、ピアノ、ドラムなど)のサウンドと エフェクトを忠実に再生できるように設計された強力なオーディオエンジン、プロ のスタジオで録音されたユニット。ギターを接続して、これらのアンプとエフェクト を利用することも可能です。
- チューナー、コードエンジン、スケールエンジン、ギターのフレットボードなど、練習用の日常的な支援ツール。
- 多数のインポート/エクスポート機能を使用することにより、インターネット上で数 十万のスコアを最大限に活用できるようにして、世界に開かれます。
- 広大な楽譜ライブラリmySongBook.com。GuitarProチームが正確に転記および アレンジした、大規模かつ合法的な楽譜のセレクションにアクセスできます。

# インストール

## 最小システム要件

- OS: Windows 7以降, macOS X 10.10以降
- アーキテクチャ: 32 または 64ビット
- **CPU**: デュアルコアCPU
- ・ メモリ: 4 GB RAM
- ストレージ空き容量: 2 GB
- 画面解像度: 960x720ピクセルディスプレイ
- 管理者権限
- ・オーディオインターフェース等の装置
- ・ ソフトウェアのダウンロードに必要なインターネット接続。

## アプリケーションの入手方法

#### ウェブサイトから

このリンク(https://www.guitar-pro.com/en/index.php?pg=download)か当社の「マイペ ージ」からGuitar Proを簡単にダウンロードできます。なお、試用版をダウンロード頂き製 品版のライセンス番号を入力するとGuitar Proをアクティベートできます。

₲ 以前のバージョンとは異なり、RSEサウンドバンクはインストールパッケージに直接 含まれるようになり、個別にダウンロードする必要がなくなりました。

## インストール

#### macOS

「Guitar Pro 7-setup.pkg」 をダブルクリックして インストーラーを起動し ます。その後、指示に 従ってください。



Introduction License G Destination Select Installation Type Installation T	English CITAR PRO SOFTWARE END-USER LICENSE AGREEMENT (EULA) UITAR PRO is software protected by the provisions of the French Intellectual operty Code. THIS PRODUCT IS NOT SOLD BUT PROVIDED WITHIN THE RAMEWORK OF A LICENSE.
License G Destination Select G Installation Type Fi Installation Type	UITAR PRO SOFTWARE END-USER LICENSE AGREEMENT (EULA) UITAR PRO is software protected by the provisions of the French Intellectual operty Code. THIS PRODUCT IS NOT SOLD BUT PROVIDED WITHIN THE RAMEWORK OF A LICENSE.
Destination Select GPP Installation Type Ff	UITAR PRO is software protected by the provisions of the French Intellectual operty Code. THIS PRODUCT IS NOT SOLD BUT PROVIDED WITHIN THE RAMEWORK OF A LICENSE.
Installation Type	RAMEWORK OF A LICENSE.
Installation	
L	his License excludes any transfer of intellectual property for the benefit of the censee/User.
Summary Tr	ne User (Licensee) may be a natural or legal person.
By	y installing GUITAR PRO on their computer, the User fully accepts the terms of is License, which shall remain effective throughout the use of the product.
G ar Se	UITAR PRO reserves the right to change, modify, add, adjust or remove any ticles of the EULA at any time, in accordance with the procedures set out in action 10 below.
1.	LICENSE GRANT
1. Ai ar	1 Using the Guitar Pro License for private or professional use ROBAS MUSIC grants to the User, who accepts, a personal, non-exclusive ad non-transferable right to use GUITAR PRO. This right of use is granted to

Guitar Proをインストー ルするには、ソフトウェ アライセンス契約に同 意する必要があります。 Guitar Proをインスト ールするストレージ を選択します。



	🥪 Install Guitar Pro 7						
	Custom Install on "Macintosh HD"						
	Package Name Action Size						
Introduction	Guitar Pro 7	Upgrade	120 MB				
License	🗹 Soundbanks	Install	969,4 MB				
Destination Select							
Installation Type							
<ul> <li>Installation</li> </ul>							
<ul> <li>Summary</li> </ul>							
l	Space Required: 1,09 GB	Remaining: 4	43,18 GB				
		Go Back	Continue				

Guitar Proインストーラ ーには、Guitar Proサ ウンドバンクが含まれ ています。Soundbanks をまだインストールして いない場合、または最 新のものでない場合は、 必ず Soundbanks を確 認してくZださい。

[インストール]をクリッ クして、インストールプ ロセスを開始します。 ユーザーパスワードを 入力します。

	💝 Install Guitar Pro 7			
Standard Install on "Macintosh HD"				
<ul> <li>Introduction</li> <li>License</li> <li>Destination Select</li> <li>Installation Type</li> <li>Installation</li> <li>Summary</li> </ul>	This will take 1,09 GB of space on your computer. Click Install to perform a standard installation of this software on the disk "Macintosh HD".			
	Change Install Location			
	Go Back Install			

	🤯 Install Guitar Pro 7	
	Installing Guitar Pro 7	イ
Introduction		Pr
License		
Destination Select		1.
Installation Type	Writing files	こ
Installation		<i>-</i> /->
Summary		J
	Go Back Continue	

ンストーラーがGuitar oをコンピューターに ンストールしています。 のステップには数分 かる場合があります。



インストールが完了す ると、次の画面が表示 されます。

LaunchpadでGuitar Pro のアイコンをクリックし て、Guitar Proを起動で きるようになりました。

おめでとうございます、 Guitar Proがインストー ルされました!

#### Windows

guitar-pro-7-setup.exeをダブルク リックすると、インストーラーが起動 します。その後、指示に従ってくだ さい。

最初にライセンス契約に同意してく ださい。



lect Components		(
when components should be installed?		
Select the components you want to install; clear the compor install. Click Next when you are ready to continue.	ents you do not	want to
Full installation		```
Guitar Pro 7		
Soundbanks		924,6 M
Current selection requires at least 1 012,9 MB of disk space.		

Guitar Proインストーラーには、 Guitar Proサウンドバンクが含まれ ています。Soundbanksをまだイン ストールしていない場合、または最 新のものでない場合は、必ず Soundbanksを確認してください。

Guitar Proをストレージにインスト ールする場所を選択します。



Betup - Guitar Pro 7 version 7.5.2.1506     -     ×       Select Additional Tasks Which additional tasks should be performed?     Image: Comparison of the second secon	インストーラーはデスクトップにショ ートカットを追加できます。 必要に
Select the additional tasks you would like Setup to perform while installing Guitar Pro 7, then click Next. Additional shortcuts: Create a desktop shortcut	心してオノンヨンを確認してくたさい。
< Back Next > Cancel	

Guitar Proをインストールする準備 ができました。[インストール]をクリ ックして、インストールを開始します。

Setup - Guitar Pro 7 version 7.5.2.1506		-		×
Ready to Install Setup is now ready to begin installing Guita	ar Pro 7 on your com	puter.		gp
Click Install to continue with the installation change any settings.	n, or click Back if you	want to revie	w or	
Setup type: Full installation			,	^
Selected components: Guitar Pro 7 Soundbanks				
¢			>	
	< Back	Install	6	ncel
	Dack	Insull	Ca	neer



インストーラーはGuitar Proをコン ピューターにインストールします。 コンピューターによっては、この操 作に数分かかる場合があります。 インストールが完了すると、インス トーラーから通知されます。 [Guitar Pro 7を起動]をオンにして、 [完了]をクリックするとすぐにGuitar Proを起動します。

それ以外の場合は、[スタート]メニ ューまたはデスクトップのGuitar Proアイコンをクリックします。

おめでとうございます、Guitar Pro がインストールされました!



# ライセンスのアクティベーション

ライセンスのアクティベーションは、macOSとWindowsで同じように機能します。

Guitar Proを初めて起動するとウィン ドウが表示され、ソフトウェアのアク ティベーションを求められます。 Guitar Proは30日間無料でお試しい ただけます。試用期間が終了すると、 Guitar Proは起動しなくなります。





Guitar Pro ライセンスは、 [XXXXXXXX-XXXXXXX-XXXXXXX]のような8文字(数字と文 字)の3つのシーケンスで構成されて います。

ライセンス契約に同意することを忘 れずに確認してください。

ライセンスが有効な場合、緑色のチ ェックマークがテキストフィールドに 表示され、アクティベートボタンが有 効になります。 ライセンスが入力されると、次のウィ ンドウで、Guitar Proがコンピュータ ーでアクティブになっていることが確 認されます。



# Guitar Proのアップデート

Guitar Pro 7.xアップデートは無料です。これらの更新により、いくつかの小さなバグが 修正され、いくつかの小さな機能が追加されます。デフォルトでは、Guitar Pro 7は毎週 更新が利用可能かどうかを確認します。

この周期は、[設定]ウィンドウの[全般]タブ(macOSでは[Guitar Pro 7]> [設定]メニュー、 Windowsでは[ファイル]> [設定]メニュー)から変更できます。

それでも、次のようにプログラム自体からGuitar Proを手動で更新できます。GuitarPro 7> macOSで更新を確認し、Windowsで[ヘルプ]> [更新を確認]に進みます。

最新バージョンが既にコンピューターにインストールされている場合は、更新する必要は ありません。Guitar Proは、次のウィンドウでこれを通知します。



Guitar Pro is up-to-date (Windows).

#### macOSの場合

Guitar Proがオンラインで利用 可能なアップデートを検出す ると、アップデートがポップア ップ表示されます。このウィン ドウには、新しいバージョンに よってもたらされた新しい機能 とバグ修正が一覧表示されま す。[更新のインストール]をク リックして、プロセスを起動し ます。



	99	Updating Guitar Pro Downloading update 14,7 MB of 52,1 MB	Cancel	Gui ドし	tar Proは .ます。	最初にアップデー	-トをダウンロー
スルイ	トレージに と再起動 ンストール	こダウンロードした ]をクリックして更 レします。	ะら、[インス   新プログラ⊿	<u>_</u> 」を	(P)	Updating Guitar Pro Ready to Install	II and Relaunch
		Updating Guitar Pro		アッ	ヮプデータ	は新しいバージョ	コンをインストー

Installing update...
Cancel Update

アップデータは新しいバージョンをインストー ルし、インストールが完了するとGuitar Proが 自動的に再起動します。

#### Windowsの場合

Guitar Proがオンラインで利用可能 なアップデートを検出すると、アップ デートウィンドウがポップアップ表 示されます。このウィンドウには、 新しいバージョンによってもたらさ れた新しい機能とバグ修正が一覧 表示されます。[ダウンロード]をク リックしてプロセスを開始します。





Guitar Proは最初にアップデートをダウンロ ードします。

ストレージにダウンロードしたら、 [インストールと再起動]をクリックし て更新プログラムをインストールし ます。

アップデータは新しいバージョンを インストールし(通常のインストール と同様)、インストールが完了すると Guitar Proが自動的に再起動しま す。



### Getting help

#### Resources

当社のWebサイト(https://www.guitar-pro.com/)から多くの有用なリソース、FAQ、ビデオ、技術 仕様書を入手できます。Guitar Pro Webサイトのサポート(https://support.guitar-pro.com)セク ションを確認してください。サポートは、Guitar Proの[ヘルプ]> [ヘルプの取得]メニュー(ショート カット[F1]キー)から利用できます。

あなたが探している答えや技術的な解決策を見つけられる可能性が高いので、私たちに連絡す る前にこのセクションをチェックすることをお勧めします。

## テクニカルサポート

#### テクニカルサポートに連絡する前に

テクニカルサポートに連絡する前に、Guitar Pro 7の最新バージョンをインストールしてください。 当社のWebサイトのサポートセクション(https://support.guitar-pro.com/hc/en-us)から入手可 能な記事を参照してください。おそらくあなたの質問に対する答えを見つけることができるはず です。

Guitar Pro 7>更新の確認メニュー(macOS)またはヘルプ>更新の確認メニュー(Windows)に移動します。

#### 次の場合は技術サポートにお問い合わせください

利用可能なリソースの中に質問への回答が見つからなかった場合は、お気軽にご連絡ください。 サポート(<u>https://www.guitar-pro.jp/Support/</u>)から利用可能なWebフォームに記入してください。 問題に関する有用な情報(再現手順、オペレーティングシステム、オーディオ設定など)を提供し てください。

#### ソフトウェアに関する情報を取得する

ソフトウェアに関する情報を取得するには、macOSの[Guitar Pro 7]> [Guitar Pro 7について]メニ ューまたはWindowsの[ヘルプ]> [Guitar Pro 7について]メニューを使用します。これにより、[バ ージョン情報]ウィンドウが開き、ソフトウェアに関する情報が表示されます。

このウィンドウには、一般情報、エンドユーザーライセンス契約、Guitar Proで使用されるライブラ リのライセンス、Guitar Proチームメンバーの名前が含まれています。

ここでバージョンとビルド番号を取得できます。サポートチームがこれらの情報を尋ねる場合があります。

ここでライセンスの有効性を確認し、別のライセンスを入力する場合はライセンスを削除することもできます。



まったく新しいグラフィカルインターフェイス

前バージョンのコメントと提案に従って、Guitar Proのグラフィカルユーザーインターフェイ スが再検討され、改善されました。

隠しサイドパネルとツールバーが統合され、ワンクリックで主要機能にすばやくアクセス できます。

インターフェースは、QHD画面およびRetina画面と互換性があります。

すべてのトラックのタブ譜

スコアの表示が大幅に改善され、柔軟性と容量が向上しました。

パーカッションを含むすべてのトラックのタブ譜が復活しました。標準の楽譜をギターのタ ブ譜に自動的に変換します。

新しいオーディオ処理

何百ものインストゥルメントサウンドがソフトウェアに含まれており、Guitar Proのレンダリ ングサウンドを好きなようにカスタマイズして、ファイルをお気に入りの曲とまったく同じよ うに再生できます。

トラックサウンド管理(サウンドバンク+このサウンドバンクに適用されるエフェクトチェーン) は、サウンドの選択を容易にするために再検討されました。

新しいオーディオエクスポートタイプ

新しいオーディオ出力形式が含まれています:MP3、FLACおよびOGG。

#### ギターライン入力

ギターを接続して、内蔵のエフェクトとアンプモデルをお楽しみください。任意のGuitar-Proトラックを使用するか、自分でエフェクトチェーンを作成できます。たとえば、ファイル がマルチトラックの場合、ギターソロを学習し、ソフトウェアにベーストラックとドラムトラッ クを一緒に再生させることができます。

ポリフォニックチューナー

1回のブラシダウンストロークで、6つの弦すべてのチューニングを一度にチェックできます。 チューナーでは、弦を個別にチューニングすることもできます。

What's new 19

#### クリックして編集

スコア編集の主要な新機能。スコアの次の要素をクリックして編集するだけです。タイト ル、音部記号、調号、テンポ、セクション、チューニング、コード、スウィングフィール、フェ ルマータ等々。

ローカルファイルブラウザ

ブラウザには、ハードディスクまたは特定のフォルダーにあるすべてのGuitar Proファイ ルが一覧表示されます。検索ボックスと視覚的および音声プレビューにより、探している ファイルをすばやく見つけることができます。

#### より簡単なmySongBookアクセスと無料のタブ

ブラウザは、mySongBookコレクション全体(サブスクリプション)またはWebサイトで購入 したファイルへの即時アクセスも提供します。 無料の新しい「今日のタブ」に毎日アクセ スしてください。

#### 改善されたトラック調整ウィンドウ

チューニングウィンドウが完全に再設計され、より直感的で使いやすくなりました。これ で、Guitar Pro 7.5トラックのチューニングを文字列ごとにワンクリックでカスタマイズでき ます。

カスタマイズ可能なMIDIインポート

MIDIインポートウィンドウには、トラックマージ、既存ファイルへのインポート、量子化、記 譜法とサウンドの選択、プレビューなど、高品質のGuitar Proファイルを取得するための 多くの設定が用意されています。

#### ファイルコンバータ

バッチコンバーターを使用すると、Guitar Pro 1からGuitar Pro 6へのすべてのファイル (.gtp、.gp3、.gp4、.gp5、.gpx)をGuitar Pro 7形式(.gp)に変換できます。 変換するファイ ルを含むフォルダー(およびサブフォルダー(存在する場合))を選択するだけです。 元 のファイルは削除されません。

#### 最大9および10弦のタブ譜編集

Guitar Proの機能が拡張され、9弦および10弦ギターのタブ譜編集が含まれるようになりました。コードダイアグラムとフレットボードもこれらの楽器に適応します。したがって、Guitar Pro 7.5では、3~10弦楽器のタブ譜を編集できるようになりました。

#### オーケストラとウクレレの強化されたサウンドバンク

Guitar Proのオーディオレンダリングは、200を超えるリアルな楽器サウンドを含むライブ ラリを使用して、コンポジション内のトラックのサウンドを希望どおりに微調整することが できます。弦、木管楽器、金管楽器、打楽器、ウクレレの各楽器ファミリーのサウンドバ ンクの精度が向上しました。

#### ドラム楽器ビューの最適化

ドラムビューでは、スコアプレビューの各ノートヘッドの上にドラムキットコンポーネントを 表示することを選択できます。ドラムトラックをMIDIノート番号付きのタブ譜で作成したい 場合は、ウィンドウの下部に詳細が記載されているため、MIDIノート番号を記憶しなくて もすばやく選択できます。

# 特徴

Guitar Proは楽譜エディタで、楽譜の読み書きを改善するための複数の機能が含まれています。

#### プロの楽譜編集

#### 構成可能なエディタ

標準スコア(標準楽譜)、タブ譜、またはスラッシュスコアでノートを直接編集できます。 ギターやその他の弦楽器に関連する通常の音楽記号はすべて入手可能です。

ビューは構成可能です。ページモードまたは画面モードで作業して、利用可能な画面ス ペースを最大限に活用できます。 ズームオプションが改善され、必要に応じてシートサ イズを調整できるようになりました。

スタイルシートを使用して、ドキュメントの縦横比とページ設定をいつでも変更できます。

表示したいトラックを選択することもできます。

#### 音楽的精度

Guitar Proはこの表記法の規則と制約を自動的に処理するため、楽譜の作成が簡単になります。

Guitar Proは、スコアのさまざまな要素の垂直方向の配置を自動的に調整します。ノートの入力は非常に高速に行われ、プロのソングブックと同等の結果が得られます。

Guitar Proは自動的に小節線を追加し、さまざまなトラックの同期をチェックします。したがって、スコアは音楽のルールに関して一貫したままです。

そのような厳格さは初心者に制約されているように見えるかもしれませんが、最終的に は非常に教育的であることが証明され、とにかくスコアが正しく演奏されるために不可欠 です。

間違いはGuitar Proでは常に赤で表示されます。このオプションは、[ファイル]> [設定]> [スコアエラー]メニュー(Windows)またはGuitar Pro 7> [設定]> [スコアエラー]メニュー (macOS)から有効または無効にできます。

音楽理論の重要性をできる限り忠実に尊重し、作曲家、編曲家、教師、編集者、音楽処 理者向けの参考書であるElaine GouldのBehind Barsに基づいて最善を尽くしました。

#### ヘルプツールの作成

各Guitar Proツールは、アクティブトラックの属性に関連しています。コードエンジン、スケ ールアナリスト、チューナーのいずれを使用していても、得られるすべての結果は、現在 のトラックに選択されたチューニングと一致します。

インタラクティブなインストゥルメントビュー(ギター、ベース、ピアノ、ドラム)も含まれており、既存のスケールとともに、実際に演奏/演奏可能なものをすばやく視覚化できます。

#### 楽譜の再生

Guitar Proを使用すると、スコアの再生、聴取、表示、音楽の作成、新しい曲の再生方法 を学ぶことができます。

オーディオエンジンは、200を超える世界クラスのライセンスサウンドバンク(リアルな楽 器サウンド)、ペダル、アンプを提供します。トラックのサウンドは、ニーズに合わせてカス タマイズできます。サウンドの構成(サウンドバンク+エフェクトチェーン)を簡素化するた めに、Guitar Proは今後1000のサウンドテンプレートを提供します。

#### ファイル共有と印刷

Guitar Proを使用すると、スコアを簡単に印刷、電子メール送信、または外部ドライブに 保存できます。多くのインポートおよびエクスポート形式がサポートされています。インポ ート: Guitar Pro、MIDI、MusicXML、ASCII、TablEdit、PowerTab。エクスポート: Guitar Pro、MIDI、MusicXML、ASCII、オーディオ、PDF、PNG。

# 楽譜

Guitar Proを使用する前に、タブ譜の読み方といくつかのリズムの概念を知っておくこと をお勧めします。もちろん、標準表記の読み方を知っている場合を除きます。 基本的な 概念の簡単な概要を次に示します。

#### タブ譜

タブ譜はGuitar Proの本質であり、それを理解し、それを読むことができることが重要です。

#### なぜタブ譜ですか?

タブ譜表記は、フレット付き弦楽器の音楽を読みやすくするために作成されました。それ はすぐに習得することができ、あなたが本当に任意の音楽理論を知っている必要はあり ません。それは演奏される弦を示します。これは実際に重要であり、それは与えられた 音符が異なる弦で演奏できるからです。

#### タブ譜の読み方

各ギターの弦は線で表されます。数字は、音符を演奏するために指で押す必要がある フレットを示します。数字の0は、弦がフレットを押さずにオープンで演奏されることを意 味します。一番下のラインは最も低いピッチの弦(低いE)を表し、一番上のラインはギタ ーの最も高いピッチの弦(高いE)を表します。これは、実際にギターに寄りかかったとき に見えるものと一致します(spectator view)。



#### リズムを理解する

ノートには異なる長さを設定できます。音の長さは秒単位ではなく、テンポの倍数で表さ れます。四分音符は1拍です。テンポはbpm(1分あたりの拍数)で表されます。したが って、テンポが60の場合、4分音符は1秒間続きます。テンポが120の場合、4分音符は 1/2秒です。その他の音符は、下の譜表の音符全体に対して定義されます。-全音符(小 節1)、2つの半音符(小節2)、4つの四分音符(小節3)、8つの8分音符(小節4)-。



Rhythm notions: whole, half-notes, quarter-notes, eighth-notes

音符がドットで区切られている場合、その持続時間は元の値の1.5倍(x1.5)です。

N連符(3連符、5連符、6連符…)は、特定のタイムスパムで特定の数のノートを演奏する ことで構成されます。例えば、八分音符(3×1/2拍=1.5拍)の三連は、一拍で再生され ます。または、8音符の5連符(5×1/2ビート=2.5拍)も一拍です。

#### 音部記号、調号、拍子

各スコアの最初に、これら3つの重要な情報があります。これらは常にこの順序で表示されます。音部記号(1)、調号(2)および拍子記号(3)。



Clef, key signature and time signature

- 音部記号は、譜表の各行の音符のピッチを示します。 最もよく知られている音 部記号はGですが、他の音部記号も使用されます: FおよびC
- 調号は、スコア内で体系的である臨時記号(シャープまたはフラット)を示します。
- 拍子記号は、1小節あたりの拍数を設定します。たとえば、拍子記号が3/4の場合、4は参照時間が4分音符であることを示し、3は小節ごとに3拍があることを示します。この場合、小節には3つの4分音符があります。一般的な時間は4/4で、ポピュラー音楽で広く使用されています(1小節あたり4拍)

コード

コードは、3つ以上の音で構成される音です。コード構築は非常に系統的です。Guitar Proは和音に英語表記を使用します。ロマンス言語の同等物は次のとおりです。

英語表記	ロマンス言語
A	ラ
В	シ
С	۴
D	
E	Ξ
F	ファ
G	ソ

# 楽譜はどこにありますか?

Guitar Proの可能性を示すいくつかの例を除き、Guitar Proには無料のタブスコアカタロ グが組み込まれていませんが、これは法的な理由からです。

簡単なインターネット検索により、Guitar Proと互換性のある数千のタブを見つけること ができます。Guitar Proファイルは、GP拡張(7.xバージョン)、GTP(1.xおよび2.xバージョ ン)、GP3(3.Xバージョン)、GP4(4.xバージョン)、GP5(5.xバージョン)、およびGPX(6.xバ ージョン)から認識できます。

Guitar Proは、バージョン1以降から作成されたバージョンのGuitar Proファイルをすべて 開くことができます。

Guitar Proファイルを開くには、[ファイル]> [開く]メニューに移動するか、ファイルをGuitar Proのウィンドウにドラッグアンドドロップします。ファイルアイコンをダブルクリックすることもできます。

最後に開いたファイルには、[ファイル]> [最近開いた…]メニューからアクセスできま

す。Guitar Proでは、次のファイル形式を開くことができます。

- Guitar Pro
- MIDI
- MusicXML
- TablEdit
- ASCII
- PowerTab

詳細については、ファイルのインポートとエクスポートの章を参照してください。

Arobas Musicは、mySongBookに高品質で法的なタブカタログを公開しています。このカ タログは、このWebサイト(https://www.mySongBook.com)からご相談ください。詳細につ いては、専用の章をご覧ください。

28 Chapter 2: Basics

# Chapter 3 Guitar Proでのナビゲート

この章では、Guitar Proの操作方法について説明します。Guitar Proのメイン画面、利用可能なさまざまなパネル、効率的な使用方法に関する情報を学習します。



Jordan Madrid ( https://unsplash.com/@jordanmadrid )

# メインスクリーン

Guitar Proのグラフィカルユーザーインターフェイスは完全に作り直され、可能な限り最高のエクスペリエンスと快適な使用感を提供します。

🗯 Guitar Pro 7 File Edit Track Bar	Note Effects Section Tools Sound View Window Help	🔲 🛜 🕬 Wed 11:35 Q i≣
•••	Smi Hendrix Experience - Little Wing	
Lan Handrid Segred United Segred U	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	Conside last beneficiants       Image: Construction     Image: Construction       Image: Construction     Image: Construction
Master 🗠 🚿 🎧	No. 111 Contraction of the second sec	E Outo

Guitar Pro main screen

パネルは次のように分かれています。:

- 1. ツールバー
- 2. タブバー
- 3. 編集パレット
- 4. ワークスペース
- 5. インスペクタ
- 6. グローバルビュー
## インターフェースパネル

## 1/ツールバー

Guitar Proウィンドウの上部にあるツールバーを使用すると、再生オプションと表示オプ ションにすばやくアクセスできます。これには、アプリケーションの重要な機能への直接 アクセスが含まれます。このバーは、サイドパネルやグローバルビューがなくてもGuitar Proを使用できるようにするために開発されました。



- 1. インターフェイスパネルの表示/非表示
- 2. ズーム
- 3. 表示モード
- 4. 変更を元に戻す/やり直す
- 5. 印刷
- 6. ナビゲーションと再生
- 7. LCD
- 8. ループと再生の設定
- 9. グローバル調性
- 10. インストゥルメントビュー
- 11. ギターチューナー
- 12. ライン入力
- 13. Fretlight

<sup>9</sup> ツールバーは、そのコンテンツを利用可能なウィンドウ幅に合わせます。 一部のボタン は、スペースを確保するために非表示になっています。 心配いりません。これらのアクシ ョンはアプリケーションのメニューにあります。

## 2/タブバー

ツールバーのすぐ下にあるタブバーには、アクティブなドキュメントと開いている他のドキ ュメントが表示されます。

タブバ

必要な数のファイルを開くことができます。制限はコンピュータのメモリ容量です。開い ているドキュメントの数が使用可能なスペースに対して大きすぎる場合、すべてのドキュ メント間を移動するためのスクロールボタンがタブバーに表示されます。

変更されたファイルには、右側に小さな丸が付いています。

ロックされたファイルには、左側に小さなロックが付いています。パスワードがわかって いる場合、このロックをクリックすると、タブのロックを解除できます。

マウスをタブ上に移動すると、ファイルを保存して閉じるボタンが表示されます。

## Blues 日× 変更されたファイルのタブ

タブには、すべてのタブを閉じるか、ハードドライブ上のファイルを含むフォルダーを開く ことができるコンテキストメニュー(Windowsで右クリック、またはmacOSで(^キー)をクリ ック)もあります。



## 3/ 編集パレット



- 1. 現在編集されている声部
- 2. 小節記号
- 3. 音符記号
- 4. エフェクト記号
- 5. 表記記号
- 6. オートメーション記号
- 7. マルチボイス
- 8. デザインモード

ウィンドウの左側にある編集パレットは、メイン編集ツールを収集し、標準表記、タブ譜表記、またはリズミカル表記(スラッシュ表記とも呼ばれる)でスコアを記述するために必要なすべての記号を含みます。選択したノートに影響を与える対応する要素または属性のボタンをクリックするだけです。

さらに設定が必要なシンボルについては、ダイアログウィンドウが開き、目的のシンボル を選択できます。

このパネルの詳細な説明は、装飾記号の部分にあります。

## 4/ ワークスペース

ウィンドウの中央にあるワークエリアは、曲を書いたり、作曲にメモを追加してスコアを操作したりする場所です。

## 5/ インスペクタ

Guitar Proウィンドウの右側にあり、2つの部分に分かれています。



インスペクタの曲とトラック

- ・ 曲のインスペクタ:曲のプロパティにアクセスし、表記オプションを設定し、サウンドマスタリング設定を確定します。
- トラックインスペクタ:現在のトラックプロパティ、記譜法とチューニングオプション、
   サウンドと解釈の設定にアクセスします。

#### 6/ グローバルビュー 1 2 3456 7 8 9 10 + Tracks : 2 Rhythm guitar 3 Bass 4 Drums Master Chela la nitro B Verse A Chorus B Verse C Outro

- Global view
- 1. トラックを追加
- 2. トラック名
- 3. トラックを上下に移動する
- 4. マルチトラック
- 5. ミュート
- 6. ソロ
- 7. ボリューム
- 8. パノラマ
- 9. イコライザー
- 10. グローバルビュー

サウンドボードは、グローバルビューとともに、各トラックのオーディオチューニングと再 生中のスコアの合成表示を可能にし、そこで直接クリックして小節にアクセスできます。 グローバルビューで複数のトラックを選択することもできます(多くの小節を簡単にコピー /貼り付けする場合に便利です)。

# 画面レイアウト

ワークスペースとツールバーのほかに、Guitar Proパネルはすべて隠されており、特に 再生モードで見やすくなっています。メインウィンドウの左上にある表示オプションを選 択して、パネルを表示または非表示にします。これらのコマンドは、[表示]メニューでも 使用できます。



- 1. 編集パレットの表示/非表示
- 2. グローバルビューの表示/非表示
- 3. インスペクタの表示/非表示

グローバルビューを非表示にする場合は、[トラック]メニュー、LCDディスプレイ(ツール バーの中央)、またはキーボードショートカットを使用して、あるトラックから別のトラックに 切り替えることができます。 [表示/全画面]メニューから全画面表示を有効にして、画面全体を表示することもできます。 (Windowsでは[F11]キー、macOSでは[ $^{\mbox{\sc s}}$ F])

# スコア内を移動する

## カーソルを移動する

Guitar Proでスコア内を移動するのは非常に簡単で、いくつかの方法があります。 カー ソルの位置は常にスコアとグローバルビューの間で同期されます。

スコアをクリック



スコアをクリックすると、編集カーソルが指定された位置に移動します。再生中にスコア を移動して、再生を停止することなく、指定した位置から再開することもできます。

## キーボードの使用

多くのショートカットを使用すると、音符から音符、小節から小節、またはトラックからトラックにスコアを簡単に移動できます(キーボードショートカットを参照)。

以下は、カーソルを移動するために最も使用されるショートカットを示す表です。

アクション	ショートカット
前の拍へ	<b>~</b>
前の線へ	1
次の線へ	Ļ
前の五線へ	к
次の五線へ	ι
音符の削除	

# グローバルビューをクリック



- 1. 小節番号
- 2. 小節
- 3. セクション
- 4. カーソル

特定のトラックにカーソルを置くには、グローバルビューの左側のトラックをクリックします。 編集カーソルは、そのトラックの現在の小節の最初の拍、またはその時点で再生されてい る拍に配置されます。

グローバルビューの右側をクリックすると、カーソルを移動するトラックと小節の両方をより正確に選択できます。

右側には、トラックのセクションリストも表示されます。 セクションの最初のバーをクリック すると、カーソルがセクションの先頭に移動します。

**66** ホイール付きのマウスを使用している場合は スクロール中にaltを押して水平に移動します。 ツールバーのトランスポートボタンをクリック



ツールバーにはさまざまなトランスポートボタンが表示されます。 左から右に、機能を次 に示します。

- 1. 最初の拍に移動します
- 2. 前の拍に移動します
- 3. 再生の開始/停止
- 4. 次の拍に移動します
- 5. 最後の拍に移動

さらに、ツールバーの中央にトラック名を表示するボタンは、現在のトラックも変更します。 クリックするとメニューがポップアップし、他のトラックを選択できます。

## セクションメニューを使用

セクションマーカーは、スコアの異なるセクション間を移動するための便利な手段です。 セクションメニューを使用して、スコアで使用可能なセクションのリストを見つけます。

# スコアをスクロールする

編集モードでのスクロール

66

カーソルを動かさずにスコアをスクロールできます。 ワークスペースの水平および垂直 スクロールバーは、その目的のニーズに適合します。 また、マウスホイールとトラックパ ッドは両方ともスコアをスクロールします。

同様に、グローバルビューでトラックとバーをスクロールすることもできます。 それ以外 の場合、このインターフェース部分は垂直方向にサイズ変更できます。

現在作業中のトラックがグローバルビューに表示されなくても、心配する必要はありません。スコアを編集するとすぐに、グローバルビューは現在編集されているトラックと小節 に自動的に配置されます。

## 再生モードでのスクロール

Guitar Proが再生モードに入ると、カーソルが自動的に移動し、スクロールしてカーソル が表示されるようになります。スコアとグローバルビューを手動でスクロールすることは 引き続き可能です。この自動システムを再度有効にするまで、カーソルを自動的に追跡 するために停止します。

スコアの自動スクロールを再度有効にするには、ワークスペースの左上隅にある[自動 スクロールの再開]ボタンをクリックします。

# スコア表示

最善の方法でGuitar Proを使用するためには、表示オプションを最大限に活用することが 重要です。

# 表示モード

Guitar Proでは、[表示]メニューからさまざまな表示モードを使用できます。

- **垂直ページモード**:ページの垂直スクロール。
- **水平ページモード**:ページの水平スクロール。
- ・ グリッドモード:水平ページの数はウィンドウサイズに適合します。スクロールは 垂直です。
- ・パーチメントモード: 改ページを削除して、スコアをよりコンパクトに表示します。
- **垂直画面モード**:使用可能なウィンドウスペースを最大限に活用します。小節の レイアウトは自動的に行われます。
- 水平スクリーンモード:使用可能なウィンドウスペースを最大限に活用します。
   マルチトラックビューで役立ちます。

紙のビューで作業する場合は、ページーパーチメントモードまたはページーグリッドモードを使用します。

# マルチトラックビュー

Guitar Proでは、1つのトラック、すべてのトラックを同時に表示することも、一部のトラック を表示することもできます。

[表示] [マルチトラック]メニューからマルチトラックモードをアクティブにします([F3]キーボードショートカット でも使用可能)。マルチトラックを有効にすると、すべてのトラックが表示されます。単一のトラックを表示す るには、このオプションを無効にします。

マルチトラックモードは、グローバルビューからも利用できます。パネルの左側の可視性 アイコンの上にあるマルチトラックアイコンを選択します。

+	Tracks :	~ <u></u>	<mark>⊫</mark> ≰ 🎧	Vol.	Pa	an. E	Ēq.
4	1. Distortion Guitar		Switch single 1	rack / multitrack	A 🌘	A	H
4	2. Electric Bass		• × A		A ()	A. †	H
ජ	3. Drums				A C	A t	łł
	Master				A ()		

マルチトラックのショートカット

各トラックには、ウィンドウの下部にあるグローバルビューからアクセスできます。また、 マルチトラックオプションがアクティブになっているときに、一部のトラックを非表示または 表示できる可能性があるのは、グローバルビューからです。これを行うには、次のよう に可視性アイコンを選択します。



- 1. マルチトラックモードの有効化/無効化
- 2. トラックを個別に非表示/表示

# ショートカット

Guitar Pro機能の大部分は、キーボードショートカットからアクセスできます。それらのいくつかは、複数の専用ショートカットさえ持っています。これらのショートカットはカスタマイズできません。

編集を高速化するために、お気に入りのショートカットを記憶することをお勧めします。

ショートカットのあるボタンの上にマウスを置くと、ボタンをクリックするのと同等のショート カットを示すツールチップが表示されます。同様に、Guitar Proのメニュー項目には関連 するショートカットが表示されます。

使用可能なすべてのショートカットは、このページのこのユーザーガイドの付録に記載されています。

44 | Chapter 3: Navigating in Guitar Pro

# Chapter 4 楽譜を書く

この章では、Guitar Proで楽譜を作成する方法について詳しく説明します。特に、スコアの編集方法、スコアの概念、曲の構造、プレゼンテーションの改善方法について学習します。Guitar Proで使用されるさまざまな記号とその機能も、次のページで開発されています。



James Baldwin ( https://unsplash.com/@chillysheep )

# スコア構造

このセクションでは、Guitar Proのスコアの構造について詳しく説明します。新しいスコア をゼロから作成する方法を開発します。ノート、小節、ボイス、セクション、トラックなどの 扱い方…また、Guitar Proでお好みのチューニングを設定する方法も学びます。

# スコア

Guitar Proでは、スコアはGuitar Proファイルに対応しています。Guitar Proを使用すると、 複数のファイルを同時に操作できます。 各ファイルは、タブバーにタブとして表示されま す。タブバーは、ツールバーの下とワークスペースの上にあります。

デフォルトでは、Guitar Proは新しいスコアを作成するか、進行中の作業に戻ることを提案します。ただし、次の手順でスコアをいつでも作成できます。

「一般」タブの設定ウィンドウから「最後のセッションのドキュメントを開く」オプションをアク ティブにすることにより、前のセッションのファイルを再度開くことができます。

## 新しいスコアを作成する

スコアの作成は、[ファイル]メニュー、ウェルカムページ、タブバー、およびWindowsの[CTRL + N]ショートカットとmacOSの[Command + N]から実行できます。

Guitar <b>Pro 7.5</b>
Version 7.5.1 - Build 1454
RECENT FILES TEMPLATES EXAMPLES
PLAY & EDIT Free Tab of the Day
🗋 New File (ﷺN) 🎬 Nirvana - Aneurysm (Full Score)
—
Image: Image
Mard Rock
Keystone     NEED HELP?     Objectivel
User Guide 🗑 Bach - Bourree
Help Center
Blues and Jazz
🗑 Anatole
Blueberry
🕡 Blues
🔞 Funky Horn
Slow Blues     Acoustic
Amazing Grace
🕤 Bluesy and Groovy
B Baccamba
0 🖸 🖸

Guitar Proのウェルカムページ

「ファイル>新規」メニュー

このメニューは空白の新しいスコアを開き、スコアを最初から開始することができます。 デフォルトでは、ファイルは空であり、Guitar Proはトラック作成ウィザードを開いてトラッ クを追加するように求めます。詳細については、トラックの章を参照してください。

これは、ウェルカムページの[新規]ボタンをクリックするのと同じです。

「ファイル」>「新規」メニューから開くデフォルトのテンプレートは、「設定」ウィンドウでカス タマイズできます。 "「ファイル>テンプレートから新規」メニュー

このメニューは、利用可能な定義済みテンプレートの1つから新しいスコアを作成します。これは、ウェルカムページの[テンプレート]ボタンをクリックするのと同じです。

## タブバー

タブバーの右側にある[+]ボタンをクリックすると、小さなメニューが開きます。 ファイルを作成または開く。新しいファイルを作成するには、[新規]メニューをクリックします。

#### ソングの情報

Guitar Pro 7ウィンドウの右側にあるSongインスペクタから、タイトル、アーティスト名などの曲情報にアクセスして設定できます(Guitar Pro>メイン画面セクションのナビゲートを参照)。

このセクションから、曲に関連する次の情報を設定または編集できます。

- 。 タイトル
- 。 アーティスト
- サブタイトル
- **∘ アルバム**
- 。 作詞
- 。 作曲
- 著作権情報
- 。 タブ
- 。 注意事項
- 。 指示事項

く スコア内のこれらの要素(タイトル、アーティストなど)のいずれかを直接クリックして、ソン グインスペクタにアクセスし、情報を編集することもできます。

#### 調号

[編集]パネルで、をクリックして[調号]ウィンドウを開くか、スコアの調号を直接クリックします。

スコアのキーとモード(メジャーまたはマイナー)を選択します。 どちらかがわからない場合は、標準表記を変更しないため、デフォルト値(C major)のままにしておくことができます。[OK]をクリックして続行します。



コンサートピッチオプションを使用すると、選択した調号をトラックのピッチではなくコンサ ートピッチに適用できます。その結果、他のピッチ(コンサートピッチまたはトランスポー ズピッチ)が計算されます。この概念は、このページのさらに下で開発されています。

#### 音部記号

トラック用に選択した楽器は自動的にGまたはFに音部記号を設定しますが、編集パレットをクリックするか、スコア上で直接クリックして変更することもできます。

移調ボタンが有効になっている場合、音は同じように聞こえるように再発音されます。移 調ボタンが無効になっている場合、スコアは影響を受けませんが、音符は同じではあり ません。



#### 拍子

編集パレットをクリックするか、[小節]> [拍子記号]メニューに移動して、拍子記号ウィンドウを開きます。スコアの調号を直接クリックすることもできます。

Chスコアの署名を選択します(デフォルトでは4/4に設定されています)。 拍子記号は、 各小節の拍数を決定します。 そのウィンドウでは、デフォルトでビームをリンクする方法 も選択できます。





#### コンサートピッチ

コンサートピッチは、指揮者が使用するものです。 表示されるノートは、実際に聞こえる ノートです。 移調音はミュージシャンが使用するものです。 主に管楽器に使用され、実 際のメロディーよりも指の位置を指します。

たとえば、Bbクラリネットを演奏している人にとっては、BbはCとして表示されます。他の すべての音符も同様にシフトされ、調号も同様になります。Bbトーン署名は、Cトーンのよ うに偶然ではありません。

Guitar Pro 7の移調は、ノート、オクターブ、カポ、および選択したオクターブにのみ適用 されます。

・グインスペクタからコンサートピッチボタンに直接アクセスします。

### 楽器の移調

Whenギターが非標準のチューニング(たとえば、以下のハーフトーン)でチューニングさ れている場合、楽器が標準のチューニングを維持し、その結果、通常の習慣とマークを 維持していると考えるのは簡単です。次に、標準表記を転置する必要があります。これ は、必ずしも音符のピッチを反映するものではなく、代わりに標準チューニングに基づい た正しいチューニングを反映します。これが、移調音調が許すものです。 スコアでの移調ギター表記法の設定は、オプションカポの適用とてスタイルシートウィンドウ([F7]ショートカット)の[システムと譜表]タブから利用できる翻訳されたインパクト標準表記法によって異なります。

以下に2つのシナリオを示します。

オプションがチェックされている場合

このオプションを選択すると、表記は実際に聞いた音を反映します。調号は、ギタートラックとボーカルトラックの両方で同一です。

正しい音部記号が選択され(B、5#)、両方のトラックでの偶発的な変更を防ぎますが、 ギタートラックの参照として標準表記を使用する場合、この選択はお勧めできません。 実際、私たちは標準的なチューニングでギターを読んで演奏することに慣れています。 その結果、ギターで開放弦のE弦を弾いて本能的にEを演奏します。この状況では、開 放されたE弦の最初のフレットからEを演奏する必要があります。読み替えのために転 置表記を表示する方が簡単なので、通常の読み方を維持してください。



The score オプションがチェックされているときのスコア

## オプションがオフの場合

このオプションを選択すると、変更されたチューニングまたはカポタストを補正するため に、移調がギタートラックに自動的に適用されます。表記はノートの実際のピッチを反映 しなくなりますが、標準的なチューニングを使用するので読みやすくなります。



オプションがチェックされているときのスコア

ボーカルトラックの正しい調性(B、5#)が選択されます。ギタートラックの移調設定を使用して、各トラックに正しい調号が追加され、読みやすくなり、誤って変更されることを防ぎます。

トラックインスペクタの[移調音調]セクションで、移調が変更されていることがわかります。



移調楽器

トラックインスペクタのトランスポーズ調性セクションから、各トラックのトランスポーズ調性を設定することができます。

このオプションを使用すると、トランペット、サクソフォンなどの移調楽器の表示を自動的 に管理できます。スコア内に書かれたCに対してどの音を聞くかを(スクロールメニューか ら)選択するだけです。

66 コンサートの音色は移調に直接影響します。移調は、コンサートピッチが無効になっている場合にのみ有効です。それ以外の場合、表示されるノートは解釈されたノートです。

## トラック

Guitar Proのトラックは、スコアの実行に参加する楽器に相当します。 ノートはトラックに 書き込まれます。 ファイルにトラックがない場合は、ノートを作成する前にトラックを作成 する必要があります。

新しいトラックを追加する

Guitar Proは、実質的に無制限の数の同時トラックを処理できます(ただし、Guitar Proでは、ファイルが大きすぎると、低速でその他の望ましくない動作が発生することがあります)。

新しいトラックを追加するには、[トラック]>[追加]メニューに移動します。

ADD TRACK									
String	jed	c	]) Drchestra			] Dr	ums	nidi Midi	
Acoustic G	iuitar				Ov	erdriv	/e		
Electric Gu	itar				Dis	tortic	on		
Bass					Cle	an			
Other					Jaz	zz			
					12-	-Strir	Ig		
					Sita	ar			
DISTORTIO	DISTORTION SETTINGS								
Information:	Dis	tortion	Guitar					dist.guit.	
Notation:	5 1 ./		{E						
Upper staff:	6 strings	\$	💵 Guitar		٢	-	Standard		\$
Sound:	Distortion			٢					
								Cancel	OK
									_

トラック作成ウィンドウ

機器ウィンドウがポップアップします。このウィンドウでは、トラック設定を構成できます。 トラックが作成されると、トラックインスペクタ(右パネル)からこれらの設定を簡単に見つ けて変更することができます。

- 1. 弦楽器、オーケストラ、ドラム、MIDIから楽器の種類を選択します。
- 2. 次に、下部の機器部門で選択した機器を選択します。
- 3. トラックに関連する情報(名前、色、アイコン)を設定します。
- **4.** 表記タイプ(標準、タブ譜、スラッシュ)および譜表タイプを選択します(単純または大譜 表)。
- 5. チューニングを選択または調整します。

- トラックに適用するサウンドを選択します。再生ボタンを選択すると、このサウンドのプレビューを聞くことができます。
- 7. 設定を適用したら、[作成]を選択し、トラックの作成を完了します。トラックがGuitar Proに表示されます。

次回新しいトラックを作成するときに同じ楽器を使用するときに設定を保存する場合は、 ウィンドウの左下にある[楽器設定の保存]アイコンボタンをクリックするだけです。

Guitar Proでは、音楽の一貫性を保つために、各トラックに同じ数の小節があります。

## トラックを削除する

トラックを削除するには2つの方法があります。[トラック]> [削除]メニューを使用するか、 グローバルビューから削除するトラックを右クリックして、コンテキストメニューから[削除] を選択します。



グローバルビューのトラックのコンテキストメニュー

## トラックの順序を変更する

トラックの順序が適切でない場合があります。その場合必要なだけトラックの順序を変更 できます。

## トラックのプロパティ

トラックのプロパティには、Guitar Proウィンドウの右側にあるトラックインスペクタからアク セスできます。これは、トラックをカスタマイズするためのメインエントリポイントです。



トラックインスペクタ

このトラックインスペクタは、次の4つのセクションに分割できます。

- トラックのプロパティ
- 楽譜
- トラックの音色
- 解釈オプション

#### トラック情報

このセクションから、トラックに名前を付け、短い名前を付け、特定の色とアイコンを割り当てることができます。

トラックの色は、Guitar Proウィンドウの下部にあるグローバルビューに表示されます。 この色はツールバーにも表示され、現在編集されているトラックを確認できます。

[ファイル]> [スタイルシート]> [組段と五線]メニューのスタイルシートでオプションが有効 になっている場合、短い名前はスコア内のトラックの先頭に表示されます。このビューモ ードが選択されている場合、これはグローバルビューにも表示されます。

## 記譜法

表示する記譜法の種類(標準五線、タブ譜、スラッシュ)を選択します。いくつかの記譜法 を組み合わせることができます。

## 譜表

パート譜または大譜表を選択できます。既にトラックに音符がある場合は、譜表を分割または結合するためのいくつかのオプションがあります。

- C3で分割し、最初の譜表または2番目の譜表の音符をすべて保持します。
- 2つの譜表をマージし、最初の譜表を保持するか、2番目の譜表を保持します。

## チューニング

必要に応じてチューニングを変更します。再生ボタンを選択すると、チューニングのプレ ビューを聞くことができます。トラックのチューニングは、Guitar Proチューナーがオンに 設定されているチューニングでもあります。詳細については、「チューニング」セクションを 参照してください。

#### 移調楽器

ここで移調オプションにアクセスできます。

#### サウンド設定

これらの設定とオプションは、このガイドの後半で開発されます。「サウンドの追跡」セクションを参照してください。この部分でトラックのサウンドを変更できることを知ってください。トラックは複数のサウンドを含むことができます。これは、スコア中にサウンドを変更できるためです(たとえば、ギタープレーヤーがスコアの特定の時間に歪みなどのエフェクトペダルをアクティブにした場合)。

#### 解釈オプション

プレイスタイルを選択します:ピック、指、ピッキング、またはベーススラップ。

解釈オプションを選択します:パームミュート、アクセント、オートLer Ring、オートブラシ、 ストリング。

#### パームミュート

この手法は、ギターブリッジの手の端を使って弦を覆うことから成ります。完全にくぐもった音が得られるまで、首を上げるほど効果が強くなります。 Palm Muteは、特定の演奏 スタイルでのみ使用可能です。

#### アクセント

このオプションは、小節内の特定の時間を自動的に強調します。

#### オートlet ring

このオプションは、音符の持続時間とは無関係に弦を共鳴させることにあります。トラック内の休符は、新しいノートが演奏されるまで、すべての弦に対してこの効果を停止します。

#### オートブラシ

同じコードに含まれるノートは、ギターピックの使用に伴うかき鳴らし効果をシミュレートするために、わずかなオフセットで再生されます。

#### ストリングス

弦楽器モードでは、Guitar Proが楽器を弦楽器と見なすため、同じピッチで複数の音を同時に鳴らすことができます。このオプションを無効にすると、ピアノモードがデフォルトで有効になります。

このモードはエフェクトに影響することに注意してください。弦モードでは、ノートはストリングでソートされますが、他の演奏スタイルではピッチによって区別されます。

ストリングスモードを使用すると、同じ弦の他のノートが演奏されている場合、ノートを鳴 らすことはできませんが、このオプションはストリングスモードが無効になっているときに 可能です。

#### 小節

#### 小節の管理バーの追加

Guitar Proでは、トラックごとに少なくとも1つの小節が必要です。したがって、任意のバー「B」は、トラックT1、T2などで同じトーンと拍子記号を持ちます。同様に、繰り返しセクションを追加する(セクションを開くまたは閉じる)ことは、必然的にすべてのトラックに一度に影響します。これにより、スコアの音楽的一貫性と、演奏時に満足のいく結果が保証されます。

ー方、各トラックを正確に定義する必要があります。たとえば、100小節のギタートラック や、1小節だけループで演奏するパーカッショントラックを作成することはできません。コ ピーと貼り付けを使用するか、繰り返し記号を使用して、100小節にパーカッション小節を 再現する必要があります(小節記号を参照)。

同様に、[小節]> [小節を挿入]メニューおよび[小節]> [小節を削除]メニューを使用する と、すべてのトラックで小節が追加または削除されます。 [小節]> [小節を挿入]メニューは、現在の小節の前に新しい小節を追加します。 現在の小節の後に小節を追加する唯一の方法は、キーボードの右キーを使用して 右に移動することです。

#### エラー管理

Guitar Proは自動的に小節線を管理します。編集カーソルを右に移動すると、選択した 拍子記号に従って現在の小節が完了すると、自動的に次の小節に移動します(たとえば、 4/4拍子記号の場合は4拍、楽譜の部分を参照)。小節がまだ完成していない場合、 Guitar Proは、前の拍と同じ長さの新しい拍を作成します。

小節が不完全または長すぎる場合、現在編集中の小節でない限り、Guitar Proはそれを 赤で表示します。

LCDには、現在の小節の実際の継続時間と理論上の継続時間が表示されます。その 情報の上にカーソルを移動するたびに、ツールチップがどの音声が不完全であるかを知 らせます。



An incomplete bar



## 段組の構成

ページモードまたは羊皮紙モードでは、1行あたりの小節の数を手動で管理できます。これを行うには、[小節]> [強制的に改段する]および[小節]> [改段の回避]メニューを使用する必要があります。

[小節]> [段組レイアウト]では、譜面の段組ごとのデフォルトの小節数を選択できます。 改段をリセットします。

[現在の段組で始める]オプションは、プログラムに変更を適用する方法を指示します。 オプションがチェックされている場合、レイアウトは現在の段組に続く小節にのみ適用さ れます。それ以外の場合、レイアウトはドキュメント全体に適用されます。



譜面の段組レイアウトウィンドウ

#### 設計モード

受をクリックして、ウィンドウの左側の編集パレットから、または[表示]メニューからデザ
 インモードにアクセスします。

デザインモードでは、段組内の小節のサイズと各段組の小節の数を変更できます。

改段機能は、アクティブなトラックまたはマルチトラックビューにのみ影響します。したが って、トラックごとに異なる配置のバーを作成し、マルチトラックビュー用に別の小節を作 成することができます。

スコアの最後の小節を右に揃えるには、その最後の小節に改段を追加するだけです。



Design mode on the score

デザインモードがアクティブになったら、上の写真で強調表示されている青い三角形を使 用して、小節のサイズを拡大または縮小します。

+および-アイコンを使用すると、段組に小節を追加または削除できます。

\* アイコンを使用すると、この特定の段組のレイアウトをリセットできます。

## セクション

## セクションとは何ですか?

セクションは、スコアの任意の部分に簡単に移動できるマーカーです。文字や名前(イン トロ、コーラス、詩など)として設定できます。

マーカーは小節に結び付けられているため、マスタートラックにリンクされています。した がって、1つのトラックのみのセクションを定義することはできません。

既存のセクションは、セクションメニュー、グローバルビュー、そしてもちろんスコアにあり ます。

## セクションを追加する

[セクション]> [編集]メニューからセクションを追加するか、編集パレットから包クションア イコンをクリックするか、グローバルビューのマスタートラックを右クリックします。カーソ ルのバーにセクションが見つからない場合、セクションが追加されます。

セクションの名前を角括弧で囲んでボックス化できます:

[My Section name]

1つまたは複数のセクションをコピーして貼り付けるには、[編集]>[特殊ペースト]メニュ ーから使用できる特殊ペースト機能を使用する必要があります。

## グローバルビューから追加

グローバルビューからセクションを追加することもできます。目的の小節を右クリックして、 コンテキストメニューを開きます。



同様に、セクションを右クリックすると変更できます。



グローバルビューからセクションを変更

スコアから

セクションを変更するには、スコア上で直接クリックしてください。



## セクション間を移動する

次のショートカットキーのいずれかを使用して、セクション間を移動できます。

アクション	Windows shortcut	macOS shortcut
前のセクション	Ctrl+Alt+Left	₩~
次のセクション	Ctrl+Alt+Right	

[編集]> [移動…]メニューから特定のセクションに直接移動することもできます。

66 グローバルビューで関連するセクションをダブルクリックすると、セクション全体を選択で きます。

#### 声部

声部とはなんですか?

Guitar Proは、トラックごとに最大4つの声部を処理します。トラックは、他の3つの声部 がアタッチされている主声部(デフォルトで書き込みます)で構成されています。

声部では、同じ拍で異なる値のノートを編集できます。したがって、マルチボイス版では、 同じ譜表で異なる声部を編集できます。ベース音、メロディー、およびコードの残りの部 分を個別に編集しながら、各声部で異なるリズムと速度を示します。 音符は一度に1つ の声部にしかできません。 たとえば、フィンガーピッキングのケースを調べてみましょう。最初の音声には、右手の 親指(通常は最も低い弦)で演奏されるノートが含まれ、2番目の音声には、他の右手の 指(通常は最も高い弦)で演奏されるノートが含まれます。

1つまたは複数の声部を編集する

[編集]> [音声]メニューでは、音声モードを選択できます。編集する音声とマルチボイス モードを有効または無効にします。これらのオプションは、次のように編集パレットにも 表示されます。 1 2 3 4

各声部には独自の色(黄色、緑、ピンク、紫)が割り当てられており、編集カーソルもその 色を使用します。

他の声部からのノートはグレーアウトされ、マルチボイスモードがアクティブでない限り編 集できません。

例:声部1の編集



例:声部2の編集



例:マルチボイス



次の「声部2、3、4のタブ譜でフレット番号を色付けする」オプションを有効または無効にすることができます。

- [ファイル]> [スタイルシート]> [記譜]メニュー(Windows)
- [ファイル]>[スタイルシート]>[記譜]メニュー(macOS)

編集速度を改善するには、キーボードショートカットを使用することをお勧めします。声部 関連のキーボードショートカットは次のとおりです。

ショートカット	Windows	macOS	
カーソルを声部に移動	Ctrl + 声部番号	策 <b>声部番号</b>	
ノートを声部に移動	Alt +声部番号	~ 声部番号	
マルチボイス編集	Ctrl+M	<b>HM</b>	

## 記譜

記譜は、タブ譜または標準表記のいずれかで作成できます。スラッシュ表記法は、単に リズムを表したものであるため、そのように書くようには設計されていません。ただし、譜 表にコードを追加すると、スラッシュが表示され、リズムを変更できます。) 瞬時に他方 に複製されます。

編集カーソルは、音声に応じて、黄色、緑、青、または赤の四角で表されます。

音符の上にあるときはいつでも、他の表記法の対応する音符は灰色の四角で表示されます。

[Tab]キー(macOSでは[→])を使用すると、タブ譜から標準表記に切り替えることができま す。ピアノの大譜表を使用している場合、同じキーを左譜表から右譜表に切り替えます。

スコアをクリックしても音符は追加されませんが、カーソルを目的の場所に配置します。 これは、単にナビゲートしたいときに、誤ってスコアを変更しないようにするためです。

#### 音符をスコアに取り込む方法

Guitar Proでは、複数の方法で音符を書くことができます。最も快適なものを選択できます。より高速な方法は、キーボードを使用することです。

キーボードで音符をキャプチャ

ほとんどのキャプチャは数値パッドで行われます。

- 矢印を使用して譜表上を移動します↑→↓←
- 0~9の数字を使用して、音符を入力します。
- 標準表記では、1~9の数字を使用して、音符を配置する文字列を選択します。
   ほとんどの場合、0はノートを最適化した方法で配置します。
- タブ譜では、これらの数字は音のフレットを示すために使用されます。2桁の数字を入力するために遅延が許可されます。
- +および-キーを使用して、音符の長さを変更します(これらのキーは、設定でカスタマイズできます)
- Windowsのショートカット[Ins]またはmacOSの[
   <sup>|</sup>
   <sup>|</sup>
- Windowsではショートカット[Del]を使用し、macOSでは∞を使用して音符を削除し ます。
- 。 [R]キーで休符を挿入します。

66 記譜を高速化するには、キーボードショートカットを学習する必要がある場合があります。

## マウスで音符をキャプチャする

マウスを使用する場合は、次のツールを使用できます。

- インストゥルメントビュー
- パレットの音符デュレーションキーを使用して、音符の長さを変更できます。
- [音符]> [拍を挿入]および[音符]> [拍の削除]メニューでは、ノートを挿入または 削除できます。

MIDIインストゥルメントを使用して音符をキャプチャする

[サウンド]> [MIDIキャプチャ]メニューでは、MIDIインストゥルメント(キーボード、ギター、 および正しく構成されたMIDIコントローラー…)を使用して、ノートごとにスコアをキャプチ ャできます。

[サウンド]> [オーディオ/ MIDI設定]に移動して、MIDIオプションを設定します(Midiを参照)。
# チューニング

各トラックにはチューニングがあります(楽器がピッチングされている場合)。 このチュー ニングにより、各弦のピッチがわかります。 Guitar Proでは、弦楽器以外の楽器にもチュ ーニングがあります。この種の楽器のタブ譜も表示したい場合があるからです。

標準ではない場合(つまり、クラシックE A D G B E)、チューニングはデフォルトでスコア の上部に表示されます。これは、ファイルのスタイルシートで調整可能です。

現在のトラックのチューニングを変更するには、スコアのチューニングをクリックするか、 トラックインスペクタのチューニングをクリックします。 再生ボタンでトラックのチューニン グを聞くこともできます。

チューニングウィンドウが開き、次のようになります。

TUNING			
Library: 5 strings	🗘 👎 Banjo	🗘 📮 Open G	\$ :
Strings: G4 D3 G3 E	3 D4		Detail 🔺 🕨
1 D4	, •		Þ
2 B3	÷		D
3 G3	¢		2
4 D3	<b>•</b>		D
5 D4	🗘 🧭 Banjo Drone		
Alteration: b 🛱			
CAPO Capo: Fret 3			
Partial Capo: Fret 8	On strings 2, 4, 5	\$	
			E
DISPLAY			
Label: Open G			Visible
Show 🗘	Kee	p the Fingering Cano	Adjust the Fingering
	チュー	-ニングウィンドウ	

ギター、ベース、バンジョー、三味線、チェロ、コントラバス、マンドリン、ウクレレ、ヴィオラ、 バイオリンなど、複数の弦楽器をカバーする幅広いチューニングライブラリからチューニ ングを選択します。楽器には3~10個の弦を使用できます。

また、弦を個別に調整し、好みの変更を選択して、独自のチューニングを作成することも できます。

弦を変更することにより、ライブラリ内でチューニングが認識される場合、自動的に選択 されます。 ユーザーライブラリ

現在のチューニングをユーザーライブラリに保存することができます。オプションボタン をクリックし、メニューから[チューニングプリセットとして保存...]を選択します。

ユーザーライブラリにチューニングが存在する場合、同じメニューの対応するオプション を使用して、チューニングを編集または削除できます。カポ、部分カポ、表示ラベルは、 チューニングプリセットの一部として保存されないことに注意してください。



#### チューニング保存ウィンドウ

#### カポ

66

トラックのカポと部分カポを調整します。両方のカポを同時に使用できます。カポの前、 つまりカポよりも低いフレットに部分カポを設定すると、部分カポが役に立たなくなること に注意してください。

カポと部分カポのフレット番号は絶対です。部分的なカポフレットは、カポフレットに相対 的ではありません。フレットボードの写真が役に立つかもしれません。

#### 表示ラベル

選択したチューニングはライブラリからのチューニングであるかどうかにかかわらず、ス コアに別の名前で表示することができます。このテキストフィールドを使用すると、チュ ーニング用の表示専用の名前を選択できます。ライブラリのチューニング名は変更され ません。

#### チューニング変更の検証

新しいチューニングや新しいカポを選択したら、この新しい設定を検証する2つの方法があります。

- フィンガリングの保持:移調は行われず、タブ譜の運指はそのまま残ります。
- フィンガリングの調整:タブ譜の運指は、同じピッチを維持するように適合されま すが、新しいチューニングと新しいカポで調整されます。



スコアを効率的に編集するのに役立つさまざまなツールとオプションを見つけて学習します。

# コピー、ペースト、カット

[編集]メニューから切り取り、コピー、貼り付けのオプションにアクセスするか、スコアを右クリックして直接アクセスします(macOSでは[^]をクリックします)。



単一トラックでのカット/コピー

シングルトラックコピーは、選択したすべてのコンテンツをコピーします。 これは、コピー に期待される基本モードおよびクラシックモードです。 シングルトラックカットも同じように 機能します。

ここでは単一のトラックから切り取りまたはコピーしているため(つまり、複数選択ではありません)、機能は小節構造(拍子記号や調号など)を考慮しません。

ただし、この機能はマルチボイスであり、楽器に互換性がない場合(ギターとピアノなど) でも、複数の異なるトラックで機能します。メロディー楽器へのパーカッショントラックの 場合、またはその逆の場合、休符で表されるリズムのみが保持されます。

多数の小節をコピーする場合、コピーされた小節の概要を把握するために、グローバル ビューで複数選択を使用すると便利です。さらに、グローバルビューでは、選択範囲の 端にあるハンドルを移動して、選択範囲を拡張できます。

アクション	Windows ショートカット	Mac ショートカット
コピー	Ctrl+C	жC
カット	Ctrl+X	жx

# マルチトラックモードでのカット/コピー

マルチトラックのカット/コピーでは、小節の構造(拍子記号や調号など)が考慮され、複 数選択をそれらに含まれる小節に拡張してセクション全体がコピーされます。 カットとは、 選択したバーをすべてのトラックから一度に取り出すことを意味します。

アクション	Windows ショートカット	Mac ショートカット
マルチトラックコピー	Ctrl+Shift+C	₩ûC
マルチトラックカット	Ctrl+Shift+X	H û X

# シンプルペースト

シンプルペーストは、クリップボードの内容を現在の選択範囲に、またはデフォルトで選択 範囲の前に貼り付けます。

選択範囲に含まれる小節が1つだけの場合、貼り付けアクションが実行された小節 の前に他の小節が追加されます。 または、現在の小節「はクリップボードの内容 で完了します。 空の小節にカーソルを置くと、貼り付け機能は最初に空の小節を 埋めてから、必要に応じて他の小節を作成します。

アクション	Windows ショートカット	Mac ショートカット
ペースト	Ctrl+V	жV

## 特殊ペースト

これにより、貼り付ける内容とその回数を選択できます。

アクション	Windows ショートカット	Mac ショートカット
特殊ペースト	Ctrl+Shift+V	<b>₩ûV</b>



#### 特殊ペーストウィンドウ

# スコア要素をクリックする

Guitar Proでは、スコアの一部の要素をクリックして編集できます。



特定の要素の上にマウスを移動すると、この要素が青で強調表示され、クリックできることが確認されます。クリックするとダイアログが開き、この要素を編集できます。

この同じダイアログを開く他の方法は、メニューまたはパレットです。こちらはスコアをク リックしてもまったく同じ結果が得られる別の方法になります。

スコアで編集可能な要素の完全なリストは次のとおりです。

- 。 スコア情報(タイトル、アーティスト、アルバムなど)
- 。 テンポ
- 。 トラックの調整
- トラックカポ
- 。 セクション
- 。 スイングフィール
- ∘ コード
- 。フリーテキスト
- 。 音部記号
- 。 調号
- 。 拍子記号

70 | Chapter 4: Writing a score

- フェルマータ
- 方向(ジャンプとターゲット)
- ・ 代替エンディング
- リピートクローズ

66 テンポは、スコアヘッダーとスコア(オートメーション)の両方で編集できます。

コードダイアグラムは、スコアヘッダー(オプションが有効な場合)とスコアの両方で編集 できます。最初のケースでは、ダイアグラムを編集すると、スコア上の和音のすべての出 現に影響します。

オートメーション

トラックの任意の場所にテンポ、ボリューム、またはパンの変更を適用することができます。 これらの変更はオートメーションとも呼ばれます。

オートメーションエディターには、[編集]> [オートメーション]> [オートメーションの編集]メニューから アクセスできますが、[F10]キーボードショートカットまたはエディションパレットにあるオートメーショ ンアイコンからもアクセスできます。これらの変更をトラックで非表示または表示することができま す。

#### 

パレットのオートメーション関連シンボル

スコア内のオートメーションを直接クリックして、テンポオートメーションを編集することもできます。

**66** 再生中のサウンドの変更については、オーディオの章を参照してください。

オートメーションタイプ

オートメーションエディターでは、3種類のオートメーションを編集できます。

- ・テンポ
- ・ ボリューム
- ・パン





オートメーションエディターウィンドウ:テンポ

再生中にテンポを自動的に変更(増加、減少)することができます。各ポイントには、スコ アのテンポを示すラベルが付いている場合があります。

テンポオートメーションはすべてのトラックに適用されます。

ボリューム



オートメーションエディタウィンドウ:ボリューム

ボリュームオートメーションは個別に設定することも、マスタートラックで設定して、すべて のトラックに同時に影響を与えることもできます。



Apply

オートメーションエディタウィンドウ:パン

パンは、ステレオスコープでのサウンドの配置に対応します。多かれ少なかれ左右です。

パンオートメーションは個別に設定することも、マスタートラックで設定して、すべてのトラ ックに同時に影響を与えることもできます。

有効にすると、トラックのパンオートメーションがノブ 「〇〇〇」の横のグローバルビュー に表示されます。

使い方

ウィンドウが開くと、まだ存在しない場合は、その位置にポイントが自動的に追加されま す。

グラフをクリックして、変更を示すキーポイントを配置します。ポイントは拍と小節に自動 的にスナップされます。マウスまたはキーボードを使用して、左右(時間枠)または上下 (値)に移動できます。

ポイント間の遷移は、突然または進行的です。左パネルでこの遷移を設定します。

- 。次のポイントまで一定:値は次のポイントまで一定であり、突然変化します。
- 。次のポイントまで進む:値は、次の値まで徐々に増加/減少します。

# アシスタント

Guitar Proには、スコアを作成する際の作業を高速化するための多くのウィザードが含まれています。これらのウィザードは、[ツール]メニューから利用できます。

## ノート関連のウィザード

ウィザードを使用すると、時間を大幅に節約できます。 たとえば、1つのステップで、 Guitar Proに、4つの最も高い弦のすべてのノートに対してLet Ring機能をオンにすること を知らせることができます。

## Let Ringオプション

選択した範囲の小節または音符の各弦にLet Ring属性を設定します。

LET RING OPTIONS	
RANGE	
💿 From bar: 🧵 🌲 to: 40 🧅	All voices
STRINGS	
E	Unchanged
В	No Let Ri
G	- Unchanged
D	NO Let RI
D	I et Ring
5	Cot r inig
c	ancel OK

Let ringウィンドウ

### パームミュートオプション

選択した範囲の小節または音符の各文字列にパームミュート属性を設定します。

PALM MUTE OPTIONS
RANGE
Selection
💿 From bar: 1 🔷 to: 40 🧅 👘 All voices
STRINGS
E 👘 No Palm Mute
B No Palm Mute
G Unchanged
D 🦢 Palm Mute
A 🗾 🗹 Palm Mute
D 🛃 🛃 🛃 D
Cancel OK

パームミュートウィンドウ

スコアを整理するためのウィザード

作曲時、トラックのインポート後、または標準五線譜でノートをキャプチャしているときに これらのウィザードを使用して、タブ譜の最適な配置を取得できます。

小節アレンジャー

音符の長さに従って小節をチェックして配置します。

休符付きの小節の完成/縮小

空または短すぎる小節の休符を追加し、長すぎる小節の余分な休符を削除します。

自動指ポジショニング

コードの位置と手の動きを簡素化するために、曲を変更せずにタブ譜に音符を配置しま す。

声部の移動/交換

マルチボイストラックでボイスを再編成します。

他のウィザード の移調

アクティブなトラックまたはすべてのトラックを指定された数の半音だけ上下にトランスポ ーズします。この機能は、コードダイアグラムをトランスポーズしません。

小節の継続時間を確認

スコア全体をチェックして、必要な拍数を持たない小節を検出します。

# ドラムとパーカッション

キーボードショートカットを使用して、ドラム/パーカッショントラックに音符を入力できます。 各行には複数のアーティキュレーションを表示できます(たとえば、チャールストンは開い たり、半開いたり、閉じたりすることができます)。数字パッドから1、2、3キーを使用できま す。

タブ譜はドラムでも使用できます。ドラム要素に関連するMIDI番号を入力することにより、 タブ譜表記から直接ドラムトラックを編集することができます。

すぐ後にMIDIとタブ譜の対応表を参照してください。 MIDIモードでは、パーカッショントラックは常にチャンネル10に割り当てられます。

ただし、主に、パーカッションに適したインストゥルメントビューを使用できます。 [表示]> [ドラムキットビューの表示]メニューから表示します(現在のトラックがパーカッショントラック の場合、Windowsでは[Ctrl] + [F6]、macOSでは[Cmd] + [F6])。



Virtual drumkit(バーチャルドラムキット)

- 1. カーソルを左右に移動します
- 2. ドラムキットの設定

このウィンドウからトラックに直接追加する要素を選択できます。一番上はノーテーション ビューで、一番下はGeneral MIDIリストです。この設定により、表示または非表示にする ビューを選択できます。 Fラムを叩くために使用するスティックの種類を選択できます。RSEはさまざまな種類の ストロークを解釈します。Guitar Proウィンドウの右側にあるトラックインスペクタからこの オプションを選択します。

# MIDI(ノートナンバー)と譜面上の表記対応リスト

MIDI	ドラムキットパーツ
27	High Q
28	Slap
29	Scratch Push
30	Scratch Pull
31	Sticks
32	Square Click
33	Metronome Click
34	Metronome Bell
35	Bass Drum 2
36	Bass Drum 1
37	Side Stick/Rimshot
38	Snare Drum 1
39	Hand Clap
40	Snare Drum 2
41	Low Tom 2
42	Closed Hi-hat
43	Low Tom 1
44	Pedal Hi-hat
45	Mid Tom 2
46	Open Hi-hat
47	Mid Tom 1
48	High Tom 2
49	Crash Cymbal 1
50	High Tom 1
51	Ride Cymbal 1
52	Chinese Cymbal
53	Ride Bell
54	Tambourine
55	Splash Cymbal
56	Cowbell
57	Crash Cymbal 2
58	Vibra Slap
59	Ride Cymbal 2
60	High Bongo

MIDI	ドラムキットパーツ
61	Low Bongo
62	Mute High Conga
63	Open High Conga
64	Low Conga
65	High Timbale
66	Low Timbale
67	High Agogô
68	Low Agogô
69	Cabasa
70	Maracas
71	Short Whistle
72	Long Whistle
73	Short Güiro
74	Long Güiro
75	Claves
76	High Wood Block
77	Low Wood Block
78	Mute Cuíca
79	Open Cuíca
80	Mute Triangle
81	Open Triangle
82	Shaker
83	Jingle Bell
84	Bell Tree
85	Castinets
86	Mute Surdo
87	Open Surdo

Guitar Proでは、すべての音楽記号、特にギター固有の記号をスコアに挿入できます。 これらの記号のほとんどは、スコアが再生されるたびに考慮されます。

以下の説明は、右利きの人と左利きの人の両方に有効です。 左利きのプレーヤーは、 必要に応じて用語「右手」を「左手」に置き換えるだけです。

# 小節関連の記号

§ ### 4 = ∰ || /. //. ||: □ ... :|| ⊕ 8<sup>va</sup> 8<sup>vb</sup> 15 ma mb パレットの小筋関連の記号

	名前	概要
アイコン		
Ş	音部記号	音部記号を変更します。
###	調号	調号を変更します。
4 4	拍子記号	拍子記号を変更します。
=	シャッフルリズム	例:3連符の演奏と表記
	カデンツァ	リズムとテンポの面で自由に再生します。
	複縦線	パートや拍子、またはスコアの大きな変更
<b>%</b>	1 小節リピート	直前の1小節をそのまま繰り返して演奏
·//.	2 小節リピート	直前の 2 小節をそのまま繰り返して演奏
:	リピート開始	それに続くすべての小節を再生
:	リピート終了	直前のリピート開始マークまで戻る
<b>X</b> .	反復記 <del>号</del> 括弧	すでに再生された回数に応じて、小節を再 生
•	指示記号	高度な繰り返し管理。
$8^{va}$	8va オクターブ音部記号	書かれているものよりも1オクターブ上を 演奏します。
$8_{vb}$	8vb オクターブ音部記号	書かれているものよりも1オクターブ下を 演奏します。
<b>15</b> ma	15ma オクターブ音部記号	書かれているものより2オクターブ上を演 奏します。
<b>15</b> mb	15mb オクターブ音部記号	書かれているものより2オクターブ下を演 奏します。

### 音部記号



音部記号エディタ

#### 調号

## 調号は、五線譜の頭につく変化記号のセットであり、曲を通してどの音を変化させるか示します
 (スコア上で隣に臨時記号がついている音符は、その記号に従います)。調号により、その曲の調(キー)が決まります。調号は、全トラック共通です。ただし、移調譜モード(Guitar Pro が自動で設定)で
 使用している移調楽器(Bb クラリネットなど)は除きます。





## 拍子記号

2 拍子記号は、1 小節に入る拍の長さを示します。下の数字は基本となる音符(全音符の分割数)、 上の数字は 1小節内で使用する基本となる音符の数を示します(表記の理解を参照)。小節に音符 を入力して、その拍数が満たされると、すぐに次の小節に移動します。拍数が満たない、または超過 している小節は赤色で表示されます。

アウフタクト オプション(小節 > [アウフタクト])をチェックしている場合、第1および最終の小節は、 不完全小節であっても赤色で表示されません。

TIME SIGNATURE				
Common time signatures				
$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$				
Custom time signature				
7 0				
BEAMING				
Cancel OK				
Cancel OK				

Tim拍子記号エディタ

# シャッフルリズム

■ シャッフル リズムは、2 等分系の曲中の小節で 3 連符を 1 拍として演奏することを意味します。これは、
諸面を簡単にするためです。Guitar Pro はいくつかのモチーフを用意しています。例えば最も一般的なものは 8 ビート シャッフル リズムで、これを使えばブルース スタイルで 4/4 拍子を演奏することができます。



シャッフルリズムエディタ

## カデンツァ

カデンツァ小節は、自由なリズムやテンポで演奏される小節です。この小節は小節線は点線で表示され、 拍子記号は括弧で囲まれます。

#### 複縦線

│ 複縦線はパートや拍子の変更、またはその他スコア上の大きな変更を表します。Guitar Pro は拍子が変わるたびに自動的に複縦線を挿入します。そのほか、その変更には複縦線が必要と思われるときはいつでも、 左のボタンで複縦線を追加することができます。

## 1小節リピート

ソ 小節にこの記号がついている場合、直前の1小節をそっくりそのまま繰り返して演奏します。 これにより、編集や読み込みがスムーズになります。ただし、スコアの第1小節に置かれた場合 は作用しません。

## 2小節リピート

・//・小節にこの記号がついている場合、直前の2小節をそっくりそのまま繰り返して演奏します。 ただし、スコアの第1および第2小節に置かれた場合は作用しません。

## リピート開始

■: この記号は、小節開始線をに代わり、それに続くすべての小節が再生されることを意味します。リピート終了記号(以下を参照)に応じて、一定回数繰り返します。

## リピート終了

: この記号は、小節終了線に代わるものです。直前のリピート開始マークまで戻ることを示します。繰り返しの回数を示すダイアログウィンドウが表示されます。

例:小節の順序は 1-2-1-2-3



## 反復記号括弧

IX. これにより、アクティブな小節の先頭に繰り返し記号が追加されます。これは、すでに再生された回数に応じて、小節が再生されるかどうかを示します。その記号は繰り返し記号と一緒に使用されます。

例:小節の順序は 1-2-1-3



代替エンディングエディタ

#### 指示記号

 ・● この機能は、Coda(コーダ)、Double Coda(ダブルコーダ)、Segno(セーニョ)、Segno Segno

 ・ダブルセーニョ)、Fine(フィーネ)に加え、11 種類のジャンプ記号を追加することができます。

DIRECTION				
TARGET	JUMP			
🌌 fine	📄 Da Capo			
<b>8</b>	🌌 Dal Segno	al Coda	\$	
<b>%</b> %	📄 Dal Segno Segno			
•	📄 Da Coda			
•	📄 Da Double Coda			
		Cancel	OK	

指示記号エディタ

#### オクターブ記号

8va 8vb 15 15 ma mb

この小さな記号が付いている場合、スコアに書かれている実際の音より 1 オクターブ高く演奏します。このボタンをクリックするとスコア上の音符が 1 オクターブ上がり、小さく 8va と追加されます。反対に8vb をクリックすると 1 オクターブ下がります。また、 2 オクターブ上下したい場合、 15va または 15vb をクリックします。

# 音符関連の記号



アイコン名称 概要 
 全音符
 音符全体を演奏します。 』 2分音符 2分音符を演奏します。 ↓ 4分音符 4分音符を演奏します。 ♪ 8分音符 8分音符を演奏します。 ♪ 16分音符 16分音符を演奏します。 ▶ 32分音符 32分音符を演奏します。 ▲ 64分音符 64分音符を演奏します。 ≵ 休符 休符を追加します。 . 付点音符 音符に符点を追加します。 ... 複付点音符 音符に複付点を追加します。 -\*- 二連符 音符のリズムを二連に設定します。 音符のリズムを三連に設定します。 --- 三連符 \*\*\*\* カスタムn連符 音符のリズムを特定の連符に設定します。 り タイ 音符を直前の音符と繋げます。 複数の音符を繋げます。 🗉 複数のタイ フェルマータ(マルチトラック)を追加します。 ゅ ダブルフラット 音符の臨時記号をダブルフラットに設定します。 b フラット 音符の臨時記号フラットに設定します。 り ナチュラル 音符の臨時記号をナチュラルに設定します。 # シャープ 音符の臨時記号をシャープに設定します。 × ダブルシャープ 音符の臨時記号をダブルシャープに設定します。 同じ発音を保ちながら別名に変更します。 ↓ 異名同音に変更 ・ 半音下にシフト 音を半音下げます。 ↓ 半音上にシフト 音を半音上げます。 *PPP* ピアニッシシモ 音を非常にソフトに演奏します。 pp ピアニッシモ 音を非常にソフトに演奏します。 <sup>p</sup> ピアノ 音をソフトに弾きます。 *™* メゾピアノ 音を適度にソフトに弾きます。 <sup>mf</sup> メゾフォルテ 音を適度に大きく演奏します。 f フォルテ 音を大きく演奏します

*#*フォルティシモ 非常に大きな音で演奏します。

#### アイコン名称

**Quick description Fortiss** 

🇯 フォルティッシシモ	非常に大きな音で演奏します。
< クレッシェンド	徐々に大きい音に演奏
> デクレッシェンド	徐々に音を小さくなる様に演奏

#### 音符の長さ

○ J J ♪ ♪ ♪ 音符の長さは、全音符から64分音符までの範囲で指定できます。 これは、音符が配置される拍に影響します。異なるデュレーション値を持ついくつかのノートを同じ拍に配置する場合は、マルチボイス編集モードを使用できます。

#### 付点音符と複符点音符

••• 付点の音符、複付点の音符を追加することもできます。 付点は音符にその半分の長さを追加します。 たとえば、音符の4分の1は1拍ではなく、1.5拍続きます。 複付点は、その一部であるため、音符に3/4の長さを追加します。

#### Rest

休符とは、休止の長さを示す記号でマークされた無音の間隔です。各休符の記号と名前は、 長さの特定の音価に対応し、無音が続く時間を示します。

休符記 <del>号</del>	名称	名称(ドイツ語)	同等の音価
	全休符	Semibreve	o
•	半休符	Minim	J
₹.	4分休符	Crotchet	4
7	8分休符	Quaver	ľ
7	16分休符	Semiquaver	R
Į	32分休符	Demisemiquaver	R
<b>4</b>	64分休符	Hemidemisemiquaver	

#### N連符とポリリズム

-2---3- mm シンプルまたはポリリズミカルなn連符を追加することもできます。3連符は、この例 外的なビート分割の例です。通常、ビートは8分音符2つに分割されているため、3つの8分音符に 分割されます(2つは3カウント)。



カスタム連符ウィンドウ

タイ

↓ タイは音符を直前の音符とつなげます。そのため、長さはその 2 つの音符の合計となります。

複数のタイ

🢓 拍全体を直前の拍につなげることもできます。

## フェルマータ

ヘ フェルマータはホールドやポーズともいい、演奏者の判断により音価を伸ばします。この記号は、全トラックに適用されるマルチトラック記号です。ウィンドウが開くので、記号を選択し、テンポを調整して音価を決めます。



フェルマータウィンドウ

### 臨時記号

### 異名同音に変更

b# 音符の音高を変えずに臨時記号を変更します。

### 半音ごとの増/減音

## f 1

#### ニュアンス

ppp pp p mp mf f ff fff ニュアンス(ダイナミクス)は音符が演奏されるときの音の強弱を決めます。このボタンを使用すると、ピアノ ピアニッシモからフォルテ フォルティッシモまで、各 音符のダイナミクスを選択できます。同じ拍で異なるダイナミクスを得るには、別の声部を使用 してください。

### クレッシェンド/デクレッシェンド

── ── これは、拍または拍の集まり(複数選択を使用)に対して、音の強さをだんだん強く したりだんだん弱くしたりします。

## エフェクト関連記号

 $(\bullet) \neq \downarrow \downarrow$  $\chi \diamond \bullet f \overset{x}{\bullet} \overset{x}$ tap slap pop 🖐 6 📕 🛉 🕴 rasg. 🗖 V - ~ ~ ~ ~ ~ > <> 2 + \* \*

エフェクト関連記号パレット

アイコン	ン名称	概要
()	ミュート	かすかな音を演奏します。
	アクセント	大きな音を鳴らします。
ź	強めのアクセント	アクセントより強く演奏します。
•	スタッカート	音符の長さに関わらず非常に短く演奏します。
Ĵ	レガート	音符をつなげてできるだけなめらかに演奏します。
let ring	レット リング	コードが変わるまで弦を鳴らしたままにする奏法です。
P.M.	パーム ミュート	手のひらを弦に当てて音を消します。
×	ゴーストノート	手のひらで弦を押さえて音を消し、左指を離して音を消します。
$\diamond$	ナチュラル ハーモニクス	フレットを軽くタッチするだけで演奏します。
•	人工ハーモニクス	人工的なハーモニクス(さまざまなタイプ)を演奏します。
¢	チョーキング	弦を曲げて音符のピッチを変更します
<	フェードイン	弦に対するピックアタックが聞こえないようにボリュームノブ を調整します。
>	フェードアウト	弦を弾いたあとボリュームノブで音量を徐々に下げます。

Icon	Name	Quick Description
$\diamond$	ボリューム スウェル	これはフェード インからすぐにフェード アウトになることです。
ł	装飾音符(短前打音)	他の音の前に非常に短い音を演奏します。
٦	装飾音符(長前打音)	他の音の前に非常に短い音を演奏します。拍がわずかに 遅れます。
	ハンマリング オン/ プリング オフ	最初の音符はピッキングで、2 つ目のはピッキングせずに発音。
w	上行 モルデント	主要音とこれより高い音(調号に従う)との間を素早く演奏します。
sh.	下行 モルデント	主要音とこれより低い音(調号に従う)との間を素早く演奏します。
N	ターン	主要音とその上下の 2 音のまわりで回転する 4 つの音
		符のメロディラインを高速演奏します
S	転回ターン	同じテクニックですが、低い音から始まります。
H	左手タッピング	ピッキングせずに、左手の指でフレットを叩いて音を出す奏法です。
, 1~3	レガートスライド	最初の音をピッキングし、次の音へピッキング無で指をスライド。
1-3	シフトスライド	最初の音をピッキングし、次の音へピッキング有で指をスライド。
-3	スライドイン(下行)	低いフレットからスライド中にピッキングする。
-3	スライドイン (上行)	高いフレットからスライド中にピッキングする。
3~	スライドアウト (下行)	最初の音をピッキングし、低いフレットへスライドする。
3-	スライドアウト(上行)	最初の音をピッキングし、高いフレットへスライドする。
×	トレモロアーム	トレモロアームでノートのピッチを変更します。
tr.	トリル	ハンマリング オンとプリング オフを連続的に繰り返す奏法です。
~~	レフトハンドビブラ ート(弱め)	左手でビブラートを演奏します(非常に小さなピッチバリエー ション)。
m	レフトハンドビブラ ート(大きめ)	左手でビブラートを演奏します(小さいピッチバリエー ション)。
~~~	トレモロアームビブラー ト (弱め)	トレモロアームでビブラートを演奏します(非常に小さいピッ チバリエーション)。
w	トレモロアームビブラー ト(大きめ)	トレモロアームでビブラートを演奏します(小さいピッチバリエ ーション)。
+	ワウペダル (踏んだ状態)	ワウペダルを踏んだ状態です。
0	ワウペダル (開いた状態)	ワウペダルを開いた状態です。
Î	アルペジオダウン	最も低い弦から最も高い弦までアルペジオを演奏します。
**	アルペジオアップ	最も高い弦から最も低い弦までアルペジオを演奏します。
t	ブラッシングダウン	最も低い弦から最も高い弦までブラッシング演奏します。

<b>[con Name</b>		Quick Description			
ţ	ブラッシングアップ	最も高い弦から最も低い弦までブラッシング演奏します。			
rasg.	ラスゲアード	フラメンコ ギターで多用される右手のテクニックです。			
۳	左手のフィンガリング	左手のフィンガリングは、弦の押さえ方を示します。			
۳	右手のフィンガリング	右手のフィンガリングは、弦の押さえ方を示します。			
6	弦番号を表示する	任意のノートについては、五線譜に表示することができま す			
	ピックストロークダウン	低音弦から高音弦へダウンストロークすることを示します。			
٧	ピックストロークアップ	高音弦から低音弦へアップストロークすることを示します。			
tap	タッピング	片手(又は両手)の指でフレットを叩いて音を出す奏法			
slap	スラップ (ベース用)	右手の親指で手首を返しながら弦を叩いてパーカッション的な 音を出す奏法です。			
рор	プリング (ベース用)	プリングは、右手の人差し指で弦をはじいて音を出す奏法で、高 音弦で使用します。			
*	Golpe finger	ギター本体を指でたたく打楽器的技法です。			
*	Golpe thumb	ギター本体を親指でたたく打楽器的技法です。			
x	上向きのピック・スクラッチ	ギターのブリッジからネックの方へギターピックを動かしながら 弦をこすります。			
× N	下向きのピック・スクラッチ	弦のピックをこすりながらギターのネックを下げます。			
Х	ゴーストノートでスラップ	左手を使ってベースギターの弦を打楽器の様に打つ ことで演奏されています。			

## ゴーストノート

(→) ゴーストノートは弱い音です。そのため、ゴーストノートのダイナミクスも自動的に弱くなります。ゴーストノートは、タブ譜上に括弧で囲まれて表示されます。

アクセント付きの音符と強めのアクセント音符

ゴーストノートとは異なり、アクセントの付いた音は強く演奏されます。アクセントの付いた音のダイナミクスは自動的に強くなります。

アクセントの強い音は、アクセントのある音と同じ原則に従いますが、発音がより顕著です。

### スタッカート

スタッカートがついている場合、スコア上の音符の長さに関わらず非常に短く演奏します。スタッカートは、音符の下に点をつけて表記します。

## レガート

レガートは複数の音符に適用されます。(レガート フレーズということもあります。)音符をつなげてできるだけなめらかに演奏します。ギターの場合、再現できないため、代わりにハンマリングオンとプリングオフを使用します。

### Let ring

Let Ring (レット リング)は、コードが変わるまで弦を鳴らしたままにする奏法です。アルベジ オでよく使用されます。メニューの ツール > Let Ring オプションから小節範囲を指定して、各弦に Let Ringを設定できます。

▲ トラックインスペクタでは、オートLet-ringオプションも使用できます。 その後、 ラック全体に適用されます。

## パームミュート

P.M. パーム ミュートは、ギターのブリッジ近くで弦の上に右手の手のひらを軽く乗せて、こもった 音を出す奏法です。パーム ミュートは、タブ譜の上で「PM」という記号で表示されます。

パーム ミュートエフェクトの強度は、トラックインスペクタのパーム ミュートスライダーを使用して 調整できます。

## デッド ノート

デッドノートは短く、普通の音よりはるかに弱い音です。ギターでは特定のリズム効果を与えるために使用されます。デッドノートは、右手の手のひらを(右利きの場合、以下同)ブリッジの近くの弦に軽く乗せるか、左手で弦を押さえずに触れている状態でピッキングして演奏します。

## ナチュラル ハーモニクス

◇ ナチュラル ハーモニクスでは、左手で軽くフレットの上の弦に触れながらピッキングし、すぐに指を離して音を出します。5th、7th と 12th フレットのハーモニクスが一般的によく使われます。 他のフレットのハーモニクスは、あまり使われません。

# 人工ハーモニクス

- ◆ 次のような種類のハーモニクスが使用できます。
  - A.H.(人工ハーモニクス): 人工ハーモニクスでは、左手の指で普通に弦を押さえます。
     右手の人差指で、数フレット上の弦に軽く触れます。そのままピッキングすると同時に人差指を離して音を出します。とても難しい奏法です。
  - T.H.(**タッピング ハーモニクス**): タッピング ハーモニクスは、押さえているフレットのいくつか上の弦を素早く叩いて作り出す人工ハーモニクスです。
  - P.H. P.H.(ピッキング ハーモニクス): ピッキング ハーモニクスはピックで行います。
     ピックを持っている手の親指を弦に軽く押し当てて弦をピッキングします。このハーモニクスを出すには、ディストーションのエフェクターを使用するのが最も効果的です。
  - S.H. (セミ ハーモニクス): セミ ハーモニクスはピッキング ハーモニクスとほぼ同じですが、普通のピッキング音も聞こえる点が違います。Guitar Pro ではこれらを 2 つの方法で行うことができます(スタイルシートを参照)。

### チョーキング



チョーキングウィンドウでポイントを調整することで、チョーキングのタイプを正確に設定できます。 チョーキングのやり方によっては、オーディオの再生時にスコアの一貫性を保つため、タイを使 用する必要があります。 左側の[Bend]、[Bend/Release]ボタンを使用すると、チョーキングの基本タイプを定義できます。 この選択は、タブ譜上の別の記号にも反映されます。

チョーキングでは、1/4 から 3 音まで設定することができます。「Full」は全音(1音)を意味しま す。選択する音程により、タブ譜の表示も変わります。

カーブは、そのポイントをドラッグ操作することで変更できます。2 つの音符がタイでつながってい る場合、チョーキングの長さはその 2 つの音符の合計となります。例えば、デフォルトでそのモチ ーフがないときには、タイでつながった音符上でチョーキングを編集してホールドを設定すること も可能です。

スタイルシートにより五線譜にもチョーキングを表示できます。

できることの例を次に示します。



チョーキングの例

## フェードイン(バイオリン奏法)

< ピッキング後、エレクトリック ギターの音量つまみを使用して徐々に音量を上げる、フェード イン奏法です(そのため、ピッキングのアタック音は聞こえません)。これにより「リバース トラック」 の印象も生み出すことができます。

#### フェードアウト

> ギターの音量つまみで徐々に音量を小さくし、フェードアウトする奏法です。

ボリューム スウェル

<> これはフェードインからすぐにフェード アウトになることです。

#### 装飾音符(短前打音)

装飾音符(長前打音)

♪ 短前打音とほぼ同じですが、長前打音は拍と同時に演奏するため、それに続く拍がわずかに遅れます。

ハンマリング オン / プリング オフ

<sup>#/P</sup> 1 3 ハンマリング オン(HO) / プリング オフ(PO)は同じ弦の上で演奏されます。1 つの音から移 行して別の音を出します。最初の音符は普通にピッキングで、2 つ目の音符はピッキングせずに 音を出します。

ハンマリング オンでは 2 つ目の音符は最初の音符よりも高い音です。弦を押さえてピッキングし、 指はそのまま、別の指で弦の上側を叩いて 2 つ目の音を出します。

プリング オフでは、2 つ目の音符は最初の音符よりも低い音です。弦を押さえてピッキングし、その指を引いて 2 つ目の音を出します。

Guitar Pro は音符の高さに応じ、どちらの奏法を使用するかを自動的に決めます。スタイルシートを使用して、Ho / Po のスコア上の表示方法や、あるいは非表示にするようにカスタマイズできます。

ハンマリング オンとプリング オフを組み合わせて、レガートで演奏することもよくあります。



HoPoを使用したレガートフレージングの例

### 上行 モルデント

✓ 上行 モルデントは、旋律上の装飾音であり、譜面に書かれた主要音とこれより高い音(調号に従う)との間を素早く演奏します。

### 下行 モルデント

◆ 下行 モルデントは、旋律上の装飾音であり、譜面に書かれた主要音とこれより低い音(調号の音階上の音)との間を素早く演奏します。

## ターン

∞ ターン(イタリア語では「グルッペット」すなわち「小さなグループ」の意味)は、旋律上の装飾 音であり、主要音とその上下の2音のまわりで回転する4つの音符のメロディーラインを演奏し ます。ターンは主要音のすぐ下の音から始まり主要音、上の音と続き、主要音で終わります。モ ルデントと同様にターンも、その曲の調号の音階上にある音で演奏します。

## 転回ターン

∞ 転回ターンは主要音のすぐ下の音から始まり主要音、上の音と続き、主要音で終わります。 これもモルデントと同様、その曲の調号の音階上にある音で演奏します。

## 左手タッピング

*"*、 ピッキングせずに、 左手の指でフレットを叩いて音を出す奏法です。

### スライド奏法

スライドは、弦を押さえている指をフレット上でスライドさせる奏法です。Guitar Pro では、以下の スライド奏法をサポートしています。

記号	名称	表現	意味
<u>(</u> -3	レガート スライド	sl. sl. 35	最初の音をピッキングし、2 つ目の音へ指をスライド。ス ライド先でピッキングはしない。
1-3	シフトスライド	sl. sl. 3	最初の音をピッキングし、2 つ目の音へ指をスライド。さ らにスライド先でピッキングする。
~3	スライドイン (下行)	/0	低いフレット(適当なフレットから)からスライド中にピッキ ングする。
~3	スライドイン (上行)	×3	高いフレット(適当なフレット)からスライド中にピッキ ングする。



#### トレモロアーム

メ トレモロ アームはエレクトリック ギターに備えられており、それを使用してブリッジの角度を 変え、鳴らしているすべての音の高さを変化させます。トレモロ アームは、右手で操作します。

トレモロ アーム ウィンドウの使い方は、チョーキング ウィンドウとほぼ同じです。



トレモロ アーム ウィンドウ

#### トリル

tr. トリルは、ハンマリング オンとプリング オフを連続的に繰り返す奏法です。スコア上の音符 に対し、トリルウィンドウを使用してトリルの 2 つ目の音 (フレット)およびトリルのスピードを選択 します。

この表記により、2 つ目の音符を非表示にしてスコアを軽くできます。



トリルウィンドウ

## 左手ビブラート

Guitar Proは、2つのビブラート振幅(わずかな幅と広い幅)を備えています。

### トレモロ アーム ビブラート

タブ譜上に大きな波線で表示されます。長さは、その音符の音価と同じです。Guitar Proは、2つのビブラート振幅(わずかな幅と広い幅)を備えています。

### ワウ ペダル

<u>↓</u> ○ ワウ ペダルは、ペダル型のエフェクターです。オン / オフの設定、ならびにオンにした場合 Open / Closed(ペダルを開いた状態と踏んだ状態)の設定が選べます。再生時にワウ ペダルを適用するには、RSE を使用し、かつエフェクター設定でワウ ペダルを設定します。(サウンド設定を参照)

### ブラッシング

↑ ↓ ブラッシングは、左手で弦をミュートしながら弾く奏法です。リズム ギターによく使われます。

ブラッシング ウィンドウでは、スピードを調節することができます。ブラッシングでは、ミュートされ ているため音符の音価どおりに音が伸ばせませんが、伸びていると仮定して演奏します。

トラックインスペクタでオートブラシを有効/無効にすることができます。次に、ブラッシングをす べてのトラックのコードに適用します。

BRUSH DOWNSTROKE	
Duration	b
<b>*</b>	*
Start time	
Falls on time	Starts on time
	Cancel OK

ブラッシングダウン ウィンドウ

## アルペジオ

↑ アルペジオは、コード内のすべての音を1つ1つ弾いていく奏法です。アルペジオウィンドウでは、スピードを調節することができます。アルペジオダウンは低音弦から高音弦に向かって弾きます。アルペジオアップは高音弦から低音弦に向かって弾きます。

ARPEGGIO DOWN	
Duration	A.
Start time Falls on time	Starts on time
	Cancel OK

#### アルペジオダウンウィンドウ

## ラスゲアード

*rusg.* これはフラメンコ ギターで多用される右手のテクニックです。Guitar Pro では、18 のラスゲア ード モチーフを用意しています。それらはすべてオーディオ チャートで解析されます。スコアでは、 コード上にラスゲアードと選択したモチーフが表示されます。

RASGUEADO PATTERN					
Ţ.	t t m i	 ↑ ↑ ↓ m i i			$ \begin{array}{c} -3 \\ \hline \\ \downarrow \uparrow \\ p \\ m \\ p \end{array} $
ï	mi	mii (triplet)	mii (anapaest)	pmp (triplet)	pmp (anapaest)
$\int_{p e}^{-3} \frac{1}{i}$		-3-         p a i	$ \begin{array}{c} & & \\ & \downarrow \uparrow \uparrow \\ p a i \end{array} $	$\begin{bmatrix} -3 \\ \uparrow \uparrow \uparrow \\ a m i \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} -3 \\ \hline \\ \uparrow \\ a \\ m \\ i \end{bmatrix}$
pei (triplet)	pei (anapaest)	pai (triplet)	pai (anapaest)	ami (triplet)	ami (anapaest)
	$\begin{bmatrix} -3 \\ \uparrow \uparrow \uparrow \downarrow \\ a m i i \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} -3 \\ \uparrow \uparrow \uparrow \uparrow \downarrow \\ a m i p \end{bmatrix}$	† † † † e a m i	5 † † † † † e am i i	$ \begin{array}{c} 5 \\ \uparrow \uparrow \uparrow \uparrow \uparrow \\ p \ e \ a \ m \ i \end{array} $
ppp	amii	amip	eami	eamii	peami
					Cancel OK

ラスゲアードウィンドウ

## 左手のフィンガリング

左手のフィンガリングは、弦の押さえ方を示します。親指は「T」、人差し指は「0」、中指は「1」 …と表記します。この表記は、スタイルシートで変更できます。五線譜では音符の前、五線譜が ない場合にはタブ譜の下に表示されます。

五線譜表記では音符の前に表示され、五線譜がない場合はタブ譜の下に表示されます。



右手の運指は右利きのギタリストに適しています。左利きのギタリストの場合、これは左利きに相当します。

# 右手のフィンガリング

右手のフィンガリングは、弦の押さえ方を示します。親指は「P」、人差し指は「i」、中指は「m」 …と表記します。この表記は、スタイルシートで変更できます。五線譜では音符の前、五線譜が ない場合にはタブ譜の下に表示されます。

五線譜表記では音符の前に表示され、五線譜がない場合はタブ譜の下に表示されます。



66 右手の運指は右利きのギタリストに適しています。右利きのギタリストの場合、こ れは左利きに相当します。

## 弦番号を表示する

⑥ 任意のノートについては、五線譜に表示することができます。

### ピックストローク

■ V ピックストローク機能でピックストロークの方向を設定することができます。「v」は高音弦から低音弦へアップストロークすることを示します。

### タッピング

tap タッピングは、片手(または両手)の指でフレットを叩いて音を出す奏法です。通常どおりのストローク演奏ではありません。

タッピングは、「T」という記号でタブ譜上に表示されます。Guitar Pro では、タッピングはコード全体に設定されます。タッピングは、Guitar Pro のオーディオ チャートで解析されます。

## スラップ(ベース用)

*slap* スラップは、右手の親指で手首を返しながら弦を叩いてパーカッション的な音を出す奏法です。低音弦で使用します。スラップのサンプル(ベース音)は、ベース サウンドバンクにあります。 これにより、よりリアルなエフェクトが得られます。

## プリング(ベース用)

pop プリングは、右手の人差し指で弦をはじいて音を出す奏法で、高音弦で使用します。しばし ばプリングはスラップ(上記項目を参照)と併用します。スラップのサンプル(ベース音)は、ベー スサウンドバンクにあります。これにより、よりリアルなエフェクトが得られます。 ゴルペフィンガー/サム

\* J ゴルペは、指(親指または他の指)を使用してギターのボディに適用される打楽器的技法です。

上向き/下向きのピック・スクラップ

<sup>\*</sup>\*\*、 このテクニックは、ギターのネックを上下に動かしながらギターピックで弦を掻き鳴らしま す。

66 ピック・スクラップとゴーストノートスラップは、Guitar Proのオーディオチャートによって解釈 されません。表記のためだけにあります。

ゴーストノートでスラップ

X ゴーストノートはベースギターのテクニックで、左手を使ってギターの弦を打楽器の様に打つ ことで演奏されています(右利きのプレーヤー用)。
## オートメーション関連記号



オートメーションの仕組みを理解するには、オートメーションの章を参照してください。

記号	名称	Description
_=	テンポオートメーション	テンポオートメーションを挿入
м 11	マスタートラック ボリュームオートメ ーション	ボリュームオートメーションをマスタートラ ックに挿入
M Ital	マスタートラック パン オートメーション	パンオートメーションをマスタートラックに挿入
all	トラックボリュームオートメーション	単一のトラックにボリュームオートメーションを 挿入
hul	トラックパンオートメーション	単一のトラックにパンオートメーションを挿入



### 記譜法関連およびデザイン関連の記号

Icon	Name	Quick description
•	コード	コードを追加
J	スラッシュ	ノートをスラッシュ表記に変換します。
BV	セーハ (バレ)	セーハを行う必要があることと、どのタイプかを示します。
2:51	時間経過	スコア内の時間位置を示します。
Α	セクション	セクションを追加します。
	改段を回避	小節の改段を防ぎます。
¶	強制的に改段する	小節の改行を強制します。
<b>ال</b> AUTO	符尾の自動調整	選択した音符の符尾を自動調整。
٦	符尾を反転	選択した音符の符尾を反転します。
AUTO	連桁の自動調整	音符間の自動桁掛け
Л	連桁の凍結	音符間の連桁を強制します。
1]	連桁を分断する	音符間の連桁を分断します。
fT ft	16分以下の連桁を分断 する	16分音符以下の連桁を分断します。
₽₽	連符に括弧を表示する	同じ連符の連桁を強制します。

#### コード

=== このボタンを押すと、コードを追加するためのコードウィンドウが開きます(コードダイアグラム

を参照)。

### スラッシュ

この機能により、スラッシュ譜とタブ譜を統合できます。選択した音符を、その音符の情報を すべて維持したままスラッシュに変換します。移調した箇所にリズム モチーフを入力する場合に 非常に役立ちます。トラック全体をスラッシュ表記にすることもできます。(トラックのプロパティを 参照)

#### セーハ

BV 楽譜の上で、特定のフレットで小セーハのバレーコードを演奏する必要があることを示します。これはタブ譜が見つからないクラシックギターでよく使用されます。



#### 経過時間

2:51 任意の時点で、これはスコアの開始から経過した分数と秒数[min:sec]を示します。Guitar Proはこの値を自動的に計算します。繰り返しの場合、表示される時間は、このパートが最初 に再生されたときの値です。

#### セクション

A カーソルがあるセクションを追加するか、カーソルがあるセクションを編集します(セクション を参照)。



セクション ウィンドウ

改段を回避/強制的に改段

▲ ¶ この機能により、小節を次の段に移動するか、あるいはしないか設定できます。

#### 符尾の向き

」「 符尾の向きは、編集パレットの専用ボタンで変更できます。

音符のつなげ方

### 補足

このセクションでは、スコアに歌詞を書く方法を開発し、スタイルシートメニューの概要を説明します。

#### 歌詞

[トラック]> [歌詞エディタの表示]メニューから、または編集パレットにある歌詞アイコンから直接 歌詞ウィンドウにアクセスします。



歌詞エディタウィンドウ

#### トラックを選択する

歌詞をスコアに表示するには、最初にトラックを選択する必要があります。 テキストは、特定の 構文に従って、そのトラックに自動的に割り付けされます(以下を参照)。

原則として、歌詞はボーカルトラック、つまり曲のメロディーラインのトラックに起因します。 それ でも、それらを楽器トラックに配置することを選択できます。 メロディのリズミカルな拍が歌詞の 音節に対応する可能性は低いため、構文を確認する必要があります。

また、歌詞をどのトラックにも属さないように選択して、情報のみを歌詞パネルに書き込むことも できます。その場合、白いボックスの下にある「トラックに表示」オプションのチェックを外すだけ です。

#### 歌詞の行と開始小節

歌詞テキストは 5 行まで入力することができます。歌詞は選択したトラック上で、行ごとに順番に 表示されます。

行ごとに、開始する小節を決めることができます。そのため、歌詞の前にスペースを入力する必要はありません。

#### 歌詞

歌詞は、入力エリアに発音どおり入力します。

104 Chapter 4: Writinga

各音節が自動的に拍に割り当てられます。音節の区切りは、スペース()またはハイフン(-)で認 識されます。つまり、1つの単語内をハイフンで区切ることで、音節を分けることができます。2つの 単語をつなげたい場合は、単語間にスペースではなく、プラス(+)の記号を入力します。

歌詞を割り当てたくない拍には、ハイフンまたはスペースをいくつか連続して入力してください。

改行はスペースとみなされますが、何回改行しても、スペース 1つ分として認識されます。このように、テキストの編集は便利に、使いやすくなっています。

四角い括弧([])で囲まれた部分はスコアには表示されません。そのため、四角い括弧を利用して コメントを追加したり、各種パートに見出し(「イントロ」、「ヴァース」、「コーラス」など)をつけること ができます。

スコアに歌詞を表示したくない場合は、[表示]のチェックを外すことができます。

歌詞は最初の譜表にのみ表示でき、他の譜表には歌詞を表示できないことに注意してください。

### スタイルシート

[ファイル]> [スタイルシート]メニューまたは[F7]ショートカットからスタイルシートにアクセスします。

		Stylesheet		
Page & Score format	Svistems & Staves	Header & Footer	A Taxts & Stulas	& Notation
r age a coore format	PAGE			Hotalori
	Format: A4 (210x2	97mm) 🗘 =	210 x 297	
	Orientation: <ul> <li>Portrait</li> </ul>	Landscape		
	Margins:	Тор		
		15		
	Left 10	10 Rig	ght	
		10		
		Bottom		
	SIZES			
	Global score proportion	is: 1.5 🗘 mm	ı	
	Affects fonts and choro size	ds 🛑 On is:		
	Rhythm proportio	n:O	·	
	TUNING			
	Display tunir	ng: 💽 On		
	Positio	on: On Top of Sco	ore 🗘	
	Mod	de: Unusually Tune	ed Strings 🛛 🗘	
	Colum	ns: Two Columns	\$	
	Frame	ed: 💽 Off		
		MS		
Options Options			Apply	Cancel OK
	 スタ·	イルシートウィ	ィンドウ	

スコアの全体的な外観を完全にカスタマイズして、プロ並みの仕上がりにすることができます。

ユーザーのスコアに従って、スタイルは選択されます。ダウンロードしたスコアのスタイルが気に 入らない場合は、いつでもデフォルトのスタイルを適用できます(ジャズ標準やクラシック標準な ど)。前に保存したスタイルを読み込むともできます。

スタイルシートには5つのタブがあります。

- ・ページ・スコア フォーマット:ページ設定と全体的な音符の間隔をカスタマイズします。
- 組段と五線: 組段 レイアウトとそれに関連する記号(チューニング、音部記号など)をカ スタマイズします。

- ヘッダとフッタ: フォントとフォントサイズ、ならびにスコアの著作権(作者、タイトルなど)に 関連するテキストの配置を変更します。新規スコアの作成を参照してください。
- テキストとスタイル:スコア内のメイン テキストのフォントとフォントサイズを変更します。
- 記譜:スコアの外観をユーザーの好みに合わせてカスタマイズします(コード ダイアグラ ムのサイズ、Ho/Po 記号の表示 / 非表示、フィンガリングの表示など)。

### スタイルシートトークン

Guitar Proは、ページヘッダとフッタのスコア情報を設定するために、スタイルシートにトークンのセット(%記号で始まるテキストと末尾のテキスト)を提供します。完全なトークンのリストは次のとおりです。

### スコア情報トークン

Token	説明
%TITLE%	タイトル
%SUBTITLE%	サブタイトル
%ARTIST%	アーティスト
%ALBUM%	アルバム
%WORDS%	作詞
%MUSIC%	作曲
%TABBER%	タブ
%COPYRIGHT%	著作権情報

### その他のトークン

Token	説明
%PAGE%	現在のページ番号
%PAGES%	ページ数

トークンは、スタイルシートダイアログの[ヘッダとフッタ]タブの任意のテキストフィールドで使用できます。

### スタイルシートを保存する

スタイルシートウィンドウの左下隅にある[オプション]タブから、独自のスタイルシートを保存する ことができます。

[スタイルを保存]を選択して、新しいスタイルに名前を付けます。

これは、ファイルで同じスタイルオプションを定期的に使用する場合に非常に便利です。

また、新しいドキュメントを開いたり作成したりするときに、このスタイルをデフォルトのスタイルとして定義することもできます。これを行うには、次のメニューに移動します。

- ・ファイル > 設定> 一般 (Windows)
- Guitar Pro 7 > 設定 > 一般 (macOS)

[スタイルシートを固定する(ファイルを開くときまたはファイルを作成するとき)]オプションを選択し、 正しいスタイルを選択していることを確認します。

スタイルシートウィンドウの左下にある[オプション]タブから、ロック、ジャズ、クラシックス
 タイル、または以前に保存したスタイルのいずれかを読み込むこともできます。

# **Chapter 5** Guitar Proのオーディオ

Guitar Proでは、もちろんオーディオ設定の扱い方を学ぶことが不可欠です。 サウンドバンクの 管理からスコアのカスタマイズまで、この次の章を参照して、Guitar Proのオーディオ設定につい て知っておくべきすべてのことを学習します。



Abigail Keenan ( https://unsplash.com/@akeenster )

## スコアの再生

Guitar Proは、スコアの学習を容易にするように設計されています。多くの再生オプションが利用可能です。

### 再生を開始する

スコアの再生を開始するには、[サウンド]メニューから使用できる再生オプションを使用できますが、ショートカット[スペース](スペースバー)、またはツールバーの再生オプションも使用できます。 これらの同じアクションにより、再生を制御できます。

カーソルがあるところから再生が始まります。スコアの特定の部分だけを演奏したい場合は、マウスを使用してこの特定のセクションを最初に選択するだけです。

ツールバーの再生ボタン: 🕟

## テンポ

[編集]> [オートメーション]> [オートメーションの編集]メニューを使用すると、自動化ウィンドウが 開き、初期テンポを定義できます。同じウィンドウから、テンポ変更をプログラムすることもできま す。



このウィンドウには、LCD画面のテンポをクリックするか、ウィンドウの上部にあるツールバーからもアクセスできます。これは、再生中に実際の現在のテンポが表示される場所でもあります。



テンポオートメーション ダイアログ

### 再生速度

Guitar Proを使用すると、最初に設定したものとは異なるテンポでスコアを演奏することができます。これは練習に非常に役立ちます。

ツールバーにある相対速度アイコンからこの機能を有効にし、定義済の係数速度を選択するか、 選択した値を設定できます。速度を上げる再生では、繰り返しごとにスコアの全体的な速度を上 げることができます。

### スピード設定(相対速度)

スピード設定ボタンを使用すると、ファイルを変更せずに再生の速度を上げたり下げたりするために、テンポの異なる係数に影響を与えることができます。

SPEED SETTINGS								
Relative Speed     Speed	100 %							
Progressive Speed								
	70 % 🗘							
	100 % 🗘							
Ca	Incel OK							

#### 速度を上げる再生

速度を上げる再生とは、繰り返しごとに速度が上がることを意味します。この係数はカスタマイズ可能で、10%から300%まで変化します。同じボタンを選択して、この機能を無効にします。

SPEED SETTINGS							
Relative Speed							
Speed:	100 % 🗘						
Progressive Speed							
From:	70 % 🗘						
То: ————————————————————————————————————	100 % 🗘						
Step: 10 % 🗘							
Repeat: 1 x							
	Cancel OK						
速度を上げる再生の設定							

スコアの特定のセクションをループで再生するには、再生を開始する前にマウスでこの特定の領域を選択するだけです。

## メトロノームとカウントイン

[サウンド]> [メトロノーム]メニューでは、再生中にメトロノームを有効にできます。

[サウンド]> [カウントイン]メニューでは、1小節または2小節の継続時間に相当するカウントイン で再生を開始できます。 演奏する前に楽器を操作する時間が長くなりますが、現在のテンポの 概要も把握できるため、リズムで演奏を開始できます。 ループがアクティブになると、 ループごと にカウントインを繰り返すことができます。

これらのオプションは、ウィンドウの上部にあるLCD画面から簡単に有効化/無効化できます。メトロノームの音量、カウントインの長さを設定することもできますが、ループ間のカウントインをアクティブにすることもできます。



- 1. カウントインの有効化/無効化
- 2. メトロノームの有効化/無効化
- 3. 設定

## サウンドエンジン

Guitar Proでは、RSEサウンドとMIDIサウンドをミックスすることができます。つまり、RSEモードでいくつかのトラックを演奏し、他のトラックをMIDIモードで演奏し、同じスコアで演奏することを決定できます。

RSEおよびMIDIオプションは、トラックごとに、トラックインスペクターから直接有効または無効に できます。時間を短縮するために、以下からすべてのトラックに対してこれを一度に設定できま す。

- サウンド>すべてのトラックをMIDIメニューに切り替えます。
- サウンド>すべてのトラックをRSEメニューに切り替えます。

ハードウェア構成によっては、遅延を正または負に調整する必要がある場合があります。そのため、RSEと十分に同期していることを確認してください。この設定は、[ファイル]> [設定]メニュー (Windows)またはGuitar Pro 7> [設定]メニュー(macOS)から構成できます。[設定]ウィンドウで、 [オーディオ/ MIDI]タブを選択します。

# サウンドボード

サウンドボードは、ユーザーインターフェイスの下部にあるグローバルビューの左側にあります。 楽器、音量、パンなど、トラックのオーディオパラメータを設定できます。これらのパラメータはス コアの初期設定に対応していますが、スコアの任意の場所に変更を追加できます。



- 1. トラックアイコン
- 2. トラック名
- 3. マルチトラックでの表示
- 4. トラックをミュート
- 5. ソロトラック
- 6. トラック音量
- 7. トラック音量のオートメーション
- 8. トラックのパン
- 9. パンのオートメーション
- 10. トラックイコライザー

オートメーションボタン(7および9)をクリックして、トラックの音量とパンのオートメーションを有効 または無効にします。



### ソロとミュートのオプション

サウンドボードには、各トラックにソロオプション **1** (ヘッドフォンでシンボル表示)とミュート オプション **2** (バツ印のスピーカーでシンボル表示)が含まれています。これにより、1つまた は複数のトラックをソロで(他のトラックなしで)再生したり、1つまたは複数のトラックをミュートし たりできます。

•1つまたは2つのトラックのみを聴きたい場合は、これらのトラックにソロモードを適用する 方が簡単です。

一方、1つまたは2つのトラックだけを聞きたくない場合(たとえば、自分で再生する場合)、
 [ミュート]オプションを使用する方が簡単です。

## イコライザー

イコライザーはサウンドボードから直接アクセスでき、好きなようにトラックを設定できるだけでな く、楽器の種類ごとに予め定義されたプリセットを適用することもできます。 選択したプリセットは トラックに直接適用されます。



トラックサウンド

Guitar Proでは、トラックのオーディオ設定が完全に刷新されました。

サウンドは、サウンドバンク(楽器)とエフェクトチェーンで構成されます。バンクは、楽器の生の 「プラグなし」の音を選択することができます。通常、いくつかのエフェクトペダルと1つのアンプで 構成されるエフェクトチェーンがバンクに適用され、この組み合わせにより完全なサウンドが生成 されます。

## トラック作成時にサウンドを設定する

トラックを作成すると、ウィザードウィンドウがポップアップ表示されます。このウィンドウでは、デフォルトのサウンドを適用するインストゥルメントテンプレートを選択できます。このウィンドウから、 トラックに別のサウンドを選択することができます。

ADD TRACK			
<u>_</u>	Ъ	M	ICIM
Stringed	Orchestra	Drums	MIDI
Acoustic Guitar		Overdrive	
Electric Guitar		Distortion	
Bass		Clean	
Other		Jazz	
		12-String	
		Sitar	
DISTORTION SETT	INGS		
Information: 📒 啡 Di	stortion Guitar		dist.guit.
Notation: 🗾 🛃 🌙			
Upper staff: 6 strings	🗘 💵 Guitar	🗘 📃 Standard	\$
Lower staff: 6 strings	🗘 📲 Guitar	🗧 🗐 Standard	
Sound: Distortion	\$		
			Cancel OK

トラックを作成したら、トラックインスペクタからサウンドオプションを再度見つけることができます。

## トラックインスペクタでサウンドを設定する

1つのトラックには、サウンドオートメーション(音の変化)を可能にするために、いくつかの異なる サウンドを含めることができます。「+」ボタンを使用すると、トラックにサウンドを追加して元のサ ウンドを複製して、小さな変更(たとえば、クリーントーンからディストーションエフェクトペダルの 起動)を加えることができます。

トラック作成時にサウンドを設定





- 1. トラックにサウンドを追加し、最終的に前のサウンドを複製して小さな修正を加えます (たとえば、ディストーションエフェクトペダルの作動)。
- 2. オートメーションウィンドウにアクセスし、これらのさまざまなサウンドの変更をセットアップします(以下を参照)。
- 3. RSEとMIDIサウンドエンジンを切り替えます。





- 1. サウンドライブラリへのアクセス
- 2. サウンドオプション(コピー、貼り付けなど)
- 3. サウンドをロックします(つまり、すべてのオートメーションを無視し、このサウンドを使用し 続けます)
- 4. サウンドの詳細を表示/非表示

[表示/非表示]ボタンをクリックすると、サウンドの詳細が表示されます。



- 1. 音が変化するスコアに表示されるテキスト
- 2. サウンドバンク
- 3. サウンドバンクに適用されるエフェクト

### 別のサウンドを選択

サウンド名を選択して、数百の使用可能なサウンドの中から別のサウンドを選択します。各カテ ゴリの標準サウンドは最初のメニューにリストされていますが、Signaturesサブメニューを使用す ると、最高水準の音楽からインスピレーションを得た数百の追加サウンドにアクセスできます。

#### ラベル

タイトルは、このサウンドがサウンドの変更に使用される場合にスコアに表示されるものです。 デフォルトでは、このタイトルはサウンドと同じ名前ですが、更新することをお勧めします(ディスト ーション音のためにサウンドを変更した場合は「w / disto」)。

#### バンク

バンク名を選択することによって、この音のために他のバンクを選択することができます。

バンクアイコン(名前の左側)を選択することにより、この特定のバンクパラメーター(モノ/ステレオとマイク)を設定することができます。



- 1. 機器(楽器)の設定
- 2. 楽器ライブラリ
- 3. バンクオプション

#### エフェクトチェーン

6つの異なるスロットが利用可能です。影響を受けるスロットまたは空のスロットを1つ選択して、 追加するエフェクトを選択します。



- 1. エフェクト設定
- 2. エフェクトライブラリ
- 3. エフェクトバイパス(オン/オフ)
- 4. エフェクトオプション

他のスロットにエフェクトを設定するには、スロットの右側にある[オプション]ボタンを選択して、 [移動]メニューを使用します。最後に、この同じ[オプション]ボタンからエフェクトをコピー/貼り付 け/削除できます。

Guitar Proのエフェクトライブラリには、アンプ、ペダル、マスタリングDSPエフェクトが含まれています。詳細については、付録のリストを参照してください。

エフェクトを選択するか、このエフェクトのアイコン(エフェクト名の左側)を選択すると、設定ウィンドウがポップアップし、このエフェクトの設定を変更できます。



右側にある電源ボタン(バイパス)を使用して、各エフェクトを有効または無効にできます。

## サウンド変更を挿入する

トラックの任意の場所にサウンド変更を簡単に挿入できます。

サウンドオートメーションウィンドウを開くには、編集>サウンド>サウンドオートメーションに移動するか、トラックインスペクタのAボタンを使用します。

S	SOUND AUTOMATIONS Automatically change the track's sound during the song.							
		Ba	ar	Position	(ticks)	Sound		
						1. Clean	\$	
	2.	8	\$	1	¢	2. Disto	\$	1
		24	¢		Ð	1. Clean	\$	
	4.	32	\$	4	\$	3. Fuzz solo	\$	Û
	+ Add an automation at the cursor $\diamond$ Cancel OK							
-	<u>++ ウンドナート メーションウ ハンドウ</u>							

サウンドオートメーションウィンドウ

カーソルの位置に「オートメーションを追加」を選択し、適用するサウンドを選択します。 必要に 応じて、サウンド変更の位置を更新します。

また、「編集]> 「サウンド]> 「サウンド名]を使用して、カーソル位置からサウンドを変更することも できます。サウンド名は、以前にトラックインスペクタから作成したサウンドの1つです(サウンド セクション)。

#### 強制的に音を出す

カーソル位置とは無関係にトラックでサウンドを強制的に使用する場合は、このサウンドに南京 |錠/スピーカーアイコンを使用できます(トラックインスペクタの[サウンド]セクションから)。

### サウンドプリセット

#### ユーザーサウンドプリセットの保存

サウンドヘッダーの名前の右にある「オプション」ボタンを使用すると、「ユーザーサウンドプリセッ トとして保存]メニューから独自のサウンドプリセットを保存できます。



サウンドオプションメニュ・

サウンドに名前を付けて、ファミリーと楽器の種類に影響を与えるだけで、トラックインスペクタか ら簡単に取り出すことができます。サウンドは、各カテゴリで利用可能なサウンドのリストととも にリストされます。



### サウンドプリセットの管理

サウンドプリセットは、実際にはハードドライブ上のファイルです。これらのプリセットを管理する には、サウンドヘッダーの[サウンドライブラリ]ボタンをクリックし、[ユーザーサウンドプリセットの 管理…」メニューをクリックします。



サウンドプリセットフォルダーを開く

ファイルエクスプローラーが正しいフォルダーで開きます。サウンドは、カテゴリ、ファミリー、楽器 ごとに分類されます。

フォルダーパス OS

Windows %APPDATA%/Arobas Music/guitarpro7/My Sound Presets macOS ~/Library/Application Support/Arobas Music/GuitarPro7/My Sound Presets

	autobackups	•	Drums		Acoustic Guitars	₽	12 String Steel	►
1	backups	•	Orchestra	Þ [	Basses	₽	📄 Nylon Guitar	►
0	icon.png		Stringed	•	Electric Guitars	₽	Resonator	•
	log.txt			1	Other Stringed Instruments		E Steel Guitar	Þ
l.	My Effect Chain Presets	Þ						
	My Sound Presets	Þ						
	My Styles	•						
	My Templates	•						
	Sounds	•						
	userTuningLibrary.xml							
	user runnigelorary.xm							

Soundsフォルダー階層

デフォルトでは、フォルダーはありますが、ユーザープリセットがまだないため空です。

このフォルダーを変更すると、Guitar Proプリセットリストに自動的に影響します。ファイルを削除 してプリセットを削除したり、他のコンピューターからプリセットをコピーアンドペーストして、Guitar Proでそれらにアクセスしたりできます。

## スコアの音

スコアの出力音は、マスタリングと呼ばれるものによって異なります。マスタリングは、スコアの音 に適用される最終的な処理です。

Guitar Proでは、マスタリングは3つのエフェクトを順番に適用して行われます。

	SO Setu	UND MASTE	RING					
1	-	Analog	\$	٢				
2-	<b>A</b> 18	Studio	\$	Ů				
3-	<b>A</b> 14	10-Band	\$	↺				
	サウンドマスタリング							

- 1. コンプレッサー/リミッター
- 2. リバーブ
- 3. イコライザー

3つのスロットは、トラックエフェクトスロットと同様に機能します。ただし、マスタリングの場合、各 スロットのライブラリはスロットのタイプに制限されます。



- 1. エフェクト設定
- 2. エフェクトライブラリ
- 3. エフェクトバイパス(オン/オフ)
- 4. エフェクトオプション

右側にある電源ボタン(バイパス)を使用して、各エフェクトを有効または無効にできます。

## MIDI

### 定義

MIDI(Musical Instrument Digital Interfaceの略)は、さまざまな電子楽器、コンピューター、その 他の関連する音楽およびオーディオデバイスが相互に接続して通信できるようにする通信プロト コルを記述する技術標準です。 MIDIファイルには、音符、リズム、テンポ、楽器など、スコアを正 確に記述する情報が含まれています。

生成するサウンドの品質は機器(サウンドカード、実際のシンセサイザーまたは仮想シンセサイ ザー)に依存します。Guitar Proには依存しません。プログラムはピッチとデュレーションに関する 情報を機器に送信し、その情報をサウンドに変換するためです。

同様に、Guitar Proで使用可能な楽器のリストは、一般的なMIDI規格によって定義されており、 特定の機器を使用しない限り拡張できません。

### MIDI出力

Guitar Proは、最大4つの同時MIDIポートを使用できます。これらの各ポートに異なるMIDIデバイスを割り当てることができます。

ポート1に最適なMIDIデバイスを選択することをお勧めします。これは、Guitar Proで新しいトラックを作成するときにデフォルトのデバイスとして設定されるためです。

MIDIプレイバックをスコアに適用するには、[サウンド]> [すべてのトラックをMIDIに切り替える]メ ニューに移動するか、トラックインスペクタから選択したトラックのMIDIオプションを選択します。 これにより、RSEトラックとMIDIトラックを混在させることができます。

#### RSE MIDI

MIDIサウンドは、現在のトラックで有効です

最終的に、スコアの開始時と作成時にすべてのトラックのMIDIモードを固定できます。これを行うには、[設定]、[一般]タブに移動し、[再生エンジンを固定]オプションを選択します。



トラックインスペクタのMIDIサウンド

## ポートとチャンネル

楽器パネルでは、各トラックに使用するポートとチャンネルを選択できます。



デフォルトでは、Guitar Proはエフェクトの再生を改善するために、すべてのトラックに2つのチャンネルを割り当てます(エフェクトは、エフェクトのないノートに影響を与えないように、別のチャンネルで再生されます)。2つのトラックが同じポートで同じチャネルを使用している場合(リストを下にスクロールしてトラックの番号を取得する)、それらのオーディオプロパティ(楽器、ボリューム、パン)が関連付けられます。したがって、スコアに多数のトラックが含まれる場合は、トラックごとに1つのチャネルのみを使用することをお勧めします。

慣例により、パーカッショントラックは常にチャンネル10(MIDI規格)に割り当てられます。11-16ch 固定オプションをアクティブにして、Guitar Proが特定のトラックの各弦に1つのMIDIチャンネルを 使用するように選択できます(同じ拍に複数の異なるベンドがある場合に便利です)。

トラックをMIDIに切り替えることにより、これらの設定をトラックごとに変更することができます。トラックインスペクタに新しいオプションが表示され、ポートとチャンネルを変更できます。

### MIDIキャプチャ

外部MIDI機器(キーボード、ギター、正しく設定されたMIDIコントローラー)を介してノートをキャプ チャできます。ノートの入力はノートごとに行われます。

# ライン入力

Guitar Proでは、オーディオインターフェイス(サウンドカード)を介してギターを接続し、場合によっては多数のオーディオプリセットと利用可能なサウンドバンクを介してトラックのエフェクトモデルを使用して、ソフトウェアで演奏を聞くことができます。

Guitar Proの曲に沿って演奏し、ギタリストの役割を完全に果たすことができます。これには、お 好みのギタートラックを選択します。サウンドボード(グローバルビューの左部分)で使用可能な [ミュート]オプションからこのギタートラックをミュートします。ギターを接続し、ライン入力オプショ ンをアクティブにしたら、再生を開始します。スコアは再生されますが、ギタートラックは無音のま まです。ここで、自分のギターを使用してこのギタートラックを演奏する必要があります。

あなたの演奏は、ギタートラックに適用された定義済みのサウンドを使用して、遅延なしのリアル タイムでGuitar Proで即座に再現されます。トラックのサウンドに変化がある場合、これはカーソ ル位置に応じて自動的に適用されます。

## ギターの接続

オーディオインターフェイスをコンピュータに接続する必要があります。外部デバイス(USBまた はFirewireで接続)または内部デバイス(PCIまたはPCI-eにプラグインされたオーディオカード) の場合があります。

フォーンジャックケーブルを使用して、ギターをオーディオインターフェイスに接続します。 適切な 設定を行うには、オーディオインターフェイスのマニュアルを読む必要がある場合があります。

Connect external speakers or headphones to the audio interface. You may also use your computer's speakers.



オーディオ入力構成



ツールバーの右側にある[ライン入力]アイコンを選択します。

歯車をクリックして、音声設定(音声設定ウィンドウの[オーディオ/ MIDI]タブ)から音声入力があるサウンドカードを適切に選択したことを確認します。





オプションを慎重にアクティブにします。ライン入力を有効にしたら、サウンドカード(ギターを接続したもの)に適切なオーディオ入力を選択する必要があります。

その後、いくつかの特定の設定を適用できます。

- 入力ゲイン:サウンドカードの出力ゲインを増減できるため、サウンドレンダリングを調整できます。
- エフェクトチェーン:トラックのエフェクトチェーンを使用するかどうかを選択できます。たとえば、Guitar Proエフェクトの代わりにエフェクトシミュレータを使用する場合、チューニングのためにそれを無効にすることをお勧めします。

- ノイズゲート:この設定により、ギターを接続しているが演奏していないときにバックグラウンドサウンドを防ぐことができます。このオプションを設定するには、バックグラウンドサウンドが消える(ギターが演奏せずに接続される)ことがわかるまで、ポテンショメータをゆっくりと上げる必要があります。
- 音量:一般的なミックスのライン入力機器の出力音量を調整できます。
- リミッター:特定の制限を超える音の音量を下げることで、フィードバック効果を防ぐことができます。

エフェクトインスペクタは、トラックインスペクタからいつでも変更できます。使用後は、ライン入力 オプションをオフにしてください。そうでない場合、コンピューターのサウンドが影響を受ける可能 性があります(Guitar Proはギターからのオーディオ信号の処理を継続するため、ノイズが聞こえ る可能性があります)。

ライン入力機能を最大限に活用し、最適な使用を行うために、オーディオ入力とオーディ オ出力の両方に同じサウンドカードを使用することを強くお勧めします。

128 Chapter 5: Audio in Guitar Pro

# **Chapter 6** ファイルのインポートとエクスポ ート

Guitar Proでは、さまざまなファイル形式をインポートおよびエクスポートできます。この章では、 互換性のあるフォーマットと、Guitar Proでこれらのファイルをインポート/エクスポートする方法に ついて説明します。この章では、印刷オプションも開発されています。



Marius Masalar ( https://unsplash.com/@marius )

ファイルのインポート

Guitar Proでは、特定のGuitar Pro形式とは異なる形式のファイルを開くことができます。エクス ポートオプションは[ファイル]> [エクスポート]メニューから使用できます。

## ASCIIインポート

ASCIIファイルをインポートするには、[ファイル]>[インポート]>[ASCII]メニューに移動します。



ASCIIファイルの例

Guitar Proは、ASCIIテキストファイルを分析して音楽情報を抽出できます。シンボリックスコアから再生、変更、または印刷できるGuitar Proスコアを取得できます。

Guitar Proは、ノート、リズム、エフェクト、小節の変更をインポートします。インポートはアクティ ブなトラックで行われます。したがって、さまざまな楽器に対応する複数のファイルを連続してイ ンポートすることができます。

インポートされたファイルには、コメントまたはテキストその他を含めることができます。Guitar Proは、ファイルのコンテンツが何であってもタブ譜を抽出できます。

インポートが機能することを尊重する唯一のルールは次のとおりです。

- 弦の線は連続したハイフン <-> で描かれていること。
- 小節線の区切りは弦ごとに縦線で < | > で描かれていること。
- タブ譜の各段の弦と弦の間に空白の行を入れないこと。
- タブ譜の線内にコメントなどを入力しないこと。

ASCII の読み込みの完了後、各小節が完全小節になるようにリズムを確認する必要があります。 この場合、[小節の拍数を確認]ツールを利用すると便利です。

完全小節となっていない状態で楽譜を再生すると、リズムが正しく再生されず、小節の拍数を超 えて入力されている音符は再生されません。

## MIDIインポート

[ファイル] > [読み込み] > [MIDI] を選択し、MIDI ファイルを Guitar Pro に読み込みます。Guitar Pro はフォーマット 0とフォーマット 1 の MIDI ファイルに対応しています。

MIDI IMPORT							
OF THEM WITCHES	On new score On current score	PREVIEW					
All tracks		6					
E.Guitar Trac	ck 1 🗘 🕴 030 Distortion Guitar 🛛 🚦	ALL OF THEM WITCHES					
E.Guitar Trad	ck 2 🗘 🕴 030 Distortion Guitar 🛛 🚦	<u>הת</u> גתית התול הזית מתגתית <sup>י 24</sup>					
✓ E.Bass Trac	ck 3 🗘 🚺 🦸 033 Electric Bass (finger) 🛛 🗄						
🖉 Drums 🛛 Trad	ck 4 🗘 🗳 Drum Kit	ן איי אין איי אין איי אין איי אין איי איי					
		ا تد در به <sup>ا</sup> یا کور درد. ۱۰۰۰ - ۲۰۰۰ - ۲۰۰۰ - ۲۰ ۱۰۰۰ - ۲۰۰۰ - ۲۰۰۰ - ۲۰۰۰ - ۲۰					
		ן ירוי גע רי ירו גע יי גע ירו י					
		ן קרק בק י כתו בא כת י כתו <sup>י</sup> ייאי א ו א א י כתו בא כת י כתו ייאי ו					
TRACK GLOBAL PARAMETERS	SCORE IMPORT OPTIONS	<sup>2°</sup> ت ؛ التر ت الأ					
3 Quantization: 🔉 1/16 🗘	Time signatures: On						
Extend notes: 💽 On	Key signatures: 🔵 On	מז א תז ית <b>המלי</b> תז ית 'מז א תז ית '					
Allow dotted notes: CO On	Tempo: 💽 On						
Allow multivoice: Off	SOUND	ا د د د د د د د د د د د د د د د د د د د					
Allow triplets: On 2 channels per track: On	Set tracks' sounds in MIDI 💲	Al 42 bits hoursed, assessment of special bases VTB bits hoursed, assessment of special bases					
Default		Cancel Import					

MIDIインポートウィンドウ

- 1. 変換先のスコア(ファイル)
- 2. トラックの選択
- 3. グローバルパラメータ
- 4. スコアオプション
- 5. リアルタイムのプレビュー

### 変換先のスコア

このオプションを使用すると、MIDIファイルを新しいファイルまたは現在のファイルのいずれかに インポートすることを選択できます。2番目の場合、MIDIトラックはアクティブファイルの最後のト ラックの後に追加されます。

### トラック選択

含めるトラックと除外するトラックを選択するには、それらをオンまたはオフにします。



- 1. チェックすると、トラックがインポートされます
- 2. 変換先トラック
- 3. 楽器
- 4. 個々のパラメーター

#### 変換先トラック

MIDIファイルの各トラックは、最後にインポートした新しいトラックに関連付けることができます。

デフォルトでは、各MIDIトラックは最終インポートの個別のトラックに関連付けられます。

Guitar Proが大譜表を検出する特定の場合、2つのMIDIトラックは最終インポートの同じトラック に関連付けられますが、これを手動で変更して2番目の譜表を独立したトラックに関連付けること ができます。

複数のMIDIトラックに同じ最終トラックを選択すると、すべてのMIDIトラックが同じトラックにマージ されてインポートされます。

#### トラックごとの楽器

楽器は、各トラックのMIDIファイルに示されている「プログラム変更」情報によって決定されます。 この情報がファイルにない場合、楽器はデフォルトでピアノになります。 ボタンをクリックすると、 ウィンドウが開き、選択できる機器を選択できます。

- 楽器(MIDIまたはRSE)
- チューニング
- 五線の数
- 記譜法
- トラックの色とアイコン
- 音

ドラムトラックがピアノトラックとして検出されたり、ギタートラックに大譜表が含まれることがあります。これは、MIDIソースファイルに正しいプログラム変更データが含まれていないためです。 これを修正するには、単に楽器をクリックして楽器を変更するか、譜表カウントを変更して、単純な譜表または大譜表を固定します。

#### 個々のパラメーターを追跡する

各トラックの個々のスコア設定を調整できます。次のパートを参照してください。

グローバルトラックパラメーター

すべてのトラックに適用されるグローバルトラックパラメーターと、個々のトラックパラメーターの両 方を設定できます。

#### クオンタイズ(分解能)

分解能は、インポートされた音符のリズムの正確さを決定します。

例えば、分解能が4分音符に基づいており、オリジナルのリズムが4つの8分音符であった場合、 これらの4つの8分音符は、ビートに基づいて4分音符のコードになります。

一方、分解能が16分音符に基づいており、MIDIファイルに実際の人間の演奏が含まれており、 近似的なリズムでは、必要がない場合は音符を追加することによって、高すぎる分解能がスコア 精度に変わることがあります。 元のファイルと目的のレンダリングに基づいてファイルを調整す る必要があります。

読み込まれた音符の最小長を修正します。リアルタイム録音したファイルは、デュレーション(音の長さ)が近似値におさめるため低い分解能が推奨されますが、正確でも複雑なファイルは高い 分解能が推奨されます。



#### 音価の増加

音符と次の音符との間に無音がある場合、これは、混乱やリズムの途切れを防ぐために、音符 を増幅させます。



付点音符の読み込み

付点音符は、音符が一般的な長さで設定されている場合、タイで繋げた音符から変換できます。



### マルチボイスを承認する

ー部の音符のデュレーションが重複して「いる場合は、音符の1つが他の声部に配置され、より流動性が高まります。



#### 5

### シャッフル(リズム)の許可

MIDIファイルがリアルタイム録音されている場合は、このオプションを無効にすることをお勧めします。



#### 2 channels per track

ソースファイルは、トラックごとに2つのチャネルで記録されている場合があります。その場合は、 このオプションをチェックしてください。

### スコアオプション

MIDIファイルの内容に応じてスコアを最適化するためのいくつかのオプションが利用可能です。

### 拍子のインポート

MIDIファイルに既存の拍子記号をインポートします。

オプションが有効になっておらず、「新しいファイル」が選択されている場合、拍子記号はデフォルトでメジャーCになります。

#### 調号のインポート

MIDIファイルに既存の調号をインポートします。

このオプションが有効になっておらず、[新規ファイル]が選択されている場合、デフォルトで調号 は4/4になり、この調号に従ってノートが分割されます。

### テンポのインポート

MIDIファイルに既存のテンポをインポートします。

オプションが有効になっておらず、「新規ファイル」が選択されている場合、デフォルトでテンポは 120bpmになります。

MIDI/RSEでサウンドトラックを設定する

すべてのトラックをMIDIまたはRSEサウンドに設定します。

#### スコアプレビュー

スコアプレビューには、現在選択されているトラックが表示され、インポートする前に事前に視覚化 することができます。

スコアのプレビューは、パラメーターが変更されるたびに自動的に更新されます。

## MusicXML、PowerTab、およびTablEditのインポート

[ファイル]> [読み込み]メニューを使用すると、標準および圧縮されたMusicXMLファイルをGuitar Proにインポートできます。

MusicXML はRecordare® 社が作成した、楽譜の XML ファイルフォーマットです。この世界共通の交換フォーマットは、現在多くの音楽ソフトウェアで利用できます。

同じメニューからPowerTab®およびTablEdit®形式をインポートできます。
### ファイルの書き出し

Guitar Proを使用すると、ファイルを他の形式で保存できるため、他のプログラムでファイルを活用できます。書き出しオプションは、[ファイル]> [書き出し]にあります。

### オーディオの書き出し

Guitar Proでは、Guitar ProスコアをMP3、WAV、OGG、FLAC、AIFFのオーディオ形式に書き出し できます。[ファイル]> [書き出し]> [Audio]メニューからエクスポートします。

メニューから[ファイル] > [書き出し] > [Audio] を選択して、楽譜のオーディオを保存できます。このオーディオは、一般的なオーディオプレーヤで聴くことができます。楽譜の一部のみを書き出したい場合は、書き出したい小節を選択し、[書き出し] > [Audio] を選択するようにしてください。

各トラックを個別のファイルに書き出し、メトロノームとカウントダウンを含めるか無視することが できます。

AUDIO EXPORT	
FILE	
File type:	MP3 \$
Export selection only:	💽 On
Create a file for each track:	On On
Metronome:	• Off
Count-in:	Off
SETTINGS	
Quality:	Best 🗘
Bitrate method:	VBR (Variable BitRate) 💲
Normalization:	💽 On 🛛 -3 dB RMS 🛟
	Cancel Export
オーディオエクズ	スポートウィンドウ

### ASCII書き出し

[ファイル]> [書き出し]> [ASCIIタブ]メニューでは、アクティブなトラックをASCII形式にエクスポート できます。



ASCII export example ASCIIエクスポートの例

ASCIIタブ譜は、ギター、ベース、またはドラムのタブ譜を作成するために使用される単純なテキ ストファイルです。文字、数字、および基本的なASCIIシンボルのみを使用します。したがって、 この形式は非常に人気があり、広く普及しています。

Symbol	Meaning
L	音符をタイで繋げる
Х	デッドノート
h	ハンマリングオン/プリングオフ
b	チョーキング
S	スライド
~	ビブラート
g	ゴーストノート
>	アクセント
t	トリル
М	パームミュート
	スタッカート
Р	ポッピング (bass)
S	スラッピング (bass)
+	タッピング
W	広いビブラート
<	フェードイン
W	トレモロバー
=	トレモロピッキング
v	ブラシストロークアップ
^	ブラシストロークダウン
V	ピックストロークアップ
n	ピックストロークダウン

### MIDIファイル書き出し

[ファイル]>[書き出し]>[MIDI]メニューは、スコアをMIDI(format1)ファイル([.mid])に書き出します。

トラックを書き出ししないことを選択するには、グローバルビューの左側でミュートするだけです。

Guitar Pro では1つのトラックに対して2つのチャンネルを使用して、音を厚くしています。この機能をサポートしていないソフトウェアもあります。このため、Guitar Pro から書き出した MIDI ファイルを開く際に問題が発生した場合は、1つのトラックにつき1つのチャンネルを使用してください。

#### MusicXML書き出し

[ファイル]> [書き出し]> [MusicXML]メニューでは、スコアをMusicXML形式に書き出すことができます。

Recordare®によって作成されたMusicXMLは、楽譜のXML記述です。これは、現在ほとんどの 音楽ソフトウェアプログラムで利用可能なユニバーサル交換形式です。

#### PDF書き出し

[ファイル]> [書き出し]> [PDF]メニューを使用すると、無料のAdobe®Reader®ソフトウェアまたは 他のPDFリーダーを使用するすべてのユーザーが読み取りおよび印刷可能なAdobe®PDF®形 式にスコア全体を書き出しできます。

書き出しされたファイルにはベクトルパスが含まれているため、スケーラブルな画像が必要な場合に適しています。

### PNG書き出し

[ファイル]> [書き出し]> [PNG]メニューを使用すると、スコアを画像ファイルの形式で保存できま す。この機能は、たとえば、作成したものをWebページに公開する場合に便利です。 PNG形式 はコンピュータ画面に適合しています。 印刷用にドキュメントにスコアを挿入する場合は、PDFを 使用することをお勧めします。

書き出しから取得する画像は、Guitar Proエディタで表示される画像とまったく同じです。

印刷

[ファイル]> [印刷]メニューに移動して、スコアの印刷を行います (Windowsでは[Ctrl + P]、macOSでは [Command + P])。 Guitar Proウィンドウがこのボタン 🕒 を表示するのに十分な幅がある場合、ツール バーからの印刷も可能です。

印刷オプションは、プリンターが提供するものによって異なります。スタイルシートを使用して、フ オント、ページ設定、マージン、およびその他のすべてのページ設定をカスタマイズします。これ らは、[ファイル]> [スタイルシート]メニューからアクセスできます。

最高の印刷結果を得るには、プリンターで使用可能な最新のドライバーをインストールしてください。

## Chapter 7 Tools

Guitar Proには、体験を向上させるためのすべての主要なギタリストツールが含まれています。 次の章では、コードダイアグラムジェネレーター、スケールツール、チューナーの使用方法につい て詳しく説明しますが、ファイル保護オプション、ファイルブラウザー、さまざまなインストゥルメン トビュー、Fretlight機能についても説明します。



Kelly Sikkema ( https://unsplash.com/@kellysikkema )

## コードダイアグラム

### ダイアグラム作成

コードダイアグラムジェネレーターは、タブ譜をより豊かにするだけでなく、タブ譜とは無関係に、 ギタリストのための真の参照ツールを構成します。

コードダイアグラムツールを開くには、[ノート]> [コード]メニューに移動するか、[A]キーボードショ ートカットを使用します。スコア内の既存のコードをクリックして変更することもできます。

Guitar Proのすべてのツールと同様に、コードダイアグラムジェネレーターはアクティブなトラック に選択されたチューニングに自動的に調整します。したがって、通常はコードチャートにないよう な、エキゾチックなチューニングモードでもコードダイアグラムを生成できます。

コードダイアグラムツールはいくつかの領域で構成されていますが、これらは対話型であり、コー ドダイアグラムツールを最大限に活用するためには、それらがどのように機能するかを知ること が重要です。



コード作成

#### コード作成

最初の部分では、名前でコードを作成できます。何千もの可能性があります。

使用可能なコードダイアグラムリストから調性を選択すると、Guitar Proはこの特定のコードの手の位置を表示します。

同等のダイアグラムのリストが利用可能です。他の名前にアクセスするには、提案されたコード 名の隣のボタンを選択してください。

コードの反転を定義したり(ベース音がルートと異なる)、または単にベースに必要な音を指定 することができます(最も低い弦)。

このウィンドウから、スコアの名前、ダイアグラム、またはコードの運指を非表示または表示することができます。

#### メインダイアグラム

調性が選択されると、メイン図が表示されます。つまり、スコアに名前が追加され、その名前、運指、 理論的構成が追加されます。 運指は音符の円に表示されます(人差し指の場合は1、中指の場合は2など)。コードダイアグラ ムの下にも表示されます。それを変更するには、指の位置をクリックするだけで、運指を変更で きます。

[ルートノートを強調表示]オプションを使用すると、ダイアグラム上のルートノートの色を変更できます(スコアには反映されません)。

これを直接選択して、ダイアグラムを作成できます。

- フレットを選択して、ノートを追加または削除します。
- スクロールバーを使用して、ルートフレットを変更します。
- セーハコードはGuitar Proによって自動的に提案されます。

Guitar Proが提案する、スコアに表示されるデフォルトの名前を変更できます。 クラシック、ジャズ、ロックの3つのコード名形式を使用できます。

66 コード名をフィールドに表示したままにするには、コード名の直前にアポストロフィ(') を入力するだけです。

ダイアグラムのすぐ上で、円はオープンで演奏された(つまり、フレットを押さずに)演奏された弦 を象徴し、十字は演奏されていない弦を象徴します。

#### ダイアグラムリスト

コードの考えられるダイアグラムのリストがメインエリアに表示され、それらは難易度順にリストされています。このダイアグラムのいずれかを選択して、メインダイアグラムにします。

選択したダイアグラムを聞くには、コードウィンドウの右上隅にある再生ボタンを選択します。

#### その他

コードダイアグラムウィンドウを開くと、このビートに対してダイアグラムが定義されていない場合、 選択したビートに関連するノートが自動的にメインダイアグラムに配置されます。

[ダイアグラムの表示]オプションを有効にすると、選択した拍に対して以前に音符が定義されて いなかった場合、メインダイアグラムの音符がスコアに自動的に追加されます。そうでない場合、 コードダイアグラムのみが拍に表示されます。

スタイルシートを使用すると、ダイアグラムのサイズとスコア内でのダイアグラムの位置を変更できます。詳細については、対応する章を参照してください。

要するに、コードダイアグラムツールには多くの機能があります。

- コードダイアグラムをタブ譜に追加する。
- 与えられたコードのフレットボード上で可能なさまざまな位置を学習します。
- 楽器で見つけた和音の名前を知り、その特定の和音のその他の可能な位置または運 指を学習します。
- 楽器のエキゾチックなチューニングを使用して、標準コードの位置を取得します。

## コードダイアグラムライブラリ

コードダイアグラムを作成すると、トラックのコードダイアグラムライブラリに追加されます。[コード]ボタンをクリックして、エディションパレットからこのライブラリにアクセスできます。 このウィンド ウの[+]ボタンをクリックしてコードを作成することもできます。

スコアに名前だけが表示されるコードでは、ダイアグラムがグレー表示されます。



コードを追跡

### **Scales**

スケール エンジンを使用すると、任意のキー(調)のさまざまなスケールを表示できるほか、それ らを試聴することもできます。また、スコアで使用されているスケールを取得することもできます。

スケールエンジンを有効にするには、[ツール]> [スケール]メニューに移動します。



スケールライブラリ

### スケールライブラリ

Guitar Pro では、1,000 種類以上のスケールを備えています。スケールを検索する場合は、目的のタグにチェック(複数可)を入れて検索結果をフィルタリングするか、検索チャートにキーワードを入力して検索します。スケールは、選択したキーで表示されます。

Guitar Pro により、スケールの音が表示されます。再生ボタンをクリックすると、それらを試聴することができます。

Guitar Pro では、スケールの構成音も表示されます。スケールの構成音は、音程および度数(半音の個数)により表されます。

フレットボード上の音は、Guitar Pro のその他のツールと同じように、選択しているトラックのチュ ーニング設定に基づいて表示されます。





バーチャルキーボードのスケール

### スコアで使用されるスケールを分析する

スコアの一部を選択し、[選択範囲の音符からスケールを検索]をクリックします。 キーおよびスケールの候補、ならびにそれらの出現率が昇順にリスト表示されます。

参考:スコア内に転調された箇所があると、スケールを検索しても正確な結果が得られない場合 があります。このような場合は、転調する箇所を耳で特定した上で、転調していない部分に限定 してスケールを検索します。

参考: Guitar Pro では、スケールツールを使用してタブ譜に直接スケールを配置することはでき ません。しかし、フレットボード上でスケールを表示し、それをクリックすることでタブ譜に音符を 簡単に入力できます。また、音符を入力した後にフレットボードを右クリックすると、カーソルは自 動的に次の音符に移動します。

### バーチャルインストゥルメント

バーチャルギターフレットボードには多くの機能があります。スコアの音符を表示したり入力したり できるほか、スケールを視覚化することができます。

機器のビューを表示するには、[表示]メニューの次の3つのメニューを使用します。

- ・ [表示]>[フレットボードビューを表示]
- [表示]> [キーボードビューを表示]
- ・ [表示]> [ドラムキットビューを表示]

キーボードショートカットは、Windowsでは[Ctrl] + [F6]、macOSでは[Cmd] + [F6]です。トラックの 種類に応じて反応します。弦楽器でこのショートカットをトリガーすると、フレットボードの表示/非 表示が切り替わります。ピッチ楽器でこのショートカットをトリガーすると、キーボードの表示/非 表示が切り替わります。パーカッショントラックでは、このショートカットはドラムキットビューに関 連付けられています。

ツールバーの右側にある機器表示アイコンをクリックすることもできます。



Guitar Proには、ギターのフレットボード、キーボード、ドラムキットビューの3つの楽器ビューがあります。

- ピッチ楽器(フレット/弦楽器)のあるトラックは、フレットボードおよびキーボードビューにのみ表示できます。ギター、ベース、その他の弦楽器、ピアノ、シンセ、オーケストラ楽器、ピッチパーカッションなど。
- ピッチのない楽器(つまり、純粋にパーカッシブな楽器)を含むトラックは、ドラムキットビューのみを表示できます。

フレットボードとキーボードのビューを同時に表示できるため、両方の楽器でスコアを演奏する方法を確認できます。

#### 共通機能

インストゥルメントビューでは、音符を直接クリックして、マウスで音符を書くことができます。[前 へ]ボタンと[次へ]ボタンを使用してスコア内を移動できるため、コンピューターのキーボードを使 用する必要はありません。既存の音符をクリックすると、それが消去されます。

機器の表示ウィンドウの左側にある歯車を選択して、オプションにアクセスします。

さまざまな表示オプションが利用可能です。

- 拍の表示:選択した拍の音符のみを表示します。
- 拍+小節を表示:選択した拍のノートとアクティブな小節のノートを表示します。
- 拍+次の拍を表示:選択した拍のノートと次の拍のノートを表示します。

フレットボードとキーボードビュー

フレットボードビューには多くの機能があります。スコアの音符の表示、音符の入力、またはスケ ールの視覚化に使用できます。

さらに、マウスでポイントされた音符は2か所に表示されます(したがって、フレットボードをクリッ クする必要はありません)。

- マウスの下で、楽器を移動します。これはオプションを使用して設定できます。
- 左の部分(数字はオクターブです)。

フレットボードビュー



1. カーソルを左右に動かします。

2. 設定

フレットボードは、アクティブなトラック設定に自動的に調整されます。弦の数とカポの位置は、ト ラック設定によって設定されます。アクティブなトラックを変更すると、フレットボードが自動的に 更新され、新しいトラックが反映されます。

スコアに音符を追加するには、フレットと目的の弦をクリックしてギターのフレットボードから選択 します。音符を削除するには、音符をクリックします。

デフォルトでは、ビューは右利きの人に適しています。フレットボードでは左利きモードも 利用できます。設定ボタンをクリックし、開いたポップアップで左利きモードを有効にしま す。

#### **Keyboard view**



- 1. カーソルを左右に動かします。
- 2. 設定

キーボードビューでは、現在のトラックの再生可能範囲を視覚化できます。再生できない音階は、低すぎたり高すぎて楽器がアクセスできないため、グレー表示され、クリックできません。

スコアに音符を追加するには、キーをクリックするだけです。 音符を削除するには、その 音符をクリックします。

66 フレットボードとキーボードの両方のビューを同時に表示することができます。

スケール



フレットボードおよびキーボードビューでスケールを表示(または非表示)できます。スケール表示を有効にし、下のボタンをクリックしてスケールを選択することにより、機器ビューからスケールツールウィンドウに直接アクセスします。

音符を入力している間も、スケールを視覚化できます。

ルート音を強調表示するかどうかを選択できます。円ではなく正方形として表示されます。

#### Virtual Drumkit \*\*<u>\*</u>\* **H**•× . 029 Ride (choke) 042 Hi-Hat (closed) 054 Tambourine (hit) 066 Timbale low (hit) 078 Cuica (mute 030 Cymbal (hit) 043 Very Low Tom (hit) 055 Splash (hit) 067 Agogo high (hit) 079 Cuica (open 044 Pedal Hi-Hat (hit) 031 Snare (side stick) 056 Cowbell medium (hit) 068 Agogo low (hit) 080 Triangle (mu 081 Triangle (hit) 033 Snare (side stick) 045 Low Tom (hit) 057 Crash medium (hit) 069 Cabasa (hit) 034 Snare (hit) 046 Hi-Hat (open) 058 Vibraslap (hit) 070 Left Maraca (hit) 082 Shaker (hit) 059 Ride (edge) 071 Whistle high (hit) 083 Jingle Bell (h 047 Mid Tom (hit) 036 Kick (hit) 048 High Tom (hit) 060 Hand (hit) 072 Whistle low (hit) 084 Bell Tree (hit) 037 Snare (side stick) 049 Crash high (hit) 061 Hand (hit) 073 Guiro (hit) 085 Castanets (h 074 Guiro (scrap-return) 038 Snare (hit) 050 High Floor Tom (hit) 062 Conga high (mute) 086 Surdo (hit) 063 Conga high (hit) 075 Claves (hit) 039 Hand Clap (hit) 087 Surdo (mute 052 China (hit) 040 Snare (hit) 064 Conga low (hit) 076 Woodblock high (hit) 091 Snare (rim sh 041 Low Floor Tom (hit) 053 Ride (bell) 065 Timbale high (hit) 077 Woodblock low (hit) 092 Hi-Hat (half) Drumkit view

1. カーソルを左右に動かします。

ドラムキットビュー

2. 設定

ドラムキットビューウィンドウは、複数のビューを表示するように構成できます。

- ・ 譜表ビュー:現在のトラックで使用可能なすべてのドラム要素を表示します。
- MIDIビュー: MIDI要素を表示します。

譜表ビュー

この要素のいずれかを選択すると、Guitar Proがこの要素専用のキーボードショートカット(テンキー)を表示します。これにより、編集がより簡単かつ迅速になります。使用可能なショートカットは、カーソルが置かれている譜表線によって異なります。

マウスが指す音符が表示されます。ドラムキットビュー要素をクリックする必要はありません。このウィンドウには、指されたドラム要素の名前だけでなく、MIDI値も表示されます。

#### MIDIビュー

MIDIビューを使用すると、ドラムキットで再生可能なすべての要素を視覚化できます。Guitar Pro は、標準のGeneral MIDIパレットと比較して拡張要素パレットを提供します。General MIDI要素の みを表示するには、設定ポップアップで小さな歯車のアイコンからアクセスできるオプションを選 択してください。 **66** 要素のテキストサイズの変更は、設定ポップアップから可能です。

### Tuner

Guitar Proには、ツールバーから簡単にアクセスできるプロ仕様のポリフォニッ クチューナーが組み込まれています。 1つのブラシで、すべての弦のチューニ ングを確認できます。 ポリフォニックチューナーは下部にあり、モノフォニック チューナーは上部にあります。

Tチューナーは現在のトラックのチューニングで設定されます。チューニングノートは左から右へ、 より大きな弦からより細い弦まで表示されます。 変動は、目標値から計算および表示されます。 単位はトーンです。赤いバーが中央に近いほど、文字列がターゲット値に近くなります。 弦がチ ューニングされると、バーは緑色になります。



より正確に、一度に1つの音だけを演奏したい場合があります。この音は検出され、上部に表示 されます。また、特定のノートをクリックすることで、上部に表示するノートを選択できます。

### ファイル保護

Guitar Proを使用すると、ファイルを保護し、変更が表示される可能性を減らすことができます。 あなたが作品を保護したり、教師と一緒に生徒と共有したり、変更を防いだりする場合に非常に 便利です。



Go [ファイル]> [ロック/ロック解除]メニューに移動し、次の保護オプションにアクセスします。

- ファイナライズ:ファイルをファイナライズして、不要な変更を防ぎます。ファイルをロック 解除するだけで、再度変更できるようになります。
- ・編集のロック:変更を防ぎます。ファイルはパスワードで保護されています。このオプションは、ファイルを配布し、生徒による変更を避けたい教師に役立ちます。
- ロックを開く:パスワードなしでファイルを開くことができなくなります。たとえば、オンラインレッスンを販売するWebサイトに便利です。

### **Fretlight**

FRETLICHT®

Guitar Proは、Fretlight(https://fretlight.com/)®ギターとネイティブに互換性があります。これらのギターには小さなLEDが点灯しており、指を置くとどのフレットが点灯するかを示します。

以前のGuitar Proバージョンとは異なり、Guitar ProでFretlightギターが提供する機能を楽しむために追加料金を支払う必要はなくなりました。

Fretlight Wirelessは、Windows 10、10.10以降のmacOS、およびBluetooth 4.0でのみ使用できます。

### Fretlightを有効にする

ただし、Fretlightボタンはデフォルトではツールバーに表示されません。表示するには、設定ウ ィンドウの[インターフェース]タブに移動します(Windowsでは[ファイル]>[設定]メニュー、macOSで はGuitar Pro 7> [設定]メニュー)。次に、[フレットライトを表示]ボタンをオンにします。 ルバーから次のように表示されます。

有効にすると、ツールバーの右上隅に新しいアイコンが表示されます。このボタンはポップアップを開き、Fretlightギターに表示されるものを設定できます。使用可能なオプションは次のとおりです。

### Fretlight設定



Fretlight設定ポップアップ

### 有効化/無効化

ポップアップの右上隅にあるボタンは、Fretlightギターの表示を有効または無効にします。 ただし、設定は後で有効にするために保存されます。

### デバイス

USBに接続されているデバイスまたはBluetooth経由でコンピューターに接続されているデバイスの中から、Guitar Proにリンクするデバイスを選択できます。

#### モード

このモードは、Fretlightギターに実際に表示されるものに対応しています。

- タブ譜:カーソル位置に応じて、Fretlightギターではタブ譜ノートのみが点灯します。
- コード:コードがカーソル位置にあるかどうかに応じて、Fretlightギターではタブ譜コードのみが点灯します。
- スケール:スケールウィンドウで選択したスケールのノートのみが、Fretlightギターで点灯します。

#### 左利き

このオプションをオンにして、LEDを点灯するときに左利きであることを考慮して、Fretlightギターに 伝えます。

#### フレットの範囲

ディスプレイをフレットボードのサブパートに制限することができます。LEDを実際に点灯させる 最初と最後のフレットを選択します。

#### USBペダルボタンの割り当て

Fretlight USBペダルを使用すると、マウスを使用せずにGuitar Proを制御できます。利用可能なものの中で、頻繁に行う必要があるアクションをこれらのボタンに割り当てることは非常に手になります。

### Fretlightワイヤレスギター

Guitar Proは、Fretlight Wireless Guitars(https://fretlight.com)(Bluetooth)とも互換性があります。 この機能はmacOS 10.10およびWindows 10でのみサポートされており、少なくともBluetooth 4.0が 必要です。

有効にすると、Fretlightギターは短い同期時間(約10秒)後にGuitar Proによって自動的に検出され、Fretlight設定ウィンドウに「接続済み」と表示されます。

Bluetoothギターが接続されているように見えない場合:

- コンピューターがWindows 10またはmacOS 10.10の最小要件を満たしていることを確認 します。
- コンピューターが少なくともBluetooth 4.0を使用し、Bluetoothオプションが有効になっていることを確認します。
- Fretlightギターが他の周辺機器またはプログラムにまだ接続されていないことを確認してください。
- マイクのUSBエントリの横にある黒いボタンを押して、Fretlightギターをリセットします。
- すべてのライトが点滅するまで押します
- 次に、Guitar Proとファイルの1つを開くと、Fretlightギターが自動的に接続されます。

## ブラウザ

Guitar Proにはファイルエクスプローラーが組み込まれているため、Guitar Proファイルにすばやく アクセスできます。

このブラウザには、Guitar Proのウェルカムページまたは[ファイル]>[参照]メニュー(ショートカット:Windowsでは[Ctrl + B]、macOSでは[Cmd + B])から直接簡単にアクセスできます。

### ローカルファイル

	Browse	
(	Q Deep Purple	
LOC	AL FILES 🧿	MYSONGBOOK 11
<ul> <li>Deep Purple - Bloodsucker</li> <li>Deep Purple - Burn</li> <li>Deep Purple - Child In Time</li> <li>Deep Purple - Fireball</li> <li>Deep Purple - Highway Star</li> <li>Deep Purple - Into The Fire</li> <li>Deep Purple - Lazy</li> <li>Deep Purple - Speed King</li> <li>Deep Purple - Strange Kind Of Worr</li> </ul>	nan	<section-header><complex-block></complex-block></section-header>
		<         IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII
C /Users/oclero/Documents/My GP File	es 9 files 🗲	Preview: 🗾 On

ブラウザウィンドウ(ローカルファイルタブ)

[ローカルファイル]タブには、ハードディスクまたは特定のフォルダーにあるすべてのGuitar Pro ファイルが一覧表示されます。下部のボタンをクリックして、Guitar Proでファイルのインデックス を作成するパスを変更します。

検索ボックスと視覚的および音声プレビューにより、探しているファイルをすばやく見つけること ができます。

### オンラインファイル (mySongBook)

	Browse
	Q Beatles 🗷 🗢
	LOCAL FILES  MYSONGBOOK  53
📑 The I	Beatles - Ain't She Sweet (Picking Solo Guitar)
📑 The I	Beatles - Blackbird (Expert Solo Guitar)
📑 The I	Beatles - Blackbird (Solo Ukulele)
🗟 The I	Beatles - Come Together (Full Score)
🗟 The I	Beatles - Come Together (Guitar Vocals)
🗟 The I	Beatles - Come Together (Intermediate Solo Guitar)
📑 The I	Beatles - Come Together (Solo Bass)
🗟 The I	Beatles - Drive My Car (Full Score)
📑 The I	Beatles - Eight Days a Week (Easy Solo Guitar)
📑 The I	Beatles - Eight Days a Week (Full Score)
📑 The I	Beatles - Eight Days a Week (Guitar Vocals)
📑 The I	Beatles - Eight Days a Week (Picking Solo Guitar)
📑 The I	Beatles - Eight Days a Week (Ukulele Vocals)
📑 The I	Beatles - Girt (Full Score)
📑 The I	Beatles - Girl (Picking Solo Guitar)
📑 The I	Beatles - Girl (Ukulele Trio)
📑 The I	Beatles - Help! (Easy Solo Guitar)
🔜 The I	Beatles - Help! (Full Score)
2 olivier	clero@arobas-music.com 🚯 Sign Out 📾 Manage My Tabs 🗘
	ブラウザウィンドウ(オンラインファイルタブ)

mySongBookタブは、mySongBookアカウントに接続すると、インターネットに接続してmySongBook タブのリストを取得します。

🔴 🔿 🕒 В	rowse				
Q Search	•				
LOCAL FILES	MYSONGBOOK				
6	SB				
MYSONGBOOK LIBRARY					
Play your favorite songs with the accessible	e mySongBook score library directly in Guitar Pro 7.				
🖸 Getti	ng Started				
login: vourpama@omail.c					
Password: password					
Create My Account	Sign in				
Free Tab of the Day					
Rory Gallagher - Boug	ht and Sold (Full S 🕑 Open				
mySon	gBook接続				

Note that, even if you're not connected, you can discover mySongBook with a free tab (read-only) every day.

macOSキーチェーン

macOSでは、mySongBookのパスワードはキーチェーンに保存されます。コンピューターから、 mySongBookの情報が[ArobasMusic\_MSB]という名前でキーチェーンに保存されることを確認す るように求められます。macOSセッションパスワードを入力し、[許可]をクリックします。



mySongbookはキーチェーンを変更する許可を求めます

162 | Chapter 7: Tools

# Chapter 8 mySongBook

Arobas Musicは、mySongBookと呼ばれる独自の公式高品質タブWebサイトを開発し、公開しています。この専用の章では、mySongBookの詳細を確認し、Guitar Proでこれらのタブを使用する方法を学びます。



Dominik Scythe ( https://unsplash.com/@drscythe )

### mySongBookとは?

mySongBook(http://www.mysongbook.com)は、Arobas Musicの公式タブ譜ウェブサイトです。 これは定性的かつ法的提案であり、著作権者の公式出版社による報酬により著作権を尊重しま す。

(注:Arobas Music社によるサービスのため日本ではサポート対象外です。決済は海外で使用可能なクレジットカードのみになります)

プロのミュージシャンが編集した数千の楽譜がmySongBookで入手できます。ギター、ベース、 またはその他の弦楽器の未公開のアレンジメントと、オリジナルの曲(ギター、ベース、ドラム、キ ーボード、歌詞)に含まれるすべての楽器に関する完全かつ正確なスコアがあります。

タブ譜データのオーディオ設定はすべて専門家によって行われます。各タブ譜は、元のバージョンに可能な限り忠実です。その結果、mySongBookは、Guitar ProのLine In機能を最大限に活用するための最良のオプションです。お気に入りのギタープレーヤーと同じギターサウンドで演奏できます。

### mySongbook.comからファイルを開く

無料でアカウントを作成するか、mysongbook.com(http://www.mysongbook.com)Webサイトに接続します。

毎月のサブスクリプションを購入した場合、購入したリストまたは利用可能なタブからタブのいず れかを選択します。 mySongBook Webサイトからタブを起動します。 Guitar Proでタブが直接開 きます。

### Guitar ProからmySongBookタブに直接アクセスする

Guitar Proを開き、ようこそページから[参照]を選択します。メールアドレスとパスワードの両方を 入力してください。このウィンドウから直接mySongBookの購入にアクセスし、購入の1つを選択 してGuitar Proで開きます。



#### mySongBookログインウィンドウ

### 今日の無料タブ

今日の無料タブは、mySongBook Webサイト(http://www.mysongbook.com)から毎日入手できます。

前述のようにmySongBookアカウントに接続すると、Guitar Proの[ようこそ]ページの[サンプル]タ ブから直接アクセスすることもできます。

166 | Chapter 8: mySongBook

## Chapter 9 環境設定

Guitar Proの設定をよく理解してください。Guitar Proを最大限に活用するには、これらの設定を マスターすることが重要です。Guitar Proの設定は5つのパネルに分かれています。この専用の 章で各パネルの詳細をご覧ください。



Roberta Sorge ( https://unsplash.com/@robertina )



これは、Guitar Proの一般的な動作を設定するためのメインタブです。

これらの設定は、変更すると直接変更され、検証する必要はありません([OK]ボタンをクリックす る必要はありません)。

	Preferences						
General	) Interface		Score errors		My info		<b>■</b> ) Audio / MIDI
DOCUMEN	тѕ						
Default temp new docu	late for ments:	Empty		٥			
When ope	ning or	Force st	ylesheet				
creating	g a file:	🧭 Force layout		Page	e - Grid	٥	
		🜌 Force zoom		1009	% ≎		
		Force notation					
		Force pl	ayback with				
Open last s docu	ession ments:	💽 On					
UPDATES							
Automatically check for updates: Every Day  \$ Check Now							
Install beta ve	rsions:	Off					
Default							
			一般影	定			

書類

#### デフォルトのテンプレート

Guitar Proで新しいドキュメントを作成すると、デフォルトでは空になり、ドキュメントにはトラックが 含まれません。この動作を変更して、新しいドキュメントを作成するときに事前設定されたトラッ クを自動的に作成することができます。たとえば、プリセットのJazz Trioは、3つのトラック(ジャズ ギター、アップライトベース、ドラム)を含む新しいファイルを作成します。

#### 固定オプション

Guitar Proファイルを作成または開くと、スタイルシート、ページレイアウト、ズーム、表記法、再 生エンジンなど、その外観に関する情報が既に含まれています。 Guitar Proはこの情報を使用 して、ドキュメントを表示および再生します。 これらの設定はすべて、ドキュメントごとに個別に編 集できます。

ただし、ドキュメントを変更せずに、これらのドキュメント設定を上書きできます。常に150%ズームを固定するか、ドキュメントの再生時に常にMIDI再生を固定することができます。

#### 最後のセッションドキュメントを開く

Guitar Proを閉じるときにタブを開いている場合、Guitar Proを次に起動したときに直前に使用していたタブを自動的に再度開くことができます。

アップデート

#### 確認頻度

Guitar Proは定期的にアップデートを自動的にチェックします。デフォルトでは、このチェックは毎週行われます。頻度を変更したい場合もあれば、更新を確認しない場合もあります。

ただし、アップデートごとにバグ修正と新しい機能が追加されるため、Guitar Proのアップデートを 強くお勧めします。Guitar Proのアップデートは、数か月ごとに頻繁に更新されます。

#### ベータ版

ソフトウェア開発の観点から、アプリには3つの大きなステップがあります。

- アルファ版:このバージョンは社内で非公開のままです。修正/修正のリストは、バージョンの目標として確立されます。
- ベータ版:アルファ版が十分に安定すると、ベータ版になり、ユーザーは試用できます。 ただし、このベータ版にはまだバグや問題が含まれている場合があります。ベータテス ターは、アプリの修正を支援するために、発見された問題を開発者に通知するよう求め られます。
- リリースバージョン:ベータバージョンが安定し、リスト内のすべての問題が修正されると、 バージョンが公開され、公式バージョンになります。

リリースバージョンを使用する代わりにベータバージョンをインストールすることにより、Guitar Proの改善を支援することができます。もしそうなら、私たちは非常に感謝しています。

ベータ版は100%安定しておらず、バグを含んでいる可能性がありますが、それらを再現する方 法を教えていただければすぐに修正されます。サポート(https://support.guitar-pro.com/hc/enus/requests/new)に連絡して、バグや提案についてお聞かせください。その後、新しいベータア ップデートがあなたと他のベータユーザーに提供されます。

ベータ版を使用する利点は、バグ修正と新機能を誰よりも早く提供することです。合意は、問題 について通知することで、Guitar Proの改善を支援することです。

Guitar Proライセンスを既に所有している場合、ベータ版は無料です。オプションをオフにすると、いつでも通常のリリースバージョンに戻すことができます。

### インターフェース設定

このタブでは、Guitar Proのユーザーインターフェースを設定できます。

これらの設定は、変更すると直接変更され、検証する必要はありません([OK]ボタンをクリックす る必要はありません)。

		Preferences		
ي <b>ر</b>	<b>**</b>	<b>§</b> ₽	er.	<b>N</b>
General	Interface	Score errors	My info	Audio / MIDI
SCORE				
	Playing	cursor style: Sm	ooth 🗘	
	Highlight currer	nt played bar: 📀	On	
	+/- k	eys behavior: Sho	orter / Longer 💲	
TOOLBAR				
	Show Fre	etlight button: 👥	On	
INTERFACE				
		Language: Sys	tem language	\$
Default				
	イン	ターフェース	設定	

#### スコア

#### カーソルスタイルの再生

Guitar Proがスコアを再生しているとき、カーソルは拍ごとにリアルタイムで移動します。その動作は編集可能です:

- なし:再生中にカーソルはありません
- スムーズ:カーソルは拍から拍にスムーズに移動します
- 各ノート:カーソルが拍から拍に突然移動します
- メトロノーム:カーソルはメトロノームの刻みに基づいてのみ移動します

#### 現在再生中の拍を強調表示する

Guitar Proがスコアを再生しているとき、現在の再生バーは淡黄色で強調表示されます。この強調表示を無効にすることができます。

#### プラス/マイナスキーの動作

[+]および[-]キーは、音符の長さを変更するために使用されます。デフォルトでは、[+]はデュレーションを高速化し(たとえば、4分音符が2分音符になる)、[-]はデュレーションを短縮します。

ツールバー

#### Fretlightボタンを表示

Guitar ProはFretlight®ギターと互換性があります。これらは、フレットボードの小さなライトで演奏する方法を示す特別なギターです。詳細については、専用の章を参照してください。

デフォルトでは、誰もがFretlight®ギターを所有しているわけではないため、Fretlight®ボタンはツ ールバーに表示されません。オプションをチェックして、このボタンを表示することもできます。

インターフェース

#### 言語

Guitar Proは複数の言語で利用可能です。変更はすぐには行われません。他の言語を選択した後、アプリケーションを再起動する必要があります。

### スコアエラー設定

スコアを書くとき、いくつかのエラーが発生する場合があります。 Guitar Proは、このエラーを自動的に検出します。これは、ワードプロセッサのスペルチェックのようなものです。 エラーは赤で 表示されます。



スコアの不完全な拍

これらの設定は、変更すると直接変更され、検証する必要はありません([OK]ボタンをクリックする必要はありません)。



スコアエラー設定
# ユーザー情報の設定

新しいファイルを作成するとき、スコア情報は空です。著者も著作権情報もありません。これらの フィールドを新しいファイルに自動的に入力するために、これらを設定に書き込むことができます。

This is your song				
Standard tuning ↓ = 120				whise by the
\$1 × I				
reso.				
新L	いフ	ァイルのユー	ザー情報	
		Preferences		
چ کر		<b>∳A</b>	, Contraction of the second s	<b>■</b> ≫
General Interfa	ce	Score errors	My info	Audio / MIDI
MY INFO				
Set the d	efault in	formation when cre	eating a new file.	
Artist:				
Words:	Words			
Music:	Music			
Copyright:	Copyright: Copyright			
Transcriber:	Transcriber			
Instructions:				
Clear				

楽譜の情報設定

これらの設定は、変更すると直接変更され、検証する必要はありません([OK]ボタンをクリックする 必要はありません)。 これは、Guitar ProでオーディオとMIDIの設定を構成できるタブです。

これらの設定は、変更すると直接変更され、検証する必要はありません([OK]ボタンをクリックす る必要はありません)。

			Ρ	references					
ير		•		<u>6</u>		à,			1))
General	Inte	erface	S	Score errors		My info		Audi	o / MIDI
AUDIO									
	Device:	Standard			\$				
Audio	output:	System D	lefau	lt	٢			Chec	k
Audi	o input:	System D	lefau	lt	\$				
Buff	fer size:	256	\$	samples					
MIDI OUTP	TUT								
	Port 1:	Software	Synt	hetizer	٢	Check	0 n	ns	\$
	Port 2:	Software	Synt	hetizer	٥	Check	0 n	ns	¢
	Port 3:	Software	Synt	hetizer	٢	Check	0 n	ns	\$
	Port 4:	Software	Synt	hetizer	٢	Check	0 n	ns	\$
MIDI INPU	г								
	Device:	- None -			٥				
Capture ser	nsitivity:	100 ms 🛟	) (de	elay to separate	e 2 no	otes)			
String affe	ctation (	using char	nel	detection					
First cha	annel for	the highest	strin	g					
First channel for the lowest string									
No channel detection (automatic fingering)									
Default Refresh									
		オ-	ーデ	ィオ/MIDI	設定				

オーディオ

### デバイス

接続されているデバイスから選択します。Windows環境下ではASIOデバイスを使用することを 強くお勧めします。ASIOドライバーは、Guitar ProのLine-In機能を使用し、アプリケーション全体 を最大限に活用するために不可欠です。macOSでは、CoreAudioドライバーが使用されます。

#### オーディオ出力

オーディオ出力は、Guitar Proがオーディオ信号を送信する出力(スピーカー、ヘッドフォンなど) に対応します。コンピューターに接続されている機器によって異なります。 ー部の機器には複数の出力がある場合があります。2番目のコンボボックスで必要な出力を選択します。

[確認]ボタンをクリックしてセットアップが機能するかどうかを確認し、音を聞きます。

#### オーディオ入力

オーディオ入力は、Line-Inのオーディオのソースに対応します:どの入力(マイク、ギターなど)を 使用するか。可能なオーディオ入力は、コンピューターに接続されている機器によって異なりま す。

右側の小さなバーはVUメーターです。選択した入力でオーディオ信号が実際に検出されている かどうかを確認できます。

#### バッファサイズ

オーディオ用語では、音の放射の瞬間とそれを受け取る瞬間との間に遅延がある場合、待ち時間があると言います。この遅延は複数の原因によるものです。研究では、音が最大10 ms遅れると、脳は潜時を感じないことが示されています。値が大きくなると、望ましくない遅延が聞こえます。 このレイテンシは、すぐに音が聞こえないため、トラックを再生したり録音したりするときに特に迷惑です。

オーディオ信号は次のスキームのように処理されます。オーディオデバイス(サウンドカード)は、 オーディオ信号を受信して処理します。アナログ(つまり、「実際の」信号)をデジタル信号(つまり、 「仮想」信号)に変換します。この手順により、オーディオデバイスに応じて、既に数ミリ秒の遅延 が追加されます。次に、それを44100Hzでオーディオアプリケーションに送信します。1秒あたり 44100サンプルです。



オーディオ処理(簡略化した図)

オーディオアプリケーションは、コンピューターのCPUに過負荷をかけるため、サンプルをすぐに は処理しません。そのため、バッファを使用します:バッファを使用します(コンピュータのメモリ 内)。処理する前にオーディオサンプルを保存します。一般的なバッファサイズは512サンプルで す。コンピューターは512のグループごとにサンプルを処理します。 理論的には、バッファサイズが小さいほど、レイテンシは低くなります。ただし、小さなバッファで 作業することは、コンピューターにとって厳しい場合があります。オーディオバッファが小さすぎ ると、クリック、ポップ、スタッターなどの再生の問題が発生します。

ー方、バッファが大きすぎる場合、アプリケーションはそれを処理するのに非常に長く待機し、リ スナーは待ち時間を聞きます。

次に、ニーズに合わせて適切なバッファサイズを選択します。

#### MIDI出力

Guitar Proでは、4つのMIDIポートを同時に使用できます。各ポートに異なるMIDIデバイスを設定できます。

Guitar Proでトラックを作成するときのデフォルトデバイスであるため、最初のポートには最適な MIDIデバイスを選択する必要があります。テストボタンは、選択したデバイスでサウンドサンプル を再生します。音が聞こえない場合、デバイスが使用できないか、ミュートされている可能性があ ります。

Latency設定により、MIDI出力とRSE出力の両方を同時に使用するときに、再生を同期すること ができます。MIDI出力が遅れている場合は、MIDIレイテンシを増やし、そうでない場合はRSEレ イテンシを増やします。メトロノームは常にMIDI出力を使用するため、適切なレイテンシを設定す るために使用できることに注意してください。

#### MIDI入力

#### デバイス

MIDI入力を使用すると、MIDI楽器でノートをキャプチャできます。インストゥルメントには、 WindowsにインストールされたMIDI入力ドライバが必要です。また、デバイス領域でプラグインし て選択する必要があります。

#### キャプチャ感度

MIDI入力はノートごとに行われます。キャプチャ感度を使用すると、同じコードの2つのノート間の 最大遅延をミリ秒単位で変更できます。演奏された2つの音の間隔が感度よりも重要な場合、2 番目の音は新しいビートに配置されます。

#### チャネル検出を使用した弦の影響

MIDIキーボードを使用する場合、MIDIノートには弦とフレットの情報はありません。Guitar Proは、 現在演奏されている内容に基づいて、演奏時に弦とフレットの情報をMIDIノートに自動的に割り 当て、フレットボードの運指を最適化できます。 MIDIギターを所有している場合、各弦を異なるチャンネルに送信できます。その後、MIDIギター に応じて、弦を別の方法で割り当てることを決定できます。最初のチャンネルは最高の弦、最初 のチャンネルは最低の弦です。

178 | Chapter 9: Preferences

# Chapter 10 付録

これらは役に立つかもしれません。付録セクションでは、利用可能なすべてのキーボードショー トカットについて詳しく説明しますが、Guitar Proで使用されるシグネチャーサウンドとすべてのエ フェクトの完全なリストも要約しています。



Markus Spiske ( https://unsplash.com/@markusspiske )

シグネチャーサウンド

シグネチャーサウンドは、有名なギターサウンドからインスピレーションを受けています。ここには、 お気に入りのギタープレーヤーのサウンドを再現するのに役立ついくつかのテーブルがあります。

# **Clean electric Guitar**

Preset	Song	Artist
18	18 & Life	Skid Row
Africa	Africa	Toto
Alabama	Sweet Home Alabama	Lynyrd Skynyrd
Always with Me	Always with Me Always with You	Joe Satriani
Android	Paranoid Android	Radiohead
Anywhere	I Don't Live Anywhere	Joe Bonamassa
As You Are	Come As You Are	Nirvana
Avenged		Avenged Sevenfold
B or W	Black or White	Michael Jackson
Bay	Sittin' on the Dock of the Bay	Otis Redding
Beautiful Day	Beautiful Day	U2
Bottle	Message in a Bottle	The Police
Breath	Every Breathe You Take	The Police
Breathless	Breathless	The Corrs
Carry On	Carry On Wayward Son	Kansas
Change	Wind of Change	Scorpions
Charming	This Charming Man	The Smiths
Communique	Communique	Dire Straits
Crazy Diamond	Shine on You Crazy Diamond	Pink Floyd
Creep	Creep	Radiohead
Crosstown	Crosstown Traffic	Jimi Hendrix
Crush	The Crush of Love	Joe Satriani
Dancing	Don't Stop Dancing	Creed
Daughter	Mama Talk to Your Daughter	Robben Ford
Delay Like Hell	Run Like Hell	Pink Floyd
Dime		Pantera (Dimebag Darrell)
Don't Cry	Don't Cry	Guns 'n Roses
Echoes	Echoes	Pink Floyd
Everlong	Everlong	Foo Fighters
Fluorescent	Fluorescent Adolescent	Arctic Monkeys
Fly	Learning to Fly	Tom Petty
Freak	Le Freak	Chic
Free Ride	Free Ride	Edgar Winter Group
Free	I'm Free	The Rolling Stones
Gloria	Gloria	Them
Got the Blues	Still Got the Blues	Gary Moore
Help	Help!	The Beatles

Preset	Song	Artist
Highway 61	Highway 61	Bob Dylan
Holding		Big Brother and the Holding
Company		Company
Jailhouse	Jailhouse Rock	Elvis Presley
Jamming Autowah	Jamming	Bob Marley
Joe	Hey Joe	Jimi Hendrix
Kiss	Kiss	Prince
Kryptonite	Kryptonite	3 Doors Down
Kung Wah	Kung Fu	Curtis Mayfield
Leppard		Def Leppard
Like Heaven	Just Like Heaven	The Cure
Loser	Loser	Beck
Love Thing	Love Thing	Joe Satriani
Mardy	Mardy Bum	Arctic Monkeys
Mars	The Kill	30 Seconds to Mars
Matters	Nothing Else Matters	Metallica
Mayer		John Mayer
Medicate Dream	Octavarium II Medicate (Awakening)	Dream Theater
Midnight Lee	After Midnight (Live)	Albert Lee
Midnight strat	After Midnight (Live)	Eric Clapton
Million Miles	A Million Miles Away	Rory Gallagher
Misery	Misery	Maroon 5
Money	Money	Pink Floyd
Moon	Walking on the Moon	The Police
Moonlight	Moonlight Shadow	Mike Oldfield
Mr Jones	Mr Jones	Counting Crows
Nervous	19th Nervous Breakdown	The Rolling Stones
Night	Still of the Night	Whitesnake
No Surprises	No Surprises	Radiohead
One	One	Metallica
Parisienne	Parisienne Walkways	Gary Moore
Parlour	Blueberry Old Time Picking Parlour	Marcel Dadi
Pieces	Pieces	Sum 41
Preacher Man	Son of a Preacher Man	Dusty Springfield
Probably Lead	It's Probably Me	Eric Clapton
Purple	Purple Rain	Prince
Ramblin	Ramblin' Man	The allman Brothers
Refried	Refried Funky Chicken	Dixie Dregs

Preset	Song	Artist
Autowah		
Refried Wah	Refried Funky Chicken	Dixie Dregs
Remains	The Song Remains the Same	Led Zeppelin
Roxanne	Roxanne	The Police
Running	Long Train Running	The Doobie Brothers
Sailor	Single Handed Sailor	Dire Straits
Sanatarium	Sanatarium	Metallica
Sensitive	Sensitive Kind	J.J. Cale
Sex Machine	Sex Machine	James Brown
Shelter	Gimme Shelter	The Rolling Stones
So Heavy	I Want You (She's So Heavy)	The Beatles
Stay Alive	Stayin' Alive	The Bee Gees
Stuck	Stuck with You	Huey Lewis and the News
Sultans	Sultans of Swing	Dire Straits
Summertime	Summertime	Big Brother and the Holding Company
Surrender	Tender Surrender	Steve Vai
Tissue	Scar Tissue	Red Hot Chili Peppers
Too Good	Ain't Too Good	Rory Gallagher
Travis		Merle Travis
Under Bridge	Under the Bridge	Red Hot Chili Peppers
Wall	The Wall	Pink Floyd
Wes		Wes Montgomery
Wing	Little Wing	Jimi Hendrix
Zombie	Zombie	The Cranberries

# **Overdrive Guitar**

Preset	Song	Artist
69	Summer of 69	Bryan Adams
Bout Love	Ain't Talkin' Bout Love	Van Halen
Alabama	Sweet Home Alabama	Lynyrd Skynyrd
And Them	Us and Them	Pink Floyd
Anywhere	I Don't Live Anywhere	Joe Bonamassa
Apache	Apache	The Shadows
Back in Anger	Don't Look Back in Anger	Oasis
Banquet	Banquet	Bloc Party
Betty	Black Betty	Ram Jam
Bottom	Fat Bottomed Girls	Queen
Breeze	Call Me the Breeze	J.J. Cale

Preset	Song	Artist
Brother	The Brother	Robben Ford
Burn	Burn	Deep Purple
Business	Takin' Care of Business	Bachman Turner Overdrive
Can't Dance	I Can't Dance	Genesis
Charming	This Charming Man	The Smiths
Club Band	Sergent Pepper's Lonely Hearts Club Band	The Beatles
Cocaine	Cocaine	Eric Clapton
Communication	Communication Breakdown	Led Zeppelin
Cries Mary	The Wind Cries Mary	Jimi Hendrix
Crosscut	Crosscut Saw	Albert King
Crossing Time	Double Crossing Time	Eric Clapton
Cruise	Cruise Control	Dixie Dregs
Damn Right	Damn Right I've Got the Blues	Buddy Guy
Don't Stop	Don't Stop	Fleewood Mac
Dream On	Dream On	Aerosmith
Edge		The Edge
Emotions	Emotions Wound Us So	Larry Carlton
F.B.I.	F.B.I.	The Shadows
Fluorescent	Fluorescent Adolescent	Arctic Monkeys
For Nothing	Money for Nothing	Dire Straits
Forever	Fuck Forever	Babyshambles
Franz		Franz Ferdinand
Give It Up	Don't Give It Up	Larry Carlton
Glass	Heart of Glass	Blondie
Goes Down	When the Sun Goes Down	Arctic Monkeys
Going Home	Going Home	Ten Years After
Goode	Johnny B. Goode	Chuck Berry
Highway	Highway to Hell	ACDC
Hip	What Is Hip?	
Hoochie	Rock and Roll	Hoochie Koo
Immigrant	Immigrant Song	Led Zeppelin
In Arms	Brothers in Arms	Dire Straits
In Time	Back in Time	Huey Lewis and the News
Jack	The Jack	ACDC
Jessica	Jessica	The Allman Brothers
Kashmir	Kashmir	Led Zeppelin
Lithium	Lithium	Nirvana
Lotta	Whole Lotta Love	Led Zeppelin

Preset	Song	Artist
Mars	The Kill	30 Seconds to Mars
Mayer		John Mayer
My Car	Drive My Car	The Beatles
Nation Army	Seven Nation Army	The White Stripes
Nice Guy	No More Mr Nice Guy	Alice Cooper
Of Love	The Power of Love	Huey Lewis and the News
On It	Stand on It	Jeff Beck
Outsider	The Outsider	A Perfect Circle
Pa Ti	Samba Pa Ti	Santana
Page		Jimmy Page
Pieces	Pieces	Sum 41
Pork Pie	Goodbye Pork Pie Hat	Jeff Beck
Pretender	The Pretender	Foo Fighters
Ramble	Ramble On	Led Zeppelin
Reaper	Don't Fear the Reaper	Blue Oyster Cult
Reelin	Reelin' in the Years	Steely Dan
Rory		Rory Gallagher
SRV Wing	Little Wing	Stevie Ray Vaughan
Sand	Castles Made of Sand	Jimi Hendrix
Sling Shot	Sling Shot	Jeff Beck
Smoke	Smoke on the Water	Deep Purple
Snake Boogie	Tube Snake Boogie	ZZ Top
So Heavy	I Want You (She's So Heavy)	The Beatles
Springfield	For What It's Worth	Buffalo Springfield
Sugar	Brown Sugar	The Rolling Stones
Sultans	Sultans of Swing	Dire Straits
Sunshine	Sunshine of Your Love	Cream
Surrender	Tender Surrender	Steve Vai
Sweet Dreams	Sweet Dreams	Marilyn Manson
T.N.T.	T.N.T.	ACDC
This Way	Walk This Way	Aerosmith
Thrill	The Thrill Is Gone	B.B. King
To Run	Born to Run	Bruce Springsteen
Today	Had to Cry Today	Eric Clapton
Voodoo Wah	Voodoo Child	Jimi Hendrix
Who	Who Are You	The Who
Writer	Lady Writer	Dire Straits
Yell	Rebel Yell	Billy Idol
You Girls	No You Girls	Franz Ferdinand

Preset	Song	Artist
Ziggy	Ziggy Stardust	David Bowie

# **Distortion Guitar**

Preset	Song	Artist
As You Are	Come As You Are	Nirvana
Bad Horsie	Bad Horsie	Steve Vai
Bat	Bat Country	Avenged Sevenfold
Blink	All the Small Things	Blink 182
Bolero	Beck's Bolero	Jeff Beck
Chickenfoot		Joe Satriani
Creep	Creep	Radiohead
Creeping	Creeping Death	Metallica
Crosstown Fuzz	Crosstown Traffic	Jimi Hendrix
Crowley	Mister Crowley	Ozzy Osbourne
Crush Wah	The Crush of Love	Joe Satriani
Dover	Cliffs of Dover	Eric Johnson
EVH One	I'm the One	Van Halen
Empty Spaces	Empty Spaces	Pink Floyd
Engage		Killswitch Engage
Eruption	Eruption	Van Halen
For All		Metallica
Force	Rising Force	Yngwie Malmsteen
George		George Harrison
Get Ready	People Get Ready	Jeff Beck
Harlot	Beast and the Harlot	Avenged Sevenfold
Hills Autowah	Run to the Hills	Iron Maiden
Holy Wars	Holy Wars The Punishment Due	Megadeth
Hysteria	Hysteria	Def Leppard
Idiot	American Idiot	Green Day
Incubus		Incubus
John Henry	The Ballad of John Henry	Joe Bonamassa
Kickstart	Kickstart My Heart	Mötley Crüe
Kryptonite	Kryptonite	3 Doors Down
Lead		Van Halen
Lead Bat	Bat Country	Avenged Sevenfold
Lead Gary		Gary Moore
Lead Godzilla	Godzilla	Blue Oyster Cult
Lead Hysteria	Hysteria	
Lead Luke		Toto

Preset	Song	Artist
Lead Maiden		Iron Maiden
Lead Marty		Marty Friedman
Lead May Wah		Queen
Lead Money	Money	Pink Floyd
Lead Nightmare	Nightmare	Avenged Sevenfold
Lead Puppets	Master of Puppets	Metallica
Lead Razors	Octavarium V Razors Edge	Dream Theater
Lead It	Beat It	Van Halen
Lonely Heart	Owner of a Lonely Heart	Yes
Maiden		Iron Maiden
Motorcycle Club		Black Rebel Motorcycle Club
Nice	No More Mister Nice Guy	Alice Cooper
Nightmare	Nightmare	Avenged Sevenfold
No One Knows	No One Knows	Queens of the Stone Age
O'Mine	Sweet Child O'Mine	Guns 'n Roses
Orchid Octaver	Blue Orchid	The White Stripes
Paranoid Octave	Paranoid	Black Sabbath
Parisienne	Parisienne Walkways	Gary Moore
Park		Linkin Park
Personality	Cult of Personality	Living Colour
Psycho	Psychosocial	Slipknot
Puppets	Master of Puppets	Metallica
Purple	Purple Rain	Prince
Ride	Ride	The Vines
Rising Force	Rising Force	Yngwie Malmsteen
Rock You	We Will Rock You	Queen
Rough	Rough Boy	ZZ Top
Satch	Satch Boogie	Joe Satriani
Surfing Wah	Surfing with the Alien	Joe Satriani
Teen Spirit	Smells Like Teen Spirit	Nirvana
Two Rivers	Two Rivers	Jeff Beck
Walk	Walk	Pantera
Wall	The Wall	Pink Floyd
White Octave	Lazaretto	Jack White
With the Flow	Go with the Flow	Queens of the Stone Age
Yankee	Yankee Rose	Steve Vai
Yell Lead	Rebel Yell	Billy Idol

## **Jazz Guitar**

Preset	Song	Artist
Ford		Robben Ford
Pass		Joe Pass
Pat		Pat Metheny
Wes		Wes Montgomery

# **12-String Electric Guitar**

Preset	Song	Artist
Tambourine	Mr Tambourine Man	Bob Dylan
Ticket	Ticket to Ride	The Beatles

# **Electric sitar**

Preset	Song	Artist
Paint	Paint It Black	The Rolling Stones

# **Effects**

#### Amps

#### **Guitar Amps**



**Overloud** : Stack

**Bass Amps** 

Light : UK Light

Rotary : Speaker





Stack : Classic (Ampeg)



Stack : Aural



Light



### **Pedals**

#### **Distortion**



Blues : Overdrive





.

неам 

OVER Loud

Preamp :

Overdrive

۲ 0

۲

Rat : Distortion Grunge : Distortion





Machine : Fuzz

# Fast : Fuzz





OVER LOUD Pi : Fuzz Big Muff







*B-Overdrive* :



Classic : Distortion Metal : Distortion



Bender : Fuzz



**Modulation** 

Ensemble : Chorus



Mistress : Flanger



OVER LOUD String : Chorus

Off 🔵 On

OVER LOUD

Jet : Flanger



B-Chorus : Chorus



190 | Chapter 10: Appendix

Stone : Phaser





0

DistoPlus : Distortion

### **Tremolo/Vibrato**







Vibe : Vibrato

Opto : Tremolo

Bias : Tremolo

#### Compressor





#### **Reverb**



#### **Pitch**



Octaver



#### Eq



GEq



BEq



Acoustic Eq





#### Wah



Horse



OVER

Vintage



BWah





Baby (Cry Baby)

# Mastering

#### **Dynamics**





Analog

Classic

#### **Equalizers**





10-Band





# Reverb



Concert : Reverb Hall



Theater : Reverb Small Theater



Studio : Reverb Room



Ambience : Reverb Room



Percussive: Plate

# **Digital Effects**





delay







D-Delay : Digital D-Chorus : Digital D-Flanger : Digital flanger chorus

T-Delay : Delay tape



# キーボードショートカット

Action	
トラックを追加	〜飛N / Ctrl+Shift+Ins
全トラックのコピー	ੀ #C / Ctrl+Shift+C
全トラックのカット	ੇ #X / Ctrl+Shift+X
アルペジオダウン	ੇ #D / Ctrl+Shift+D
アルペジオアップ	ੇ #U / Ctrl+Shift+U
人工ハーモニクス	∼-Y / Ctrl+Alt+Y
セーハ	ûⅠ / Shift+Ⅰ
トレモロバー	û₩ / Shift+W
チョーキング	В
カッティングダウン	₩D / Ctrl+D
カッティングアップ	₩U / Ctrl+U
異名同音に変更	へ光8 / Ctrl+Alt+8
小節の拍数を確認	F4
コードウィンドウ	Α
すべてのファイルを閉じる	ាំ%W / Ctrl+Shift+W
ファイルを閉じる	₩W / Ctrl+W
コピー	₩C / Ctrl+C
最後の拍をコピー	С
カット	₩X / Ctrl+X
デッドノート	x
音符の長さを短くする	+ / =
削除	E / Ctrl+Shift+Del
小節の削除	^- / Ctrl+Del
音符の削除	Backspace
拍の削除	ж- / Shift+Del
トラックの削除	
デザインモード	^──D / Ctrl+Alt+D
指示記号	D
付点	. / û. / \$hift+.
複付点	₩. / Ħ / Ctr/+. / Ctr/+
ダブルフラット	〜=第7 / Ctrl+Alt+7
ダブルシャープ	へ発9 / Ctrl+Alt+9
オートメーションの編集	F10
セクションの編集	רביצ+ / Shift+Ins
声部1の編集	₩1 / Ctrl+1
声部2の編集	₩2 / Ctrl+2
声部3の編集	#3 / Ctrl+3

声部4の編集	964 / Ctrl+4
フルスクリーンモードの解除	Esc
フェードイン	<
フェードアウト	>
早送り	⊮→ / Ctrl+Right
フェルマータ	F
フラット	€7 / Ctrl+7
強制的に改段する	ିଞ ୶ / Ctrl+Return
次へ	∼→ / Alt+Right
相対速度	-
フルスクリーンモード	F11
ゴーストノート	0
移動	₩G / Ctrl+G
拍の前に装飾音符を置く	G
拍の位置に装飾音符を置く	∼-G / Ctrl+Alt+G
ハンマリングオン/プリングオフ	Η
アクセント(強)音符	$\overline{}$
音符の長さを増やす	· / _
拍を挿入	<pre>^+ / Ctrl+Ins</pre>
小節を挿入	೫+ / Ins
音部記号	K
調号	₩K / Ctrl+K
強制的に改段する	⊮ ∖ Ctrl+End
左手タッピング	() / 12() / () / Shift+(
レフトハンドビブラート(弱め)	V
レガート	ûH ∕ Shift+H
スラップ	S
Let Ring	1
カーソルを移動:小節の始まり	✓ Home
カーソルを移動:最初の小節	⊮⊼ / Ctrl+Home
カーソルを移動:最後の小節	► / End
カーソルを移動:次の拍	$\rightarrow$ / Right
カーソルを移動:次の段	↓ / Down
カーソルを移動:次の譜表	→ / Tab
カーソルを移動∶前の拍	← / Left
カーソルを移動:前の段	1 / Up
カーソルを移動:前の譜表	к- / û-ж / Backtab / Shift+Tab
下に移動	Alt+Down   Alt+Down
(トラックを)下に動かす	ົ⊂ະສ↓ / Ctrl+Alt+Down

Move Up	The second sec
(トラックを)上に動かす	⊂≍∺↑ / Ctrl+Alt+Up
声部4を選択	<u>~1</u> / Alt+4
声部2を選択	~-2 / Alt+2
声部3を選択	~_3 / Alt+3
声部1を選択	<u>-4</u> / Alt+1
長休符	₩R / Ctrl+R
シングル/マルチトラック切り替え	F3
マルチボイス編集	₩M / Ctrl+M
ナチュラル	#8 / Ctrl+8
ナチュラルハーモニクス	Y
新規ファイル作成	₩N / Ctrl+N
次のセクション	רבי#→ / Ctrl+Alt+Right
次のタブ譜へ	^→→ / Ctrl+Tab
次のトラックへ	₩↓ / Ctrl+Down
アクセント	;
半音下げる	Trû↓ / Alt+Shift+Down
半音上げる	<pre>Alt+Shift+Up</pre>
ファイルを開く	₩O / Ctrl+O
パームミュート(和音)	û₽ / Shift+P
パームミュート(単音)	Ρ
ペースト	₩V / Ctrl+V
ピックストロークダウン	D / Shift+D
ピックストロークアップ	ثال / Shift+U
最初から再生	
再生/停止	Space
環境設定	₩, / Ctrl+,
改段を回避	& / 12& / Shift+&
前のセクション	Ctrl+Alt+Left
前のタブ譜へ	^ î⊮- / Ctrl+Shift+Tab /Ctrl+Backtab
前のトラック	₩↑ / Ctrl+Up
印刷	₩P / Ctrl+P
終了	TF4 / Alt+F4
ラスゲアード	<b>î</b> R / Shift+R
再試行	۵ HZ / Ctrl+Y
相対速度	₩F9 / Ctrl+F9
反復終了	
1小節を繰り返す	% / 12% / Shift+%
開始反復小節線	[] / [] / [] / [] / [] Shift+[]

2小節を繰り返す	₩% / ۩₩% Ctrl+% / Ctrl+Shift+%
休符を配置	R
巻き戻し	⊮← / Ctrl+Left
保存	₩S / Ctrl+S
別名で保存	ी #S / Ctrl+Shift+S
スタイルシート	<b>F7</b>
すべてを選択	⊮A / Ctrl+A
拍を選択	Îî ↑ / Îî↓ / Shift+Up / Shift+Down
最初の小節までの選択	וֹאָג / Ctrl+Shift+Home
最初の拍までの選択	û ↖ / Shift+Home
最後の拍までの選択	û ↘ / Shift+End
次の小節まで選択	ੀ ∺→ / Ctrl+Shift+Right
次の拍まで選択	û → / Shift+Right
前の小節までの選択	ी ∺← / Ctrl+Shift+Left
最後の小節までの選択	ੀ # ਪ / Ctrl+Shift+End
前の拍までの選択	û ← / Shift+Left
シャープ	₩9 / Ctrl+9
シフトスライド	∼S / Ctrl+Alt+S
グローバルビューの表示/非表示	F8
バーチャルインストゥルメントの表示/非表示	₩F6 / Ctrl+F6
編集パレットの表示/非表示	F2
インスペクタの表示/非表示(曲)	F5
インスペクタの表示/非表示(トラック)	F6
スラップ	\$
特殊ペースト	৫ жV / Ctrl+Shift+V
スタッカート	1
戻る	Alt+Left   Alt+Left
タッピング	
フリーテキスト	Т
拍を繋げる	ûL ∕ Shift+L
音符を繋げる	L
拍子	⊮T / Ctrl+T
経過時間	@
ループ再生を有効	F9
レフトハンドビブラート(大きめ)	∼_V / Ctrl+Alt+V
トレモロピッキング(32分音符)	" / <u>î</u> "
トリル	Ν
3連	/ / 1/ Shift+/
スウィングフィール	第/ ① 光/ Ctrl+/ / Ctrl+Shift+/

休符を追加	~ / Inter / Return
取り消し	₩Z / Ctrl+Z
トレモロビブラート(弱め)	W
トレモロビブラート(大きめ)	Ctrl+Alt+W
ボリュームスウェル	Alt+< /Alt+>
Wahクローズ	Ctrl+Alt+C
Wahオープン	Ctrl+Alt+O
ズームイン	#>   / Ctrl++   / Ctrl+Shift++
ズームアウト	₩< / Ctrl+-